2020 年度生用　国際学部 履修要項　訂正箇所について

新　旧　対　照　表

ページ	変更日
P57	2021/04/01

新

〔表―２〕卒業までに必要な単位数　―科目の内訳の詳細―
学科科目（選択）校外実習等にｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（講義）を追加

学科科目(選択)	校外実習等	校外実習A、B、Field Study A、B、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（講義）、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（実習）A、B、C、独自課題実地研究A、B、留学認定単位

旧

〔表―２〕卒業までに必要な単位数　―科目の内訳の詳細―
学科科目（選択）校外実習等

学科科目(選択)	校外実習等	校外実習A、B、Field Study A、B、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（実習）A、B、C、独自課題実地研究A、B、留学認定単位

ページ	変更日
P65	2021/04/01

新

実習・演習
（注）と注記を追加

科目名	単位数
KSGEN101 インターンシップ(講義)　（注）	2
KSGEN201 演習１	2
KSGEN202 校外実習Ａ　（注）	4
KSGEN203 校外実習Ｂ　（注）	2
KSGEN208 独自課題研究	2
KSGEN210 Field Study Seminar	2
KSGEN211 Field Study A　（注）	4
KSGEN212 Field Study B　（注）	2
KSGEN217 特別演習１	2
KSGEN218 インターンシップ(実習) A　（注）	4
KSGEN219 インターンシップ(実習) B　（注）	2
KSGEN220 インターンシップ(実習) C　（注）	1
KSGEN221 独自課題実地研究 A　（注）	2
KSGEN222 独自課題実地研究 B　（注）	1

（注）校外実習、インターンシップ（講義）、インターンシップ（実習）、Field Study、独自課題実地研究は一部または全部を学科講義科目（3）、地域研究による代替が可能である。詳細は57ページ〔表２〕校外実習等の備考欄を参照すること。

旧

実習・演習

科目名	単位数
KSGEN101 インターンシップ(講義)	2
KSGEN201 演習１	2
KSGEN202 校外実習Ａ　（注）	4
KSGEN203 校外実習Ｂ　（注）	2
KSGEN208 独自課題研究	2
KSGEN210 Field Study Seminar	2
KSGEN211 Field Study A　（注）	4
KSGEN212 Field Study B　（注）	2
KSGEN217 特別演習１	2
KSGEN218 インターンシップ(実習) A	4
KSGEN219 インターンシップ(実習) B	2
KSGEN220 インターンシップ(実習) C	1
KSGEN221 独自課題実地研究 A	2
KSGEN222 独自課題実地研究 B	1

P93	2021/04/01	3. Departmental Courses: Upper Division 上級科目 (1) Lecture Courses 講義科目 に下記の科目を追加。 KCCUL212 Advanced Japanese 1A 2 単位 KCCUL213 Advanced Japanese 1B 2 単位 KCCUL214 Advanced Japanese 2A 2 単位 KCCUL215 Advanced Japanese 2B 2 単位 KCCUL216 Career Japanese A 2 単位 KCCUL217 Career Japanese B 2 単位 KCECO212 Social Entrepreneurship 2 単位	
P102	2021/04/01	Upper-Division Courses Upper-Division Lectures 上級科目 講義科目 に下記の科目を追加。 KCCUL212 Advanced Japanese 1A 2 単位 KCCUL213 Advanced Japanese 1B 2 単位 KCCUL214 Advanced Japanese 2A 2 単位 KCCUL215 Advanced Japanese 2B 2 単位 KCCUL216 Career Japanese A 2 単位 KCCUL217 Career Japanese B 2 単位 KCECO212 Social Entrepreneurship 2 単位	

目　次

国際学部国際学科

The Faculty of International Studies
Department of Global and Transcultural Studies (GTS)
国際学部国際キャリア学科

諸資格

《明　治　学　院　大　学》

人材養成上の目的・教育目標

明治学院大学は、建学の精神すなわち「キリスト教による人格教育」と学問の自由を基礎とし、教育理念“Do for Others（他者への貢献）”を実現するため、広く教養を培うとともに、各学部学科において専門分野に関する知識・技能および知的応用能力を身につけた人間を育成することを目的とする。

このような目的のもと、5つの教育目標を定める。

1　他者を理解する力を身につける。
2　分析力と構想力を身につける。
3　コミュニケーション力を身につける。
4　キャリアをデザインする力を身につける。
5　共生社会の担い手となる力を身につける。

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

明治学院大学は、建学の精神すなわち「キリスト教による人格教育」と学問の自由を基礎とし、教育理念“Do for Others（他者への貢献）”の実現を目指し、「人材養成上の目的・教育目標」に定める人間を育成するため、次のとおり「卒業の認定・学位授与に関する方針」を定める。

以下の能力を身につけ、各学部学科に所定の期間在学し、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し学位を授与する。

1〔知識・理解〕　他者への洞察力を養い人間の多様性を理解するため、歴史、文化、社会、自然、健康などに関する幅広い教養および専門分野に関する基本的知識を有し、これらを体系的に理解する力を身につけている。
2〔汎用的技能〕　知識を獲得し、これを活用することにより人間を取り巻く諸現象を分析し、よりよい社会を構想する力とともに、自らの考えを他者に伝えることのできるコミュニケーション力などの技能・応用能力を身につけている。
3〔態度・志向性〕　大学での学びを通じて、主体的に自らの将来を切り拓き、社会に生起する問題に積極的に取り組む責任感、倫理観、協働性など他者と共に生きる力を身につけている。
4〔統合的な学習経験と創造的思考力〕　在学期間を通じて獲得した知識・技能・態度などを総合的に活用し、自ら課題を発見しこれを解決する能力を身につけている。

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

明治学院大学は、「卒業の認定・学位授与に関する方針」に掲げる知識および能力を修得させるために、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

1　他者と共に生きることのできる人材を育成するために、専攻する学問分野にかかわらず卒業までに共通して身につける「明治学院共通科目」と専攻する学問分野に応じた「学科科目」とを開設する。
2　「明治学院共通科目」および「学科科目」双方を4年間にわたって関連付けて学ぶことができるよう、履修の機会を提供する。
3　初年次導入教育から学年進行にしたがって体系性・順次性をもって編成し、履修科目に応じて講義、演習、実習等の授業形態を採用する。
4　授業は、その内容に応じて最適な効果を得ることができるよう効果的な教育方法をもって展開する。
5　学修成果の評価にあたっては、あらかじめ定められた評価方法および評価基準により、適切にこれを行う。

は じ め に

履修要項は、大学における学修のルールや履修についての規則、卒業に必要な単位など重要な事項を記載しています。配布は入学時のみで、卒業するまで使用しますので、学生ひとりひとりが掲載内容について熟読のうえ、大切に保管し、活用してください。
なお、掲載事項に変更が生じた場合は、在学生用ポータルサイト Port Hepburn（ポートヘボン）にてお知らせします。

教務部案内

教務部では、授業・履修・成績の相談、学生証の再発行、住所・保証人・氏名の変更、転学科試験、学籍関係の相談（休学・復学・退学・再入学）等を取り扱っています。
どうしたらよいか迷った時は次頁の「こんな時どうする？」を参考に教務部にご相談ください。

教務部の場所

白金校舎：本館２階南ウィング
横浜校舎：１号館１階

教務部窓口事務取扱時間

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">白金校舎</th><th colspan="2">横浜校舎</th></tr>
<tr><th>月～金</th><th>土</th><th>月～金</th><th>土</th></tr>
<tr><td>授業期間</td><td>9:30～11:45
12:30～18:30</td><td>9:30～11:45
12:30～15:00</td><td rowspan="2">9:30～11:45
12:30～16:30</td><td rowspan="2">9:30～12:00</td></tr>
<tr><td>授業期間外</td><td>9:30～11:45
12:30～16:00</td><td>9:30～11:45</td></tr>
</table>

こんな時どうする？

こんな時	どうする？
学生証を紛失した	「学生証再交付願」に記入し、教務部窓口へ届け出てください。翌日交付します（ただし、事務休止日を除く）。手数料は 1,500 円です。
住所･電話番号を変更した	「教務 Web」上で変更の申請を行ってください。大学からの連絡・通信が届かなくなりますので、必ず手続きしてください。（保証人の住所･電話番号変更の場合も同じ）
保証人を変更した	「保証人変更届」に記入し、教務部窓口へ届け出てください。保証人の変更は、新保証人の方の署名・捺印が必要です。
氏名を変更した	「改姓改名・国籍変更届」に記入し、教務部窓口へ届け出てください。戸籍抄本・学生証も提出してください。
転学科試験を受験したい	所定の願書（保証人連署）に記入し、教務部窓口に提出してください。提出期日は Port Hepburn および教務部掲示板にて通知します。審査料は 35,000 円です。
休学したい	病気その他の事情により授業期間中に引き続き２ヶ月以上登校困難な場合は､休学を願い出ることができます。保証人連署・捺印済の「休学願」および事由証明書を期日までに提出し、教授会の許可を受けなければなりません。休学の期間は１学期または２学期です。なお休学期間は在学年数に通算されません。提出期日は、春学期が５月末日、秋学期が１１月末日です。
復学したい	休学している者が復学を願い出る場合は、期日までに保証人連署・捺印済の「復学願」を提出し、教授会の許可を受けなければなりません。提出期日は、春学期が２月末日、秋学期が８月末日です。[留学生は提出期日が異なります]
退学したい	退学を希望する者は、期日までに保証人連署・捺印済の「退学願」を提出し、教授会の許可を受けます。ただしその学期分の学納金を納入しなければなりません。提出期日は、春学期が９月２０日、秋学期は３月末日です。
再入学したい	願い出により退学した者は、退学した日が属する学期の次の学期から数えて６学期以内、学納金未納による除籍者は､除籍となった日が属する学期から数えて６学期以内に再入学を願い出た場合、選考の上許可されることがあります。再入学の手続きは期日までに保証人連署・捺印済の「再入学願」を提出し、教授会の許可を受けなければなりません。再入学を許可された者は､再入学料および再入学する学期の学納金を再入学前の指定された期日までに納入してください。提出期日は、春学期が２月末日、秋学期が８月末日です。[留学生は提出期日が異なります]
授業を欠席した	本人の病気、怪我または忌引（３親等以内）により授業を欠席した場合に限り、欠席届の発行ができます。まず、担当教員に必要の有無を確認してください。必要な場合は、所定用紙に記入の上、欠席事由を証明する書類（病気・怪我→医療機関の発行した証明書(診断書・治癒証明書など)、忌引→会葬礼状など。いずれもコピー不可。）を添付し、教務部窓口に届け出てください。教務部への電話連絡は不要です。
定期試験を欠席した	大学が認める理由で定期試験を欠席した場合は、追試験を申し込むことができます。所定の申込用紙に記入の上、欠席事由を証明する書類を添付して、教務部窓口に提出してください。提出期日は Port Hepburn にて通知します。詳細は､「学修の手引き」の追試験の項を確認してください。
学納金を期限までに払えない	学納金を期日内に納入できなかった場合、延納の手続きについて郵送にてお知らせします。同封されている学納金延納願を期日までに提出してください。
在学証明書､成績証明書がほしい	各校舎に設置された「証明書自動発行機」を利用してください。「証明書自動発行機」の利用には学生証が必要です。「証明書自動発行機」の場所は、白金校舎が本館１階中央守衛所近く、横浜校舎が１号館１階教務課前です。

情 報 の 伝 達

教務部では、学生への公示・告示および必要な事項の伝達は、基本的に在学生用ポータルサイトPort Hepburnにて行います。学生は、１日１回以上、必ずアクセスしてください。**Port Hepburnの見落としにより不都合が生じる場合もありますので、十分な自覚を持って情報収集に努めてください。**

１．Port Hepburn URL https://porthepburn.meijigakuin.ac.jp

① Port Hepburn へのログイン方法

大学のコンピュータ実習室では、パソコンの初期画面に個人 ID・パスワードを入力すれば、Port Hepburn にログインできます。自宅からアクセスする場合は、大学 Web サイトの在学生のページのメニューを選択するか、上記 URL を直接入力して、ログイン画面を表示させます。

② Port Hepburnで確認できる事項

（a）学科別伝達事項
（b）学生個人宛の連絡事項
（c）教務Web （履修申請・履修確認・成績照会・住所変更・シラバス検索）
（d）履修要項・履修の手引き・学修の手引き（映像）
（e）時間割表
（f）夏季講座・春季講座
（g）教室割・教室変更情報
（h）休講情報
（i）補講情報
（j）定期試験時間割・試験場情報
（k）レポート情報
（l）追試験情報
（m）オフィスアワー情報
（n）学校感染症に罹患した場合
（o）気象警報等発令および交通機関不通時の休講措置基準
（p）「地震注意情報」・「警戒宣言」発表時の措置

※Port Hepburnの操作方法、パスワードの再発行等詳細については、情報センターで確認してください。

２．その他

① 問い合わせ方法について

授業、試験、成績、卒業等に関する電話やメールでの問い合わせは、間違いが生じることがあるため、直接、教務課窓口にてお問い合わせください。

② オフィスアワーについて

学生の主体的な学習を支援する一環として、講義での疑問点や関心のある問題への取り組み方などを担当教員に相談できる「オフィスアワー」を全学的に行っています。
Port Hepburn で各教員のオフィスアワーの時間帯と申し込み方法を確認できますので、必要に応じて手続をしてください。非常勤の教員に質問等がある場合は、授業終了後に相談することができます。
オフィスアワーについての詳細は、教務課（白金・横浜）窓口でも確認できます。
なお、オフィスアワーは、成績について問い合わせる機会ではありませんので、注意してください。

学修の手引き

カリキュラム

各学部・学科の教育上の目的に従って、授業科目を体系的に編成したものを「カリキュラム（教育課程）」といいます。みなさんは、自分が所属する学部・学科のカリキュラムをよく理解した上で、授業内容を修得することを目指してください。カリキュラムは入学年度別に定められており、原則として卒業まで変更はありません。また、カリキュラムで定められた範囲で履修する授業科目を選択することができますが、**卒業に至るまでの過程は自己責任であるということを常に念頭に置いてください。**

なお、各学部・学科では、

①人材養成上の目的・教育目標

②卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

…卒業認定・学位授与に関する基本方針であり、卒業時に学生が修得しているべき知識・能力・行動等を示している

③教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

…教育の実施に関する基本方針であり、卒業時に学生が修得しているべき知識・能力・行動等を育成するための学修段階に応じた教育計画、指導の方針等を示している

を定めています（他に「入学者の受け入れに関する方針（アドミッションポリシー）」も定めています）。詳細は、各学科の頁を参照してください。

１．授業科目の種類

本学の授業科目は、「明治学院共通科目」「学科科目」「教職に関する科目」の３分野があり、学修上の必要に応じて以下のように分類されます。

必　修　科　目：必ず単位を修得しなければならない科目
この科目の単位が未修得の場合は、卒業することができません。

選択必修科目：特定されている科目の中から一定の単位数を必修とする科目
この科目の単位が未修得の場合は、卒業することができません。

選　択　科　目：特定されている科目の中から自由に選択して履修できる科目

要　求　科　目：必ず履修することが求められる科目

そ　の　他：学科により特に指定のあるものは該当の項に記載

２．履修年次

履修年次とは、それぞれの授業科目を履修できる最低年次を表し、４年間の学修を系統的に行えるように、カリキュラムに基づいて定められています。
原則として、現在の学年より上級の年次に配置されている授業科目を履修することはできませんが、現在の学年より下級の年次に配置されている授業科目であれば履修することができます（例：年次が「２」の学科科目は、２・３・４年次生が履修できます）。ただし、例外もありますので、各項目にて確認してください。
学科により、「配当年次」や「開講年次」という表現もあります。

３．セメスター制

本学では、下表のとおり、１つの年次を春学期と秋学期にわけ、学期（１つのセメスター）ごとに単位を修得し、８セメスター（４年間）を積み重ねて卒業要件を満たす、セメスター制をとっています。
年次は、入学年度からの年数をカウントし、休学期間や修得単位数を考慮しません。

年次	第１年次		第２年次		第３年次		第４年次	
学期（セメスター）	第１学期	第２学期	第３学期	第４学期	第５学期	第６学期	第７学期	第８学期
春学期入学	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
秋学期入学	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期

各学期は、次のように定められています。

春学期　　４月　１日～９月２０日
秋学期　　９月２１日～３月３１日

授業は、以下の①～③のいずれかの形態で開講します。このうち、①の開講形態にあっては、週に１回授業を行う場合と週に２回以上授業を行う場合とがあります。

①春学期のみ、または秋学期のみに授業を行い完結
②春学期と秋学期の２学期間、年度を通して授業を行い完結
③夏季休暇および春季休暇中に夏季講座・春季講座期間を定めて授業を行い、その期間内で完結

①の開講形態をとる授業科目をそれぞれ「春学期開講科目」「秋学期開講科目」、②の開講形態をとる授業科目を「通年開講科目」といいます。

単　位　制

大学における学修は、単位制で行われています。単位制とは、各授業科目に定められた単位を修得する制度です。

１．単位とは

単位とは、授業科目を履修し、平常試験・定期試験またはレポート、そのほか担当教員が必要と認める学修の結果等によって、その授業科目に合格したと担当教員が判断したとき、所定の単位が与えられるものです。
大学設置基準では、１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とすると規定されており、本学は原則としてこれと同等の単位数の設定をしています。学修の時間には、授業時間だけではなく、予習・復習等教室外での自主学修も含まれます。

２．授業時間と単位数

本学では、１時限90分の授業（試験を含む）が、春学期15週、秋学期15週で行われますが、単位数を設定する上では、90分（１時限）の授業を２時間相当の学修時間とみなします。単位数は、それぞれの授業科目ごとに定められており、授業形態によって算定方法が異なります。

講義・演習科目：15時間から30時間までの授業と、予習･復習等の自主学修をあわせて45時間で１単位
実験・実習・実技科目：30時間から45時間までの授業をもって１単位

授業科目に定められた単位数（目安）

学期科目 （春学期開講科目、または 秋学期開講科目）	15 週で完結	・講義科目は２単位 ただし週２回授業が行われる場合は４単位 ・演習科目は２単位または１単位 ・実験・実習・実技科目は１単位
通年開講科目 （一年を通して行われる科目）	30 週で完結	・講義科目は４単位 ・演習科目は４単位または２単位 ・実験・実習・実技科目は２単位

考え方（例）

２単位の講義・演習科目		
予習 ２時間	**週１回授業** ２時間	**復習** ２時間
授業１に対して自主学修２の割合		

履　　　　修

授業を受けるためには、履修登録を行う必要があります。履修登録を行う際には、いくつか注意事項がありますので、大学からのお知らせには十分注意してください。

１．履修計画

学生は、授業開始にあたり、各学部・学科のカリキュラムに沿って、１年間に受講したい授業科目を選択します。受講したい授業科目を選択するにあたり、**学科ごとに１年間に履修できる単位数が定められている（年間履修単位数制限）ので、各学科の頁で確認してください。**原則として、年間履修単位数制限を超えて登録することは認めていません。
授業科目には、あらかじめクラスが指定された授業科目等（必修科目等）があり、学生はそれ以外の曜時限について履修計画を立てます。
履修計画を立てる際に必要な、履修要項、履修の手引き、シラバス、開講科目情報時間割表（どの曜時限にどの授業科目が開講されているか）、履修ハンドブック等は、Port Hepburnより提供します。これらを熟読し、履修計画を立ててください。シラバスは、時間割表および履修申請画面とリンクしています。「教務Web」の学生メニューの「シラバス検索」からも参照可能です。ただし、「シラバス検索」は、全学部全学科および大学院の授業科目が参照可能であるため、表示された授業科目であっても所属学部・学科・学年によっては履修できない場合があります。各自が履修できる授業科目かどうかは履修要項や時間割表で確認してください。
なお、シラバスの内容は授業の進行状況等により変更が生じる場合がありますので、学暦に定められた授業開始日から各自の履修計画に基づいて授業（登録が完了していなくても、履修を希望する授業を含む）に出席してください。

２．履修登録

履修登録とは、自ら立てた履修計画に基づき、受講する授業科目を大学に申請することをいいます。**履修登録を行っていない授業科目については、授業に出席し、試験を受けても、当該科目の単位を修得することはできません。**
履修登録は、毎年度春学期初めの定められた期日までに、基本的にその年度の春・秋両学期に履修する全ての授業科目について行わなければなりません。秋学期の初めにも履修登録の機会は設けられていますが、履修計画の変更に伴う秋学期科目（春季講座を含む）の追加・削除のみとなるよう年間を通じた計画を立て春学期のうちに登録を行うようにしてください。履修登録の期日（最終期限）は学暦の定めによりますが、スケジュールの詳細は、学期ごとにPort Hepburnでお知らせします。
本学では、履修登録はWebを利用して行いますが、以下のような履修制限科目は登録方法が異なるので、よく確認をして手続きを行ってください。

クラス指定科目：人数制限等の関係から、事前に指定されたクラスで履修する科目
予備登録科目：ＰＣ室利用の科目等、事前に募集を行い、書類選考等により履修者を決定する科目
抽　選　科　目：人数制限等の関係から、抽選や先着順により履修者を決定する科目

抽選等の結果については、各自で各科目の指示に従って確認してください。
なお、これらの結果発表後は、原則として登録の変更はできませんので、よく検討した上で申し込んでください。
また、抽選等を行う授業科目を申し込む場合には、外れた場合のことも考慮して履修計画を立ててください。

３．履修登録の流れ

履修計画を立てる	□	履修登録を行う	授業開始（履修計画に基づき授業に出席する）	□	予備登録科目・抽選科目結果発表	□	履修登録内容を確認する	エラーあり	エラーを修正 □	
								エラーなし	□	履修登録の確定 □ 履修中止※

※　『７．履修中止制度』参照

４．教務Webによる履修登録方法

履修登録に際しては、履修ハンドブックで手続き方法を確認してください。
Port Hepburnにログインした後、「教務Web」メニューをクリックすると、学生メニューが表示されます。トップページのメッセージを確認した後、「履修申請」をクリックして、履修登録の画面に進んでください。
また、履修登録内容の確認の際は、同じ学生メニューの「履修登録確認表・成績通知書印刷」をクリックしてください。

５．履修相談窓口

履修登録における白金・横浜両教務課の対応は、下表のとおりです。

所属	学年	履修相談受付	履修登録受付	履修登録内容確認	履修エラーに関する相談・修正受付
文学部	1･2	科目が開講されている校舎の教務課	教務 Web	教務 Web	横浜教務課
	3･4				白金教務課《注 2》
経済学部	1･2				横浜教務課《注 3》
	3･4				白金教務課《注 2》
社会学部	1･2				横浜教務課《注 3》
	3･4				白金教務課《注 2》
法学部	1･2				横浜教務課
	3･4				白金教務課《注 2》
国際学部	全	横浜校舎《注 1》			横浜教務課
心理学部	1･2	科目が開講されている校舎の教務課			横浜教務課
	3･4				白金教務課《注 2》

《注1》 教職課程に関する相談に限り、白金教職担当でも対応します。
《注2》 履修する科目がすべて横浜校舎の場合は横浜教務課とします。
《注3》 ２年次生で履修する科目がすべて白金校舎の場合は白金教務課とします。

６．履修登録の注意事項

① 履修登録をしなかった学生は、その学期における単位修得の権利を放棄したものとみなします。
② 履修申請画面でエラーがなく終了した場合でも、その後教務課が予備登録科目、抽選科目等を登録することにより、別途エラーが発生することがあります。履修申請の都度、必ず履修登録内容を確認してください。エラーが表示されている場合は、すみやかに教務課窓口で、修正の手続を行なってください。これを放置すると、当該科目の登録は無効になります。
③ 履修登録をしていない授業科目は、授業に出席しても、単位を修得することができません。
④ 予備登録科目（履修にあたって事前の手続きが必要な科目）、初回授業時（もしくは２回目の授業時）に抽選等により履修者を決定する授業科目の履修登録は教務課が行います。なお、これらの授業科目は、学生自身で履修変更することはできません。
⑤ 同一学期の同一曜時限には、複数の授業科目を登録することはできません。
⑥ 履修方法に誤りがないか、卒業および資格取得が可能になるかについては、学生自身の責任において確認するものとします。履修登録確認表、窓口相談においてエラーがないと判定された場合でも、履修要項を参照して必ず自分で確認してください。
⑦ **１日の内に横浜校舎と白金校舎の両方で授業を履修する場合は、 両校舎の授業時限の間に、移動時間として、必ず１時限以上空けなければなりません。**これは昼休みをはさんでいても同様で、横浜校舎の第２時限の授業と白金校舎の第３時限の授業（またはその逆）を続けて履修することはできません。

７．履修中止制度

履修中止制度とは、履修登録期間終了後に、授業内容が勉強したいことと異なっている等の理由により履修をとりやめたい場合、不合格となることでGPA（成績『３．ＧＰＡ（Grade Point Average）』の項を参照）が下がることを回避するため、授業期間の途中に履修を中止できる制度です。
履修登録期間に行う履修科目の修正と履修中止制度とは異なります。履修を中止した授業科目の替わりに、別の授業科目を履修登録することはできません。また、履修を中止した授業科目は、いかなる理由があっても、その学期中に履修を復活させることや教科書･テキスト代等の返金はできません。履修を中止した授業科目を、次学期以降に改めて履修することは可能です。

① 各学期に履修中止の申請が可能な科目

春学期：春学期開講科目・通年科目・夏季講座
秋学期：秋学期開講科目・春季講座

ただし、下記の授業科目については、履修中止の申請ができないので、注意してください。

(a) 必修科目
(b) 明治学院共通科目「外国語基本科目」の選択必修となっている初習語
(c) 予備登録科目、抽選科目（ただし先着順によるものを除く）、単位互換科目
(d) 許可を得て履修している科目（許可履修科目）
(e) 教育実習
(f) 要求科目
(g) 各学科において定めている履修中止の申請ができない科目（各学科の「履修中止除外科目について」の項参照）

② 履修中止の申請

履修中止の申請は、所定の期間に「教務 Web」より手続きをしてください。申請期間後の申請および履修中止の取り消しは一切認めません。また、履修中止を行った場合、履修中止申請画面に各自、授業科目名の前に履修中止を示す「止」マークが反映されていることを確認してください。ただし、履修上のエラーを履修中止申請期間前に解消していない学生は履修中止の申請はできません。また、卒業の見込が立っている卒業年次生が履修中止の申請をする場合、卒業不可となってしまう履修中止の申請はできません。

履修中止申請期間　　春学期： 5 月下旬頃　　秋学期：10 月下旬頃

③ 履修中止の申請をした授業科目の単位の扱い

本制度を利用して履修中止を申請した授業科目の単位数は、当該年度の年間履修単位数制限に含みます。

④ 履修中止を申請した授業科目の表示

(a) 履修登録確認画面　：　「止」
(b) 履修登録確認表　　：　「履修中止」
(c) 成績確認画面　　　：　「W」
(d) 成績証明書　　　　：　表示しない

科目ナンバリングについて

１．科目ナンバリングとは

科目名称の先頭に８桁の英数字を付けて表現します。これは教育課程の構造･体系を容易に理解できるように、科目間の関係、科目の難易度・性格、履修順序を表すことで、その科目がカリキュラム全体でどう位置付けられているかを明示するものです。

本学では、教務 Web、シラバス、履修要項、履修登録確認表、成績通知書、授業/試験時間割・教室割等で使用します。

２．対象年度

学科科目：2020年度以降の入学生が対象

明治学院共通科目：2018年度以降の入学生が対象

（対象外の年度の学生は従来の科目名称を参照してください）

３．ナンバリングルール

本学で開講する科目には、科目ナンバリングが付番されます。そのルールは下記のとおりです。

	① 責任 開講学科	② 科目群 学問分野	③ 科目のレベル または配当年次	④ 連続番号	⑤ 科目名称
表記 ルール	アルファベット 大文字２文字	アルファベット 大文字３文字	数字１文字	数字２文字	

例	**MG**	**CHR**	**1**	**01**	**ｷﾘｽﾄ教の基礎 A**
	⇓				
	MGCHR101 ｷﾘｽﾄ教の基礎 A				

①責任開講学科

授業を開設する学部学科等を2文字の大文字アルファベットで表します。

学科記号	学科名称	学科記号	学科名称
LE	文学部　英文学科	SG	社会学部　社会学科
LF	文学部　フランス文学科	SW	社会学部　社会福祉学科
LA	文学部　芸術学科	J-	法学部共通
LX	文学部共通	KS	国際学部　国際学科
TC	文学部　教職課程	KC	国際学部　国際キャリア学科
EE	経済学部　経済学科	PS	心理学部　心理学科
EB	経済学部　経営学科	PE	心理学部　教育発達学科
EG	経済学部　国際経営学科	MG	明治学院共通科目

②学部学科等の科目群または学問分野

3文字のアルファベットで表します。一覧表はこの履修要項の巻末に記載しています。

③科目のレベル・配当年次

下記に基づき数字1文字で科目の難易度・順番・種類等（学科によっては配当年次）を表します。

科目のレベル	
記号	内容
1	基礎
2	応用
3	発展
4	展開
9	資格要件
0	その他

配当年次	
記号	内容
1	1 年次
2	2 年次
3	3 年次
4	4 年次
9	資格要件
0	その他

④連続番号

各学部・学科等のカリキュラム体系に基づき、順次性を考慮して、数字2文字（00～99）で表します。

授　　　　業

１．授業の出席について

①授業の教室について

初回授業から、自分の履修する授業の教室をPort Hepburnで確認して出席してください。授業開始後に教室変更が行われる場合もあるので、Port Hepburn、教室扉の変更掲示に注意してください。

②授業の出席

授業では教員が出席を確認することがあります。出席確認では、紙の出席票やリアクションペーパーを配布したり、学生証を読み取る端末機器が用いられる場合があります。授業に臨む際は、常に学生証を持参してください。履修している授業は全て出席し、学修に励んでください。

※　『６．授業の欠席』参照

③授業の出席における不正について

本人が授業に出席していないにもかかわらず、出席したかのように登録する行為は、当該科目を失格とするなどの処分の対象となります。他人の学生証を持つことや、別人になりすましての出席票やリアクションペーパーの記入は絶対にしないでください。

④授業中について

授業中は私語をせず、集中し、積極的に参加してください。グループワークやプレゼンテーションなど、発言が求められる授業も多数あります。授業中は教員の指示に従い、他の学生の迷惑になる行動や授業の運営に支障が出る行為は慎んでください。授業の動画撮影や板書の写真撮影の可否は、必ず教員に確認してください。気分が悪い場合、トイレ等で離席の必要がある場合、受講に際して配慮が必要な場合は教員に相談してください。

２．授業時間

本学の授業は、１授業時間を90分（連続２時間とみなす）で行います。授業時間帯は下表のとおりです。

時限	白金校舎	横浜校舎	備考
第１時限	9:15～10:45	9:15～10:45	**土曜日の開講** 白金：第１～５時限のみの開講 横浜：第１～２時限のみの開講 （ただし、週末補講は第 3～5 時限） **チャペルアワー** 白金：月～金曜日　12:35～12:55 横浜：月～金曜日　12:35～12:55 **補講** 詳細は次ページ「５.補講」を参照
第２時限	10:55～12:25	10:55～12:25	
昼休み	12:25～13:25	12:25～13:25	
第３時限	13:25～14:55	13:25～14:55	
第４時限	15:05～16:35	15:05～16:35	
第５時限	16:45～18:15	16:45～18:15	
第６時限	18:25～19:55	18:25～19:55	
第７時限	20:05～21:35		

３．祝日授業日

授業日数を確保するため、特定の「国民の祝日」に授業を行うことがありますので、毎年度の学暦で確認してください。

４．休講

授業科目の担当教員から連絡があり次第、Port Hepburnでお知らせします。すでに授業開始時間中の場合は、教務課員が直接教室に赴き、口頭で連絡します。
始業時刻30分を過ぎても連絡がない場合は、不測の事故があったものとして「自然休講」となることもありますが、念のため教務課窓口で確認してください。

５．補講

本学では、主に休講になった授業の内容を補うために、学暦で**平日補講日**（白金校舎は第７時限、横浜校舎は第６時限）、**週末補講日**（土曜第３～５時限）、**期末補講日**を定めています。平日補講は、履修の重なりや教室の空き状況等により、白金校舎は第６時限、横浜校舎は第５時限を補講とすることがあります。補講の実施は、各授業科目の担当教員が決定します。
補講の実施科目、実施日時、教室は、補講を実施する１週間前を目処に、Port Hepburnでお知らせします。
補講の曜時限・教室は、通常の授業時と異なる場合がありますので、注意してください。
なお、「補講内における試験等の実施」「試験での補講受講を前提とした出題」はありません。
「複数科目の補講」「週末補講と他科目の通常授業」の実施日時が重複した場合は、担当教員に相談してください。

６．授業の欠席

授業を欠席する際、『７．学校感染症に罹患した場合』を除いて大学への電話連絡は不要です。次に出席したときに、担当教員に事情を説明して、欠席届が必要かどうかを確認してください。教務課では、本人の病気や怪我、または、忌引（３親等以内）、福島県出身者の甲状腺検査により授業を欠席した場合に限り、欠席届の発行ができます。必要な場合は、所定用紙に記入の上、欠席事由を証明する書類（病気・怪我→医療機関の発行した証明書（診断書・治癒証明書など）、忌引→会葬礼状など、福島県出身者の甲状腺検査→検査の通知文書。いずれもコピー不可）を添付し、教務課窓口に届け出てください。

７．学校感染症に罹患した場合

学生が、「学校において予防すべき感染症※」に罹患した場合は、学内感染を予防するため、「学校保健安全法」「学校保健安全法施行規則」により出校停止としています。
医療機関で、感染症に罹患したと診断された場合は、直ちに通学する校舎の教務課または健康支援センターに連絡して、指示を受けてください。
所定の手続を行った学生については、授業の欠席が不利益とならないように配慮します。
※「学校において予防すべき感染症」としては、以下のものがあります。

【第一種】エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、特定鳥インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症（2020 年３月現在）

【第二種】インフルエンザ、百日咳、麻しん（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風しん、水痘（水ぼうそう）、咽頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎

【第三種】コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症（ノロウイルス等を含む感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症）

試　　　　験

試験には、平常試験（担当教員が通常の授業内において必要に応じて実施する試験）、定期試験、レポート、追試験があります。
試験の形式は筆記試験を原則としていますが、レポートまたは口頭試問等を課すこともあります。また、これらの形式を組み合わせて実施することもあります。

不正行為について（ＭＧ ＤＩＡＲＹ『「不正行為」懲戒基準のガイドライン』参照） 試験およびレポートにおいて不正行為があった場合、学則に沿った厳しい処分（退学・停学等）が科されます。 不利益を被らないためにも、普段の授業から各自注意して臨んでください。

１．定期試験

学期ごとに、試験期間を設けて実施します。試験期間は学暦で定めます。

定期試験を実施する授業科目、試験の時間割および試験場等は、試験期間の２～３週間前までにPort Hepburnで発表します。

① 定期試験の時間割は授業の時間割に基づいて発表され、原則として通常授業時と同一です。従って履修登録と異なる曜時限での受験は認めません。なお、一部の科目については、やむを得ず通常授業時とは異なる曜時限で試験を実施するため、必ず発表を確認してください。

② 定期試験の試験場は、通常授業時の教室とは異なります。同一授業の試験を二つ以上の試験場に分けて実施する場合、必ず指定の試験場で受験してください。

定期試験の実施時間帯は、通常授業とは異なります。定期試験は通常授業とは異なる曜日･時限に実施することがあります。

時限	白金校舎	横浜校舎
第１時限	9:15～10:15	
第２時限	10:55～11:55	
第３時限	13:25～14:25	
第４時限	15:05～16:05	
第５時限	16:45～17:45	
第６時限	18:25～19:25	

定期試験が重複した場合、以下のとおり取り扱います。

① 本学が協定を結ぶ大学との単位互換履修生であって、その大学の定期試験と本学定期試験が重複した場合は、相手先大学の試験を受験して、本学の試験は追試験とします。

② 本学の定期試験において、試験時間割が授業時間割とは異なるため試験が同一時間帯に重複した場合、<u>定められた期日までに教務部窓口で手続きをすることにより</u>重複対応試験として、試験当日に重複した二つの試験を受験できます。ただし、本人の履修状況によっては重複対応試験ではなく追試験となる場合もあるため、必ず手続きをしたうえで指示を受けてください。

≪教室試験の受験心得≫

定期試験・平常試験・追試験に際して下記の事項に注意してください。

① 学生証のない者および学生証を忘れた者の受験は認めません。試験当日は学生証を忘れないように十分注意してください。万が一、学生証を提示できない学生は、教務部が交付する仮学生証（交付当日のみ有効）を提示すれば受験することができます（手数料 200 円必要）。

※学生証を紛失した者は必ず定期試験の開始以前に教務部で再発行手続きを済ませてください（手数料 1,500 円必要）。**再発行学生証は手続き日の翌日渡し（ただし、事務休止日を除く）**になるので注意してください。

② **試験場への入室は、前の時限の受験者および監督者の退室が完了するまでできません。**

③ 遅刻をしないでください。ただし、試験開始後 20 分以内に限り監督者の許可を得て入場することができます。

④ 試験科目、試験場および試験クラスを確認してください（履修登録どおりの曜時限のものを受験してください）。試験教室は、通常授業の教室と異なることがあるので注意してください。

⑤ 監督者の指示がない限り、**一人置きに教室の前から着席**してください。座席指定がある場合は、その指示に従ってください。

⑥ 着席と同時に**学生証の表（おもて）を上にして置き**、認められたもの以外は**すべてカバン等に入れ**、横の椅子の上に置いてください。

⑦ 学生証にシールや写真などが貼ってある場合、不正行為とみなします。

⑧ **机の下の棚には何も置いてはいけません**。もし、ゴミ等自らの責任に属さないものがあれば、試験開始前にゴミ箱に捨ててください。

⑨ **机に書き込まれている文字等はすべて消去**し、誤解を受けないようにしてください。消去できない場合は監督者に申し出てください。

⑩ 試験開始の合図があるまでは、問題・解答用紙は裏返しにしておいてください。

⑪ 試験開始の合図後、ただちに、解答用紙・受験票に学籍番号・氏名を記入してください。解答用紙（答案）・受験票を提出する前にも、学籍番号・氏名の記入を確認をしてください。

⑫ 監督者の指示があるまでは試験場から退室できません。指示後に退出する場合、他の受験者の迷惑にならないよう静粛かつ迅速に退出してください。

⑬ **答案の持ち帰りはできません。**

⑭ **携帯電話やスマートウォッチ等の電子情報機器類の電源を切ってカバン等に入れてください。時計機能の使用は認めません。**

⑮ 不正行為を厳禁とします。不正を行った学生に対しては、学則に定めた厳しい処分を科します。
以下のような行為を行った者は、『MG DIARY』に示してあるとおり不正行為者とみなされます。

◎使用を許可されていない資料等を所持または使用した者、またはこれと同等とみなされる不正を行った者

事例
1. カンニングペーパーの**用意または使用**
2. 答案の交換
3. 使用が許可されていない文献等の使用や貸借
4. 使用が許可されている文献等の、授業科目担当者による了解の無い貸借
5. 机、学生証、所持品、壁等への解答およびそれに類するものの書き込み
6. 答案の盗み見
7. 声、動作等による解答の伝達、その受信
8. 携帯電話等の使用

◎試験監督者の指示に従わなかった者またはこれと同等とみなされる不当な行為を行った者

２．レポート

レポートは、担当教員へ直接提出することを原則とします。ただし、担当教員が提出先を別途指定する場合があります。ポートヘボンのレポートメニューもあわせて提出前に十分確認してください。

≪レポート提出心得≫

レポートの作成および提出に際しては下記に注意してください。

① **レポートの作成にあたって、著作物やWeb上の情報を参照・引用した場合は、引用箇所と出典を明記する。**

② 著作物やWeb上の情報を参照・引用した場合の引用箇所と出典は以下を参考に明記する。

図書の場合	：	著者名『書名』(出版社、発行年)、ページ
雑誌等の論文の場合	：	執筆者名「論文名」(『所収雑誌名』巻、号、発行年月)、ページ
ホームページの場合	：	URL、取得年月日
新聞記事の場合	：	新聞名、発行年月日、朝夕刊の別、面

③ **引用をしたにもかかわらず、どこからどこまでが引用なのかを示さず、また出所の記載もなく、あたかも自分で作成したようにすることは「不正行為」とみなす。**特にWeb上の文章をそのまま引用する行為は、**「不正行為」**に当たるので、注意する。不正を行った学生に対しては、学則に定めた厳しい処分を科す。

④ レポートは、各人が個別に作成し、指示がない限りグループで作成してはならない。また、他者の文章やWeb上のデータを参考にした場合でも、最終的には自らの評価や主張をきちんと述べる。

⑤ レポートの体裁は、右の図のとおり表紙をつけ、授業曜時限・科目名・担当教員名・レポート題名・学籍番号・氏名を必ず明記する。レポートは特に指示がなければ左上を綴じて提出する。

⑥ 提出について、提出先・提出日・受付時間を厳守する。

↓左上を綴じる

【表紙見本】

〇曜〇限「科目名」

〇〇〇　先生

『レポートのタイトル』

年　月　日提出

学籍番号

氏　　名

・授業時提出

授業教室で提出の場合、授業開始時に回収することがあるため、必ず授業開始時から着席する。

・教務課提出　次ページ「３.追試験①（b)」参照

（a）**レポートは、指定された提出日（窓口事務取扱時間内）に限り、各校舎教務課内指定の提出場所に提出する。提出時間外の提出は理由の如何を問わず一切受け付けない（時間厳守）。**

（b）横浜校舎で履修している科目は横浜教務課に、白金校舎で履修している科目は白金教務課にそれぞれ提出する。

（c）誤って提出したレポートは無効となる。例えば、同一科目が複数の曜時限に開講されている場合や、同じ提出日に複数科目の受付がある場合などは、提出箱を間違えないよう十分注意する。

（d）一旦提出したレポートの出し直しはできないので、書き漏れ、書き忘れなどがないよう提出箱に提出する前によく確認する。

（e）教員の都合により再提出が必要となることがあるので、成績発表までレポートの原稿またはファイルは削除せず、保存しておく。

・横浜教務課のアカデミックボックス提出

教務課の常設ロッカーに指定された提出期限までに提出する。

・電子データで提出

メールの場合は必ず送受信の確認を行い、メールの発信記録を保管しておく。なお、成績評価の確認時に、発信した日時を確認できる書類が必要になるため、レポートの控えを成績発表まで保管しておく。

・その他（共同研究室等への提出）

提出先によって受付時間が異なるため、十分に確認する。

３．追試験

追試験とは下記①に該当し、所定の期間内に受験手続きを完了した者に対して、一定期間を設けて実施する試験をいいます。なお、追試験は申込みをした学生のためだけに別途特別の準備をして行うものなので、申込みをした場合、必ず受験することが義務づけられます。

① 追試験の申込みができる者

(a) 定期試験を下表に記載されている理由により受験できなかった者

(b) 提出先が教務課、提出日が定期試験期間中の１日に指定されたレポートを下表に記載されている理由により提出できなかった者

※定期試験期間外に行われる試験（集中講座における試験を含む）は、追試験の対象外です。

② 追試験を申込む際には、申込理由に応じた必要書類と学生証を持参してください。

③ 必要書類が所定期間に整わない場合は、受け付けません。

④ 追試験の申込みをしても出席日数不足等の理由から、担当教員が追試験受験を認めない場合があります。また、追試験受験を認めてもＮ評価とする場合があります。

⑤ 追試験申込期間は、定期試験前に掲示します。

⑥ 追試験は学暦で定める期間に実施し、その時間割は別に定めます。追試験日が複数あっても指定はできません。

⑦ 追試験を何らかの理由で受験できなかった場合、再度の追試験は実施しません。

申込理由	申 込 時 必 要 書 類
病気・けが	医療機関の発行した証明書（診断書・治癒証明書など） ただし、以下の事項が明記されているもの ① 傷病名 ② 通院・安静等の日時・期間（欠席した日を含むこと） ③ 証明書作成日 ④ 医療機関名と医師名・印（医療機関または医師） ⑤ 問い合わせ先の電話番号
忌 引 （３親等以内）	教務課所定の届出用紙（窓口で交付）と葬儀の日付、 または死亡を確認できるもの ※法事は含めない。
交通機関遅延	当該交通機関が発行する遅延証明書 （遅延日付が明記されたもの。通学路線に限る）
就職試験 （選考を伴わないものは対象外）	会社の担当者による受験証明書 ただし、以下の事項が明記されているもの ① 学籍番号・氏名 ② 就職試験実施日時 ③ 当該学生が就職試験を受験していた旨の文面 ④ 会社名・住所・電話番号・担当者名・会社印（担当者印のみは不可）
職場のやむを得ない事情	教務課所定の証明書（専任勤務員〈派遣勤務員を含む〉としての就業証明を含む。アルバイトは対象外）
教員免許状取得のための介護等体験	教務課で確認するため不要
学芸員資格取得のための博物館実習（芸術学科のみ）	芸術学科共同研究室または実習先の博物館が発行した「博物館実習受入れ回答書」で、以下の事項が明記されているもの（コピー可）。 ①実習期間 ②実習先（住所・施設名・押印等） ③実習受入れ学生氏名
社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得に必要な４年次の実習 （社会福祉学科のみ）	社会福祉実習センターが発行した実習期間証明書 対象科目：【社会福祉士】ソーシャルワーク実習 【精神保健福祉士】 精神保健福祉援助実習
単位互換大学の定期試験との重複	相手先大学が発行する定期試験受験証明書
定期試験の重複	教務課で確認するため不要 ※定期試験の重複対応試験の手続きをして追試験を指示されたものに限る。
福島県出身者の甲状腺検査	検査の通知文書（コピー不可）
その他（学部長が特別に認めたとき）	教務課所定の許可願用紙（窓口で交付）と理由が明記されている書類、証明書等

成　　　　績

１．成績評価

成績は、各授業科目の担当教員が下記の通り本学の定めた成績評価基準にしたがって、試験（レポート等を含む）の得点、平常点、授業への取り組み方等に基づいて評価して決定します。合格の評価を得た学生には、所定の単位が与えられます。

成績確認画面（成績通知書）には、全履修科目について、下記の評価（ＳからＤおよびＮ、Ｉ、Ｒ、Ｐ、Ｆ）を表示します。

また、成績証明書には、合格科目（単位修得科目）についてのみ、科目名と評価を記載します。

<table>
<tr><th>種別</th><th>評価</th><th>評点
（100 点満点）</th><th>合否</th><th>成績評価基準</th></tr>
<tr><td rowspan="6">成績評価の段階を定める科目</td><td>S</td><td>100～90</td><td rowspan="4">合格</td><td>到達目標を充分に達成し、極めて優秀である。</td></tr>
<tr><td>A</td><td>89～80</td><td>到達目標を充分に達成している。</td></tr>
<tr><td>B</td><td>79～70</td><td>到達目標を概ね達成している。</td></tr>
<tr><td>C</td><td>69～60</td><td>到達目標を最低限達成している。</td></tr>
<tr><td>D</td><td>59 以下</td><td rowspan="2">不合格</td><td>到達目標を達成していない。</td></tr>
<tr><td>N</td><td>評価不能</td><td>試験未受験・出席不良等、当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">成績評価の段階を定めない科目</td><td>I</td><td>－</td><td rowspan="2">単位認定</td><td>「明治学院大学学生国際交流規程」に基づく認定留学により他大学等で得た単位を、本学の授業科目に相当するものとして認定したもの。</td></tr>
<tr><td>R</td><td>－</td><td>「本学入学前に修得した単位の認定に関する規程」および「編入生単位認定規程」に基づき他大学等で得た単位を、本学の授業科目に相当するものとして認定したもの。</td></tr>
<tr><td>P</td><td>－</td><td>合格</td><td>到達目標を達成している。</td></tr>
<tr><td>F</td><td>－</td><td>不合格</td><td>到達目標を達成していない。</td></tr>
</table>

【注意】「評価不能」とは、試験未受験・出席不良等、当該科目の成績評価の前提条件を満たしていないと担当教員が判定したことを示します。

２．成績発表

履修している授業科目の成績は、学暦に定められた成績発表日に発表します。履修登録が正しくなされていない授業科目を受講しても、成績評価の対象とはなりません。

①　発表方法について

Port Hepburn にログイン後、「教務 Web 」を選択して学生メニューを表示し、「成績照会」をクリックして成績を確認してください。授業科目の開講期ごとに発表のタイミングが異なりますので、以下を確認してください。

(a) ９月上旬：当該年度春学期までの全履修科目の成績（夏季講座（第一期）を含む）を通知
(b) ３月上旬：当該年度秋学期、通年開講科目の全履修科目の成績（春季講座を含む）を通知
(c) その他：夏季講座（第二期）の成績および本学の短期留学プログラム（夏季・春季）による認定科目は、別途通知

② 卒業年次生の卒業学期の成績発表について

卒業者発表と同時に行います。

③ 保証人への成績通知について

保証人への成績通知は、Port Hepburn にてお知らせします。事情等があり、保証人への成績通知を希望しない学生は、所定の期間内に教務課で手続きをしてください。申請期間等の詳細は Port Hepburn にて連絡します。また、保証人の住所等に変更があった場合には、教務 Web 上で住所変更の申請を必ず行ってください（変更されないと大学からの重要な連絡ができず、不利益となることがあります)。

３．ＧＰＡ (Grade Point Average)

本学では、成績をはかる基準としてGPAを採用することがあります。GPAとは、科目の単位数に成績評価ごとのポイントで重みをつけ、その総合計を総単位数で割った数値です。ただし、卒業要件外の科目は除外されます。 計算式でわかるとおり、Ｓ評価が多いとポイントが高くなり、Ｄ・Ｎ評価が多いとポイントが下がります。在籍期間中の通算GPAについて、成績確認画面（成績通知書）に記載しますが、教務部ではGPAを使用した成績順位の問い合わせには応じていません。

◎計算式＜Ｐ・Ｆ・Ｒ・Ｉ・W評価は計算の対象外＞

$$\frac{（\text{Sの修得単位数}\times４）＋（\text{Aの修得単位数}\times３）＋（\text{Bの修得単位数}\times２）＋（\text{Cの修得単位数}\times１）}{\text{総修得単位数（D・Nの単位数も含む）}}$$

◎評価のポイント：Ｓ＝４　　Ａ＝３　　Ｂ＝２　　Ｃ＝１　　Ｄ・Ｎ＝０

GPAはＳが多いほど高くなり、最高は4.00となります。小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを有効とします。

GPAは以下のような際に使用されます（一例。これ以外にもあります)。

◎法学部の成績優秀者の選考

◎明治学院大学学内奨学金（学業優秀賞・外国人留学生学業優秀賞）給付対象者の選考

◎明治学院大学大学院社会学研究科の推薦入試における選考

◎明治学院大学大学院心理学研究科の特別入試(本学出身者)における出願基準

◎明治学院大学大学院経済学研究科・法と経営学研究科への飛び入学出願基準

◎法学部生が他大学法科大学院へ進学する際に、３年次早期卒業を希望する場合の卒業要件

◎明治学院大学協定留学者の学内選考基準

◎国際学部ダブル･ディグリー･プログラム出願基準

なお、GPA は上記以外にも、転学科試験への出願や学外の各種奨学金、大学院入試の出願時に必要とされることもあります。

４．成績評価確認（学部生共通）

履修科目の成績評価に異議がある場合には、成績評価確認制度により確認することができます。履修科目の成績に関する問い合わせは、所定の「成績評価確認願」を各校舎教務課に提出することにより行います。なお、**異議の理由が明確でないもの、不適切なものは受け付けません。**調査結果は、後日、教務課で確認することができます。成績に関する問い合わせはこの方法のみに限り、担当教員に直接問い合わせることは認めません。

「成績評価確認願」の提出は、在学生は成績発表後の指定日、卒業年次生は卒業者発表日当日に限ります。

ただし、追試験の受験資格と同等の理由（病気・けが、３親等以内の忌引等）が承認された場合に限り、別途提出を認めます。

なお、卒業不可となった卒業年次生については、成績発表後の指定日での提出も受け付けます。

５．学生への個別支援

本学では、勉強の仕方がわからない、授業について行けないなど学習面での問題を抱えている学生や課外活動でのトラブルや経済的事情から学業に支障をきたしている等、このままでは通常の在学期間での卒業が困難になる可能性のある学生に対して、個別に事情を聴取し、学科および担当部門が当該学生へ必要な学業支援を行います。

学年末の成績発表後、各学科の定めた条件に基づいて学生を抽出し、教務課から個別に通知しますので、連絡を受けた学生は、指示に従って面談等に臨んでください。

卒 業 と 学 位

１．卒業の要件と手続

※年度末（９月卒業を申請した者にあっては春学期末）において卒業要件を満たす者が、希望により卒業を保留することは認められません。

① ３月（年度末）卒業

４年以上（３年次編入生にあっては２年以上、いずれも休学した期間は除く）在学し、かつ、所属する学科が定める卒業に必要な単位を修得した者は、その年度末をもって卒業となります。卒業者については、Port Hepburn および学内掲示板に、学籍番号を発表します。

ただし、以下の者はこの限りではありません。

◎経済学部生について、明治学院大学大学院経済学研究科経済学専攻または法と経営学研究科法と経営学専攻への飛び入学選考に合格した者

◎法学部生について、明治学院大学大学院法と経営学研究科法と経営学専攻への飛び入学選考に合格した者

◎法学部生について、他大学法科大学院へ進学するため、３年次早期卒業が認められた者

◎国際キャリア学科の９月入学生

② ９月（春学期）卒業

４年以上（３年次編入生にあっては２年以上、いずれも休学した期間は除く）在学し、春学期末において①の要件を満たす者については、本人の申し出により春学期末での卒業を認めます。これを「９月卒業」といいます。９月卒業を希望する者は、５月末日までに「９月卒業申請書」を教務課に提出しなければなりません。詳細は、Port Hepburn および掲示にてお知らせします。

なお、所定の手続きを取らなかった者は、春学期末で①の要件を満たした場合でも９月卒業の対象にはならないので注意してください。

※国際キャリア学科生については、②とは前提条件が異なるため「９月卒業申請書」の提出は不要です。

２．卒業時に授与される学位

本学卒業者には以下に定める学士の学位が授与されます。

学部	学科	学位
文学部	英文学科	学士（英文学）
	フランス文学科	学士（フランス文学）
	芸術学科	学士（芸術学）
経済学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
	国際経営学科	学士（国際経営学）
社会学部	社会学科	学士（社会学）
	社会福祉学科	学士（社会福祉学）
法学部	法律学科	学士（法学）
	政治学科	学士（政治学）
	消費情報環境法学科	学士（法学）
	グローバル法学科	学士（法学）
国際学部	国際学科	学士（国際学）
	国際キャリア学科	学士（国際学）
心理学部	心理学科	学士（心理学）
	教育発達学科	学士（教育発達学）

単 位 認 定

本学で授業科目を履修して修得した単位以外に、他大学等で修得した単位を認定することがあります。認定するのは次の1～3ですが、合計で60単位を限度とします。

1. 入学前に修得した単位

入学する前に修得した単位（大学、短期大学、短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科において修得した単位）について認定を希望する学生は入学時の案内に従い手続きしなければなりません。入学時以外での認定や追加の認定は行いません。成績評価は、評価記号「R」により卒業に必要な単位として認定したことを表示します。

2. 国外認定留学により得た単位

国外認定留学による単位認定の手続きは教務課が行います。留学に関することの詳細については国際センターに問い合わせてください。

① 長期留学

本学の認定留学により留学先で修得した単位等について、本学の単位として認定するものです。どのような科目が認定されるかは所属している学科により異なります。成績評価についての扱いは1.と同じであり、留学による認定を意味する記号「I」が表示されます。

② 短期留学（夏季・春季）

本学の短期留学プログラム（夏季・春季）による単位の認定です。留学先大学の評点を本学の成績に置き換えて評価し、認定します。

③ 中期留学

本学の認定留学のうち中期留学プログラムにより留学先で修得した単位等について、本学の単位として認定するものです。留学先大学の評点を本学の成績に置き換えて評価し、認定します。

3. 単位互換

単位互換とは、本学が協定する他大学において修得した授業科目の単位を、各学部の定めるところにより本学の単位として認定する制度で、以下のとおり実施します。詳細は学科によって異なるため本要項およびPort Hepburn等で確認してください。単位互換で修得した科目の評価は、本学の成績評価に換算して表示します。

※履修上の注意

履修にあたっては、学生の責任において移動時間を考慮し、履修登録をしてください。

卒業年次生がこの制度による履修科目によって卒業を満たそうとする場合、卒業見込証明書の発行時期が大幅に遅れる場合があります。

① 横浜市内大学間の単位互換

横浜市内所在の大学間で組織する「横浜市内大学間学術・教育交流協議会」に参加する大学による単位互換制度。

提供科目：「横浜市内大学間学術・教育交流協議会」のホームページ参照（履修可能科目は学部によって異なるので注意してください。）

実施学科：社会福祉学科、法律学科、消費情報環境法学科、政治学科、国際学科（履修可能科目は学科によって異なります。各学科のページ参照。国際学科については教務課窓口までご相談ください。）

募集については「横浜市内大学間単位互換履修生　募集要項」を参照してください。

② 芝浦工業大学との単位互換

芝浦工業大学デザイン工学部と単位互換協定を締結しています。芝浦工業大学で修得した単位を本学の単位として認定します。

提供科目：募集要項にて確認してください

実施学部：法学部（履修可能単位数および卒業要件単位として認定される単位数は各学科のページ参照）

③　共愛学園前橋国際大学との単位互換

共愛学園前橋国際大学と単位互換協定を締結しています。共愛学園前橋国際大学で修得した単位を本学の単位として認定します。
提供科目：募集要項にて確認してください
実施学部：法学部・国際学部（履修可能単位数および卒業要件単位として認定される単位数は各学科のページ参照）

明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケイト・プログラム

このプログラムにおいて、①ボランティア実践、②ボランティア実践と結びつけた科目の単位修得、③ボランティア実践と科目の関連づけを行う「インテグレーション講座」の修了後、所定の手続きを経て認証されることにより、「明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケイト・プログラム」の修了証を取得することができます。

※①のボランティア実践、③のインテグレーション講座についてはボランティアセンターへ、②の科目の履修に関しては教務部にお問い合わせください。詳細は別途案内されますので、本プログラム登録希望者はボランティアセンターからの掲示等を見逃さないようにしてください。

プログラムのイメージ図

明治学院共通科目

人材養成上の目的・教育目標

明治学院共通科目の主たる開講責任を負う教養教育ｾﾝﾀｰは、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、明治学院大学の教養教育の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

明治学院共通科目による教養教育は、世界に生起する諸問題について、他者との共生をめざし柔軟かつ誠実に対処することのできる市民的教養を有する人材の養成を目的とする。そしてその実現のために、言語系科目と諸領域科目の教育が連携し、多様な思考力と表現力を養成するための総合的な教育を推進する。

言語系科目の教育においては、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力の向上と言語を育んできた自他の文化への理解を深め、自律的な学修態度を身につけることを教育目標とする。また、諸領域科目の教育においては、専門的知見の修得を通して、問題を的確に理解するための読解力や分析力、問題解決のための多面的な思考力を身につけることを教育目標とする。

期待される学修成果

教養教育ｾﾝﾀｰは、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成する。学生は、所定の単位を修得することにより、次の態度、知識、能力を身につけることが期待できる。

1　建学の精神を理解し、多様な価値観を尊重しつつ、社会参加を通して他者への貢献を志向する態度
2　幅広い学問分野の基礎知識を有し、現代社会が抱える諸問題に対して多面的に捉え、的確に価値の判断を行う能力
3　自ら発見した課題について、幅広い知見に基づいて、その解決策を適正かつ明確に提示する能力
4　他者とのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝに必要な能力を身につけ、生涯にわたってそれを伸展させるための自律的学修をつづける態度

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

教養教育ｾﾝﾀｰは、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、教養教育ｾﾝﾀｰの定める「人材養成上の目的・教育目標」に沿って、「教育課程の編成および実施に関する方針」を次のとおり定める。

明治学院共通科目を、ｺｱ科目、言語系科目群、人文科学系科目群、社会科学系科目群、自然科学系科目群、情報処理系科目群、健康･ｽﾎﾟｰﾂ科学系科目群、総合教育系科目群の各群により構成する。効率的な教育効果を期待して、ｺｱ科目に加え、基礎、応用、発展のﾚﾍﾞﾙを設定することにより、順次的、体系的な学修を促進できるように科目を編成する。

(1) ｺｱ科目

建学の精神を理解し、他者への貢献を実現するために必要な知見の獲得を目指して、下記の科目を開講する。

必修科目：「ｷﾘｽﾄ教の基礎」を 1 年次に配当する。

(2) 言語系科目群

英語によるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力の向上、初習語における基礎的運用能力の育成を目指して、下記の科目を開講する。

必修科目：「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」を 1 年次に配当する。
留学生には、「日本語」科目を配当する。

選択必修：ﾌﾗﾝｽ語、ﾄﾞｲﾂ語、ｽﾍﾟｲﾝ語、ﾛｼｱ語、中国語、韓国語を選択言語科目として配当する。
留学生は、日本語以外の言語、もしくは、「日本語研究」を選択必修とする。
＊「日本語研究」を選択必修とするのは、法律学科・消費情報環境法学科・政治学科のみ。

自由選択：英語のｵｰﾗｼｰ(聞く・話す)に加え、ﾘﾃﾗｼｰ(読む・書く)強化を目指して、「英語研究」を開講する。
初習語学修の進展を目指して、必修科目として選択した初習語のｲﾝﾃﾝｼﾌﾞｸﾗｽとして各言語の「演習」を開講する。また、上記の選択必修科目に加えて、ｲﾀﾘｱ語・ｱﾗﾋﾞｱ語・ﾀｲ語の学修を目的と

した「基礎」を開講する。

初習語によるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力の養成のため、「(初習)語研究」を開講する。

(3) 情報処理系科目群

選択必修：「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ」を1年次に配当する。

自由選択：「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究」、「情報科学」を開講する。

(4) 諸領域科目群

明治学院共通科目の期待される学修成果に示した1から4について、幅広い学問分野における知識と正確な判断力を涵養するため、「人文科学系科目」、「社会科学系科目」、「自然科学系科目」、「健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学系科目」、「総合教育系科目」の各分野・領域において諸科目を開講する。各授業科目には、個別の授業ﾃｰﾏが提示される。

期待される学修成果と授業科目の関連表（能力要件表）（明治学院共通科目）

学士力		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応する「期待される学修成果」		期待される学修成果2	期待される学修成果2・4	期待される学修成果1・4	期待される学修成果3	期待される学修成果1・3
「期待される学修成果」から抽出した身につく能力		現代社会が抱える諸問題を捉えるための幅広い基礎知識	多面的思考・判断力、コミュニケーション力	多様性の尊重、他者貢献、自律的学習態度	課題発見力	解決策提示力、社会参画による他者貢献
授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○				
コア科目						
MGCHR101ｷﾘｽﾄ教の基礎A	1	◎				
MGCHR102ｷﾘｽﾄ教の基礎B	1	◎				
MGCHR101ｷﾘｽﾄ教の基礎A（Introduction to Christ	1	◎				
MGCHR102ｷﾘｽﾄ教の基礎B（Introduction to Christ	1	◎				
言語系科目群						
1.基礎科目						
MGENG101英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1A	1		◎	○		
MGENG102英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ1B	1		◎	○		
MGENG103英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2A	1		◎	○		
MGENG104英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ2B	1		◎	○		
MGFRE101ﾌﾗﾝｽ語1A	1		◎	○		
MGFRE102ﾌﾗﾝｽ語1B	1		◎	○		
MGFRE103ﾌﾗﾝｽ語2A	1		◎	○		
MGFRE104ﾌﾗﾝｽ語2B	1		◎	○		
MGFRE111ﾌﾗﾝｽ語演習初級A	1		◎	○		
MGFRE112ﾌﾗﾝｽ語演習初級B	1		◎	○		
MGCHN101中国語1A	1		◎	○		
MGCHN102中国語1B	1		◎	○		
MGCHN103中国語2A	1		◎	○		
MGCHN104中国語2B	1		◎	○		
MGCHN111中国語演習初級A	1		◎	○		
MGCHN112中国語演習初級B	1		◎	○		
MGGER101ﾄﾞｲﾂ語1A	1		◎	○		
MGGER102ﾄﾞｲﾂ語1B	1		◎	○		
MGGER103ﾄﾞｲﾂ語2A	1		◎	○		
MGGER104ﾄﾞｲﾂ語2B	1		◎	○		
MGGER111ﾄﾞｲﾂ語演習初級A	1		◎	○		
MGGER112ﾄﾞｲﾂ語演習初級B	1		◎	○		
MGSPN101ｽﾍﾟｲﾝ語1A	1		◎	○		
MGSPN102ｽﾍﾟｲﾝ語1B	1		◎	○		
MGSPN103ｽﾍﾟｲﾝ語2A	1		◎	○		
MGSPN104ｽﾍﾟｲﾝ語2B	1		◎	○		
MGSPN111ｽﾍﾟｲﾝ語演習初級A	1		◎	○		
MGSPN112ｽﾍﾟｲﾝ語演習初級B	1		◎	○		
MGRUS101ﾛｼｱ語1A	1		◎	○		
MGRUS102ﾛｼｱ語1B	1		◎	○		
MGRUS103ﾛｼｱ語2A	1		◎	○		
MGRUS104ﾛｼｱ語2B	1		◎	○		
MGKOR101韓国語1A	1		◎	○		
MGKOR102韓国語1B	1		◎	○		
MGKOR103韓国語2A	1		◎	○		
MGKOR104韓国語2B	1		◎	○		
MGKOR111韓国語演習初級A	1		◎	○		
MGKOR112韓国語演習初級B	1		◎	○		
MGJPN101日本語1A	1		◎	○		
MGJPN102日本語1B	1		◎	○		
MGJPN103日本語2A	1		◎	○		
MGJPN104日本語2B	1		◎	○		
MGJPN121集中日本語1A	1		◎	○		
MGJPN122集中日本語1B	1		◎	○		
MGJPN123集中日本語2A	1		◎	○		
MGJPN124集中日本語2B	1		◎	○		
MGJPN131実践日本語初級A	1		◎	○		
MGJPN132実践日本語初級B	1		◎	○		
MGITA101ｲﾀﾘｱ語の基礎A	1		◎	○		

授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=〇				
MGITA102ｲﾀﾘｱ語の基礎B	1		◎	○		
MGARB101ｱﾗﾋﾞｱ語の基礎A	1		◎	○		
MGARB102ｱﾗﾋﾞｱ語の基礎B	1		◎	○		
MGTHA101ﾀｲ語の基礎A	1		◎	○		
MGTHA102ﾀｲ語の基礎B	1		◎	○		
MGGRE101ｷﾞﾘｼｱ語研究A	1		◎	○		
MGGRE102ｷﾞﾘｼｱ語研究B	1		◎	○		
MGLAT101ﾗﾃﾝ語研究A	1		◎	○		
MGLAT102ﾗﾃﾝ語研究B	1		◎	○		
MGSIG101手話1	1		◎	○		
MGEUC101ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門1	1	◎	○	○		
MGEUC102ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門2	1	◎	○	○		
MGEUC103ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門3	1	◎	○	○		
MGEUC104ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門4	1	◎	○	○		
MGEUC105ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門5	1	◎	○	○		
MGEUC106ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門6	1	◎	○	○		
MGEUC111ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論1	1	◎	○	○		
MGEUC112ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論2	1	◎	○	○		
MGEUC113ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論3	1	◎	○	○		
MGEUC114ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論4	1	◎	○	○		
MGEUC115ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論5	1	◎	○	○		
MGEUC116ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論6	1	◎	○	○		
MGASC101ｱｼﾞｱ言語圏の文化入門1	1	◎	○	○		
MGASC102ｱｼﾞｱ言語圏の文化入門2	1	◎	○	○		
MGASC103ｱｼﾞｱ言語圏の文化入門3	1	◎	○	○		
MGASC104ｱｼﾞｱ言語圏の文化入門4	1	◎	○	○		
MGASC111ｱｼﾞｱ言語圏の文化各論1	1	◎	○	○		
MGASC112ｱｼﾞｱ言語圏の文化各論2	1	◎	○	○		
MGASC113ｱｼﾞｱ言語圏の文化各論3	1	◎	○	○		
MGASC114ｱｼﾞｱ言語圏の文化各論4	1	◎	○	○		
2.応用科目						
MGENG201英語特別研究A	1		◎	○		
MGENG202英語特別研究B	1		◎	○		
MGENG211英語研究1A	2	○	◎	○		
MGENG212英語研究1B	2	○	◎	○		
MGENG213英語研究2A	2	○	◎	○		
MGENG214英語研究2B	2	○	◎	○		
MGFRE205ﾌﾗﾝｽ語3A	1		◎	○		
MGFRE206ﾌﾗﾝｽ語3B	1		◎	○		
MGFRE207ﾌﾗﾝｽ語4A	1		◎	○		
MGFRE208ﾌﾗﾝｽ語4B	1		◎	○	○	
MGFRE211ﾌﾗﾝｽ語研究1A	2		◎	○	○	
MGFRE212ﾌﾗﾝｽ語研究1B	2		◎	○	○	
MGFRE213ﾌﾗﾝｽ語研究2A	2		◎	○	○	
MGFRE214ﾌﾗﾝｽ語研究2B	2		◎	○	○	
MGFRE221ﾌﾗﾝｽ語演習中級A	1		◎	○	○	
MGFRE222ﾌﾗﾝｽ語演習中級B	1		◎	○	○	
MGCHN205中国語3A	1		◎	○		
MGCHN206中国語3B	1		◎	○		
MGCHN207中国語4A	1		◎	○		
MGCHN208中国語4B	1		◎	○		
MGCHN211中国語研究1A	2		◎	○	○	
MGCHN212中国語研究1B	2		◎	○	○	
MGCHN213中国語研究2A	2		◎	○	○	
MGCHN214中国語研究2B	2		◎	○	○	
MGCHN221中国語演習中級A	1		◎	○	○	
MGCHN222中国語演習中級B	1		◎	○	○	
MGGER205ﾄﾞｲﾂ語3A	1		◎	○		
MGGER206ﾄﾞｲﾂ語3B	1		◎	○		
MGGER207ﾄﾞｲﾂ語4A	1		◎	○		
MGGER208ﾄﾞｲﾂ語4B	1		◎	○		
MGGER211ﾄﾞｲﾂ語研究1A	2		◎	○	○	
MGGER212ﾄﾞｲﾂ語研究1B	2		◎	○	○	

授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGGER213ﾄﾞｲﾂ語研究2A	2		◎	○	○	
MGGER214ﾄﾞｲﾂ語研究2B	2		◎	○	○	
MGGER221ﾄﾞｲﾂ語演習中級A	1		◎	○	○	
MGGER222ﾄﾞｲﾂ語演習中級B	1		◎	○	○	
MGSPN205ｽﾍﾟｲﾝ語3A	1		◎	○		
MGSPN206ｽﾍﾟｲﾝ語3B	1		◎	○		
MGSPN207ｽﾍﾟｲﾝ語4A	1		◎	○		
MGSPN208ｽﾍﾟｲﾝ語4B	1		◎	○		
MGSPN211ｽﾍﾟｲﾝ語研究1A	2		◎	○	○	
MGSPN212ｽﾍﾟｲﾝ語研究1B	2		◎	○	○	
MGSPN213ｽﾍﾟｲﾝ語研究2A	2		◎	○	○	
MGSPN214ｽﾍﾟｲﾝ語研究2B	2		◎	○	○	
MGSPN221ｽﾍﾟｲﾝ語演習中級A	1		◎	○	○	
MGSPN222ｽﾍﾟｲﾝ語演習中級B	1		◎	○	○	
MGRUS205ﾛｼｱ語3A	1		◎	○		
MGRUS206ﾛｼｱ語3B	1		◎	○		
MGRUS207ﾛｼｱ語4A	1		◎	○		
MGRUS208ﾛｼｱ語4B	1		◎	○		
MGRUS211ﾛｼｱ語研究1A	2		◎	○	○	
MGRUS212ﾛｼｱ語研究1B	2		◎	○	○	
MGRUS213ﾛｼｱ語研究2A	2		◎	○	○	
MGRUS214ﾛｼｱ語研究2B	2		◎	○	○	
MGKOR205韓国語3A	1		◎	○		
MGKOR206韓国語3B	1		◎	○		
MGKOR207韓国語4A	1		◎	○		
MGKOR208韓国語4B	1		◎	○		
MGKOR211韓国語研究1A	2		◎	○	○	
MGKOR212韓国語研究1B	2		◎	○	○	
MGKOR213韓国語研究2A	2		◎	○	○	
MGKOR214韓国語研究2B	2		◎	○	○	
MGKOR221韓国語演習中級A	1		◎	○	○	
MGKOR222韓国語演習中級B	1		◎	○	○	
MGJPN205日本語3A	2		◎	○		
MGJPN206日本語3B	2		◎	○		
MGJPN207日本語4A	2		◎	○		
MGJPN208日本語4B	2		◎	○		
MGJPN211日本語研究1A	2		◎	○		
MGJPN212日本語研究1B	2		◎	○		
MGJPN213日本語研究2A	2		◎	○		
MGJPN214日本語研究2B	2		◎	○		
MGJPN215日本語研究3A	2		◎	○		
MGJPN216日本語研究3B	2		◎	○		
MGJPN225集中日本語3A	1		◎	○		
MGJPN226集中日本語3B	1		◎	○		
MGJPN227集中日本語4A	1		◎	○		
MGJPN228集中日本語4B	1		◎	○		
MGJPN233実践日本語中級SA	1		◎	○		
MGJPN234実践日本語中級SB	1		◎	○		
MGJPN235実践日本語中級WA	1		◎	○		
MGJPN236実践日本語中級WB	1		◎	○		
MGJPN237実践日本語上級SA	1		◎	○		
MGJPN238実践日本語上級SB	1		◎	○		
MGJPN239実践日本語上級WA	1		◎	○		
MGJPN240実践日本語上級WB	1		◎	○		
MGSIG202手話2	1		◎	○		
3.発展科目						
MGENG215英語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGENG216英語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGFRE315ﾌﾗﾝｽ語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGFRE316ﾌﾗﾝｽ語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGFRE317ﾌﾗﾝｽ語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGFRE318ﾌﾗﾝｽ語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGCHN315中国語研究3A	2	○	◎	○	○	

授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGCHN316中国語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGCHN317中国語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGCHN318中国語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGGER315ﾄﾞｲﾂ語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGGER316ﾄﾞｲﾂ語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGGER317ﾄﾞｲﾂ語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGGER318ﾄﾞｲﾂ語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGSPN315ｽﾍﾟｲﾝ語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGSPN316ｽﾍﾟｲﾝ語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGSPN317ｽﾍﾟｲﾝ語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGSPN318ｽﾍﾟｲﾝ語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGRUS315ﾛｼｱ語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGRUS316ﾛｼｱ語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGRUS317ﾛｼｱ語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGRUS318ﾛｼｱ語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGKOR315韓国語研究3A	2	○	◎	○	○	
MGKOR316韓国語研究3B	2	○	◎	○	○	
MGKOR317韓国語研究4A	3	○	◎	○	○	
MGKOR318韓国語研究4B	3	○	◎	○	○	
MGJPN329集中日本語5A	1		◎	○		
MGJPN330集中日本語5B	1		◎	○		
情報処理系科目群						
1.基礎科目						
MGCOM101ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ1	1	◎	○		○	
MGCOM102ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ2	1	◎	○		○	
2.応用科目						
MGCOM201ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究1A	1	◎	○		○	
MGCOM202ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究1B	1	◎	○		○	
MGCOM203ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究2A	1	◎	○		○	
MGCOM204ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究2B	1	◎	○		○	
MGCOM211情報科学1	1	◎	○		○	
MGCOM212情報科学2	1	◎	○		○	
MGCOM213情報科学3	1	◎	○		○	
MGCOM214情報科学4	1	◎	○		○	
人文科学系科目群						
1.基礎科目						
MGPHI101哲学史1	1	◎	○	○	○	
MGPHI102哲学史2	1	◎	○	○	○	
MGETH101倫理学入門1	1	◎	○	○	○	
MGETH102倫理学入門2	1	◎	○	○	○	
MGLOG101論理学概論1	1	◎	○	○	○	
MGLOG102論理学概論2	1	◎	○	○	○	
MGLIN101言語科学の基礎1	1	◎	○	○	○	
MGLIN102言語科学の基礎2	1	◎	○	○	○	
MGLIN103言語科学の基礎3	1	◎	○	○	○	
MGLIN104言語科学の基礎4	1	◎	○	○	○	
MGPSY101心理学入門1	1	◎	○		○	
MGPSY102心理学入門2	1	◎	○		○	
MGEDU101教育学の基礎1	1	◎				
MGEDU102教育学の基礎2	1	◎				
MGART101芸術学の基礎1	1	◎	○			
MGART102芸術学の基礎2	1	◎	○			
MGJPL101日本文学概論1	1	◎	○	○		
MGJPL102日本文学概論2	1	◎	○	○		
MGJPS101日本文化論入門1	1	◎		○		○
MGJPS102日本文化論入門2	1	◎		○		○
MGJPS103日本文化論入門3	1	◎		○		○
MGJPS104日本文化論入門4	1	◎		○		○
2.応用科目						
MGCHR201聖書の世界1	2	◎				
MGCHR202聖書の世界2	2	◎				
MGCHR203聖書の世界3	2	◎				
MGCHR204聖書の世界4	2	◎				

授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGCHR211ｷﾘｽﾄ教の思想と文化1	1			◎		
MGCHR212ｷﾘｽﾄ教の思想と文化2	1			◎		
MGCHR213ｷﾘｽﾄ教の思想と文化3	1			◎		
MGCHR214ｷﾘｽﾄ教の思想と文化4	1			◎		
MGCHR221宗教史1	1	◎				
MGCHR222宗教史2	1	◎				
MGCHR223宗教史3	1	◎				
MGCHR224宗教史4	1	◎				
MGCHR231現代社会とｷﾘｽﾄ教1	1				○	◎
MGCHR232現代社会とｷﾘｽﾄ教2	1				○	◎
MGCHR233現代社会とｷﾘｽﾄ教3	1				○	◎
MGCHR234現代社会とｷﾘｽﾄ教4	1				○	◎
MGPHI201哲学各論1	1	○	◎	○	○	
MGPHI202哲学各論2	1	○	◎	○	○	
MGPHI211科学思想1	1	○	◎	○	○	
MGPHI212科学思想2	1	○	◎	○	○	
MGETH201倫理学各論1	1	○	◎	○	○	
MGETH202倫理学各論2	1	○	◎	○	○	
MGETH203倫理学各論3	1	○	◎	○	○	
MGETH204倫理学各論4	1	○	◎	○	○	
MGLOG201伝統論理学1	1	○	◎	○	○	
MGLOG202伝統論理学2	1	○	◎	○	○	
MGLOG211現代論理学1	1	○	◎	○	○	
MGLOG212現代論理学2	1	○	◎	○	○	
MGPSY201心理学各論1	2	○	◎		○	
MGPSY202心理学各論2	2	○	◎		○	
MGPSY203心理学各論3	2	○	◎		○	
MGPSY204心理学各論4	2	○	◎		○	
MGART201芸術学各論1	1	◎	○			
MGART202芸術学各論2	1	◎	○			
MGART203芸術学各論3	1	◎	○			
MGART204芸術学各論4	1	◎	○			
MGART205芸術学各論5	1	◎	○			
MGART206芸術学各論6	1	◎	○			
MGJPL201日本文学講読1	1	○	○	◎		
MGJPL202日本文学講読2	1	○	○	◎		
MGJPL203日本文学講読3	1	○	○	◎		
MGJPL204日本文学講読4	1	○	○	◎		
MGJPS201日本文化特論1	1			◎		○
MGJPS202日本文化特論2	1			◎		○
社会科学系科目群						
1.基礎科目						
MGLAW101法学(日本国憲法を含む) 1	1	◎	○		○	○
MGLAW102法学(日本国憲法を含む) 2	1	◎	○		○	○
MGPOS101政治学1	1	◎	○		○	○
MGPOS102政治学2	1	◎	○		○	○
MGSOC101社会学理論の基礎1	1	○	◎	○		
MGSOC102社会学理論の基礎2	1	○	◎	○		
MGSOC111文化とﾒﾃﾞｨｱの社会学入門1	1		◎	○		
MGSOC112文化とﾒﾃﾞｨｱの社会学入門2	1		◎	○		
MGSOC121生命とｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨの社会学入門1	1		◎	○		
MGSOC122生命とｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨの社会学入門2	1		◎	○		
MGSOC131環境とｺﾐｭﾆﾃｨの社会学入門1	1		◎	○		
MGSOC132環境とｺﾐｭﾆﾃｨの社会学入門2	1		◎	○		
MGSWS101社会福祉学1	1	◎		○		○
MGSWS102社会福祉学2	1	◎		○		○
MGECN101経済学1	1	◎		○	○	○
MGECN102経済学2	1	◎		○	○	○
MGSTA101統計学1	1	◎				○
MGSTA102統計学2	1	◎				○
MGSTA103統計学3	1	◎				○
MGSTA104統計学4	1	◎				○
MGGEO101人文地理学入門1	1	◎	○			

授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGGE0102人文地理学入門2	1	◎	○			
MGANT101文化人類学入門1	1	○	○	◎		○
MGANT102文化人類学入門2	1	○	○	◎		○
MGSOS101社会科学概論1	1	○	○	◎		○
MGSOS102社会科学概論2	1	○	○	◎		○
MGSOS103社会科学概論3	1	○	○	◎		○
MGSOS104社会科学概論4	1	○	○	◎		○
2.応用科目						
MGHIS201歴史学1	1	○	○	◎		○
MGHIS202歴史学2	1	○	○	◎		○
MGHIS203歴史学3	1	○	○	◎		○
MGHIS204歴史学4	1	○	○	◎		○
MGHIS205歴史学5	1	○	○	◎		○
MGHIS206歴史学6	1	○	○	◎		○
MGHIS211歴史学の世界1	1	○	○	◎		○
MGHIS212歴史学の世界2	1	○	○	◎		○
MGGE0201人文地理学1	1	○	◎	○		
MGGE0202人文地理学2	1	○	◎	○		
MGGE0203人文地理学3	1	○	◎	○		
MGGE0204人文地理学4	1	○	◎	○		
MGGE0205人文地理学5	1	○	◎	○		
MGGE0206人文地理学6	1	○	◎	○		
MGANT201文化人類学各論1	1	○	○	◎		○
MGANT202文化人類学各論2	1	○	○	◎		○
自然科学系科目群						
1.基礎科目						
MGMAT101数学入門1	1	◎	○		○	
MGMAT102数学入門2	1	◎	○		○	
MGMAT111数学1	1	◎	○		○	
MGMAT112数学2	1	◎	○		○	
MGMAT113数学3	1	◎	○		○	
MGMAT114数学4	1	◎	○		○	
MGPHY101物理学入門1	1	◎	○		○	○
MGPHY102物理学入門2	1	◎	○		○	○
MGPHY103物理学入門3	1	◎	○		○	○
MGPHY121物理学方法論A	1	○	○		○	◎
MGPHY122物理学方法論B	1	○	○		○	◎
MGCHE101化学入門1	1	◎	○			
MGCHE102化学入門2	1	◎	○			
MGCHE121化学方法論A	1	○			○	◎
MGCHE122化学方法論B	1	○			○	◎
MGBIO101生物学入門1	1	◎	○		○	○
MGBIO102生物学入門2	1	◎	○		○	○
MGBIO121生物学方法論A	1	○	○		○	◎
MGBIO122生物学方法論B	1	○	○		○	◎
MGLIS101生命科学入門1	1	◎	○			
MGLIS102生命科学入門2	1	◎	○			
MGLIS121生命科学方法論A	1	○	○		○	◎
MGLIS122生命科学方法論B	1	○	○		○	◎
2.応用科目						
MGMAT211数学特論1	1	○	○		◎	
MGMAT212数学特論2	1	○	○		◎	
MGPHY201現代の物理学1	1	◎	○		○	○
MGPHY202現代の物理学2	1	◎	○		○	○
MGPHY203現代の物理学3	1	◎	○		○	○
MGPHY211物理学特論	1	○	○		○	◎
MGCHE201現代の化学1	1	◎	○			
MGCHE202現代の化学2	1	◎	○			
MGCHE203現代の化学3	1	◎	○			
MGCHE204現代の化学4	1	◎	○			
MGBIO201現代の生物学1	1	◎	○		○	○
MGBIO202現代の生物学2	1	◎	○		○	○
MGBIO203現代の生物学3	1	◎	○		○	○

授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGBIO204現代の生物学4	1	◎	○		○	○
MGBIO205現代の生物学5	1	◎	○		○	○
MGBIO211生物学特論	1	○	○		○	◎
MGLIS201生命科学各論1	1	◎	○			
MGLIS202生命科学各論2	1	◎	○			
MGLIS203生命科学各論3	1	◎	○			
MGLIS211生命科学特論	1	○	○		○	◎
健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学系科目群						
1.基礎科目						
MGHSS101健康科学概論1	1	◎			○	○
MGHSS102健康科学概論2	1	◎			○	○
MGHSS111ｽﾎﾟｰﾂ科学概論1	1	◎			○	○
MGHSS112ｽﾎﾟｰﾂ科学概論2	1	◎			○	○
MGHSS121ｽﾎﾟｰﾂ社会学概論1	1	◎			○	○
MGHSS122ｽﾎﾟｰﾂ社会学概論2	1	◎			○	○
MGHSS131ｽﾎﾟｰﾂ方法学1	1		◎	○	○	○
MGHSS132ｽﾎﾟｰﾂ方法学2	1		◎	○	○	○
MGHSS133ｽﾎﾟｰﾂ方法学3	1		◎	○	○	○
MGHSS134ｽﾎﾟｰﾂ方法学4	1		◎	○	○	○
MGHSS141ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究1A	1		◎	○	○	○
MGHSS143ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究2A	1		◎	○	○	○
MGHSS145ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究3A	1		◎	○	○	○
2.応用科目						
MGHSS201ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ科学理論･実習1	1	○		○	○	◎
MGHSS202ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ科学理論･実習2	1	○		○	○	◎
MGHSS211ﾊﾞｲｵﾒｶﾆｸｽ理論･実習1	1	○			○	◎
MGHSS212ﾊﾞｲｵﾒｶﾆｸｽ理論･実習2	1	○			○	◎
MGHSS242ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究1B	1		○	◎	○	○
MGHSS244ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究2B	1		○	◎	○	○
MGHSS246ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究3B	1		○	◎	○	○
総合教育系科目群						
1.基礎科目						
MGIND101現代世界と人間1	1		○	◎	○	
MGIND102現代世界と人間2	1		○	◎	○	
MGIND103現代世界と人間3	1		○	◎	○	
MGIND104現代世界と人間4	1		○	◎	○	
MGIND105現代世界と人間5	1		○	◎	○	
MGIND106現代世界と人間6	1		○	◎	○	
MGIND111現代社会と教養1	1		○	◎	○	
MGIND112現代社会と教養2	1		○	◎	○	
MGIND121多文化共生入門1	1		○	◎	○	○
MGIND122多文化共生入門2	1		○	◎	○	○
MGIND131ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ入門1	1		○	○	◎	○
MGIND132ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ入門2	1		○	○	◎	○
MGMGS101明治学院研究1	1	◎				
MGIND141現代平和研究1	1	○	○	◎	○	
MGIND142現代平和研究2	1	○	○	◎	○	
MGIND143現代平和研究3	1	○	○	◎		○
MGENV101環境学各論1	1	◎	○		○	
MGENV102環境学各論2	1	◎	○		○	
MGENV103環境学各論3	1	○	○		○	◎
MGENV104環境学各論4	1	○	○		○	◎
MGSUS101ｻｽﾃｲﾅﾋﾞﾘﾃｨｰ学1	1		◎	○	○	○
MGSUS102ｻｽﾃｲﾅﾋﾞﾘﾃｨｰ学2	1		◎	○	○	○
MGSUS103ｻｽﾃｲﾅﾋﾞﾘﾃｨｰ学3	1		◎	○	○	○
MGSUS104ｻｽﾃｲﾅﾋﾞﾘﾃｨｰ学4	1		◎	○	○	○
MGVOL101ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学入門1	1		○	◎		○
MGVOL102ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学入門2	1		○	◎		○
MGVOL103ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学入門3	1		○	◎		○
MGVOL104ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学入門4	1		○	◎		○
MGVOL111ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動入門1	1		○	◎	○	○
MGVOL112ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動入門2	1		○	◎	○	○
MGVOL121ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論(国内)1A	1		○	◎	○	

授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGVOL122ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論(海外)2A	1		○	◎	○	
MGACW101ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞの基礎	1		◎	○	○	
MGLCD101ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ1	1		○	○	◎	○
MGLCD111ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ1	2		○	◎	○	○
MGCCS101日本の社会と文化1A	1		○	◎	○	
MGCCS102日本の社会と文化1B	1		○	◎	○	
MGCCS103日本の社会と文化2A	1		○	◎	○	
MGCCS104日本の社会と文化2B	1		○	◎	○	
MGCCS105日本の社会と文化3A	1		○	◎	○	
MGCCS106日本の社会と文化3B	1		○	◎	○	
MGCCS111異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究A	1		○	◎	○	
MGCCS112異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究B	1		○	◎	○	
MGPIO101ｵﾙｶﾞﾝ実習1	2	◎				
MGRES101ﾖｰﾛｯﾊﾟ研究(短期留学)	1	○	◎		○	
MGRES102ｲｷﾞﾘｽ研究(短期留学)	1	○	◎		○	
MGRES103ｽﾍﾟｲﾝ研究(短期留学)	1	○	◎		○	
MGRES104ﾄﾞｲﾂ研究(短期留学)	1	○	◎		○	
MGRES105ﾌﾗﾝｽ研究(短期留学)	1	○	◎		○	
MGRES106ｱﾒﾘｶ研究(短期留学)	1	○	◎		○	
MGRES107ｶﾅﾀﾞ研究(短期留学)	1	○	◎		○	
MGRES108韓国研究(短期留学)	1	○	◎		○	
MGRES109中国研究(短期留学)	1	○	◎		○	
MGRES110ｵｾｱﾆｱ研究(短期留学)	1	○	◎		○	
MGRES111東南ｱｼﾞｱ研究(短期留学)	1	○	◎		○	
MGITS101海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ課題研究A	1		○	○	○	◎
MGITS102海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ課題研究B	1		○	○	○	◎
2.応用科目						
MGIND201多文化共生各論1	1		○	◎	○	○
MGIND202多文化共生各論2	1		○	◎	○	○
MGIND203多文化共生各論3	1		○	◎	○	○
MGIND204多文化共生各論4	1		○	◎	○	○
MGIND211ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ各論1	1		○	○	◎	○
MGIND212ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ各論2	1		○	○	◎	○
MGIND213ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ各論3	1		○	○	◎	○
MGIND214ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ各論4	1		○	○	◎	○
MGMGS202明治学院研究2	1	◎				
MGMGS203明治学院研究3	1	◎				
MGVOL201ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動1	1		○	○	◎	○
MGVOL202ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動2	1		○	○	○	◎
MGVOL223ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論(国内)1B	2			○	◎	○
MGVOL224ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動論(海外)2B	2			○	◎	○
MGVOL231ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動実習(国内)	2			○	○	◎
MGVOL232ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動実習(海外)	2			○	○	◎
MGACW201ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習1	1		◎	○	○	
MGACW202ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習2(留学生専用)	1		◎	○	○	
MGLCD202ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ2	2		○	○	◎	○
MGLCD203ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ3	3		○	○	◎	○
MGLCD204ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ4	3		○	○	◎	○
MGLCD212ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ2	2		○	◎	○	○
MGIND221ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ1	1		◎	○		
MGIND222ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ2	1		◎	○		
MGIND223ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ3	1		◎	○		
MGIND224ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ4	1		◎	○		
MGPIO202ｵﾙｶﾞﾝ実習2	2	◎				
MGINT201Japanese Arts and Culture 1	1	◎	○	○		
MGINT202Japanese Arts and Culture 2	1	◎	○	○		
MGINT203Japanese Arts and Culture 3	1	◎	○	○		
MGINT204Japanese Arts and Culture 4	1	◎	○	○		
MGINT205Japanese Arts and Culture 5	1	◎	○	○		
MGINT206Japanese Arts and Culture 6	1	◎	○	○		
MGINT211Japanese History 1	1	◎	○	○		
MGINT212Japanese History 2	1	◎	○	○		
MGINT213Japanese History 3	1	◎	○	○		

授業科目名	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○				
MGINT214Japanese History 4	1	◎	○	○		
MGINT215Japanese History 5	1	◎	○	○		
MGINT216Japanese History 6	1	◎	○	○		
MGINT221Japanese Society 1	1	◎	○	○		
MGINT222Japanese Society 2	1	◎	○	○		
MGINT223Japanese Society 3	1	◎	○	○		
MGINT224Japanese Society 4	1	◎	○	○		
MGINT225Japanese Society 5	1	◎	○	○		
MGINT226Japanese Society 6	1	◎	○	○		
MGINT231Multilingualism and Multicultural	1	◎	○	○		
MGINT232Multilingualism and Multicultural	1	◎	○	○		
MGINT233Multilingualism and Multicultural	1	◎	○	○		
MGINT234Multilingualism and Multicultural	1	◎	○	○		
MGINT241Current Issues 1	1	◎	○	○		
MGINT242Current Issues 2	1	◎	○	○		
MGINT243Current Issues 3	1	◎	○	○		
MGINT244Current Issues 4	1	◎	○	○		
MGITS201海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟA	1		○	○	○	◎
MGITS202海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟB	1		○	○	○	◎
3.発展科目						
MGVOL301ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動研究(国内)	2		○		◎	○
MGVOL302ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ･市民活動研究(海外)	2		○		◎	○
~~MGVOL311ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学研究A~~	~~3~~		~~○~~		~~○~~	~~○~~
~~MGVOL312ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学研究B~~	~~3~~		~~○~~		~~○~~	~~○~~
MGSEM301ｱｼﾞｱ･日本研究A	3		◎	○	○	○
MGSEM302ｱｼﾞｱ･日本研究B	3		◎	○	○	○
MGSEM311ﾖｰﾛｯﾊﾟ文化圏研究A	3		◎	○	○	○
MGSEM312ﾖｰﾛｯﾊﾟ文化圏研究B	3		◎	○	○	○
MGSEM321現代科学研究A	3		○	○	◎	○
MGSEM322現代科学研究B	3		○	○	◎	○
MGSEM331現代社会研究A	3		◎	○	○	○
MGSEM332現代社会研究B	3		◎	○	○	○
特別学科科目						
社会学概論A	1	◎	○	○		
社会学概論B	1	◎	○	○		

[履修上の注意]

①A･Bあるいは1～6はそれぞれ独立した科目である。なお、原則としてA･Bは、同一曜時限の同一担当者のｸﾗｽを履修することとし、同一曜時限に複数ｸﾗｽが開講されている場合にも、いずれか1ｸﾗｽを定めて履修するものとする。

②A･Bは原則としてその順序で履修する（いずれかのみの履修の可否、あるいは両方の履修の要否は科目ごとに指示する）こととするが、1～6は特に指示された場合を除き、どの順序で履修しても差し支えない。また、1～6の全てを履修する必要はない。なお、同学期中に1～6の番号の異なる複数の授業を履修してもよい。

③以下の表の配当年次とは、その科目を履修できる下限の年次を示したものである。1年次配当科目とは、1年次以上の学生が履修できることを意味している。

④特に指示がある科目を除き、同一科目が異なる曜時限に複数開講されている場合でも、履修できるのは1つだけである。

（例:「ｷﾘｽﾄ教の思想と文化1」が月曜1限と月曜2限に開講されている場合、履修できるのは片方のみ）

⑤修得可能な単位数は、学科ごとに定められている。『履修要項』での説明を参照すること。

⑥履修可能なｸﾗｽの開講学期等については、Port Hepburnの時間割表(開講科目情報)で、各自が所属する学科・入学年度の時間割表を参照すること。

⑦学生は自身の興味関心にしたがって所定のﾙｰﾙの範囲内で自由に履修することができるが、関連する科目を有機的に履修することにより、学修の幅をもたせることが可能である。その理想的な「ﾓﾃﾞﾙ」として各ﾃｰﾏに沿った「仮想ｺｰｽ」（「ｱｼﾞｱ地域研究入門ｺｰｽ」･「Do for Others とﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動ｺｰｽ」･「多文化共生ｺｰｽ」･「持続可能な社会ｺｰｽ」）が設定されている。なお、詳細は教養教育ｾﾝﾀｰﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞを参照すること。

［必修科目］

必修および選択必修科目。以下の科目 1～3 について、それぞれ所定の単位を修得すること。なお、国際キャリア学科生の明治学院共通科目における必修・選択必修科目については、国際キャリア学科のページを参照すること。

1. ［ｺｱ科目］

全学必修のｷﾘｽﾄ教関連科目。A･Bそれぞれ2単位、計4単位を修得しなければならない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCHR	101～102	ｷﾘｽﾄ教の基礎 A･B	1	各 2	1 年次

2. ［言語系科目群］

- 国際学科生は 1、2 年次において英語以外の外国語を 8 単位修得すること。
- ﾌﾗﾝｽ語・中国語・ﾄﾞｲﾂ語・ｽﾍﾟｲﾝ語・ﾛｼｱ語・韓国語 の 6 言語の中から選択し、同一言語について 8 単位修得しなければならない。
- 各言語の A・B は、同一曜時限の同一担当者のｸﾗｽを履修すること。
- 再履修する場合は、未修得のものと同じ科目（末尾の英数字まで含む）を履修すること。
- 「日本語」1A・1B、2A・2B、3A・3B、4A・4B は留学生のための外国語科目であり、一般学生は履修することができない。
  国際学科所属留学生については、次項の「外国人留学生ならびに特に学科が認めた学生の外国語科目履修について」に従うこと。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGFRE	101～104	ﾌﾗﾝｽ語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
	205～208	ﾌﾗﾝｽ語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	2 年次
MGCHN	101～104	中国語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
	205～208	中国語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	2 年次
MGGER	101～104	ﾄﾞｲﾂ語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
	205～208	ﾄﾞｲﾂ語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	2 年次
MGSPN	101～104	ｽﾍﾟｲﾝ語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
	205～208	ｽﾍﾟｲﾝ語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	2 年次
MGRUS	101～104	ﾛｼｱ語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
	205～208	ﾛｼｱ語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	2 年次
MGKOR	101～104	韓国語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
	205～208	韓国語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	2 年次
MGJPN	101～104	日本語 1A･1B･2A･2B	1	各 1	1 年次
	205～208	日本語 3A･3B･4A･4B	2	各 1	2 年次

・英語以外の言語について、大学入学以前に既に学習している言語を選択する際には必ず教務課窓口に相談すること。

・相談の結果、許可された者は上記の言語 1A・1B・2A・2B ではなく、3A・3B・4A・4B を選択必修科目として履修することになる。

・国際学科において 1 年次に 3A・3B・4A・4B を選択必修科目として履修した者は、2 年次に「〇〇語研究」3A･3B･4A･4B から 4 単位を修得することが必要になる。

外国人留学生ならびに特に学科が認めた学生の外国語科目履修について

これらの学生は、外国語科目の履修に際して、以下の①～②のうちからいずれかの履修方法を選んで履修すること。
①日本語科目8単位を「英語以外の外国語」科目8単位として修得する。
②日本語科目を履修せず、「英語以外の外国語」科目8単位を修得する。
いずれの履修方法を選択するにせよ、履修登録前に学科の指導を受けること。

3. ［情報処理系科目］

ｺﾝﾋﾟｭｰﾀに関する選択必修科目。

・「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ」1は入門ｸﾗｽ、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ」2は初級ｸﾗｽである。**学生は、自らの習熟度を判断して1または2を選択し、2単位を修得しなければならない。**なお、それぞれの授業内容については、ｼﾗﾊﾞｽを参照すること。
・入学時に中級以上の技能を有する学生については、情報処理系科目群「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究」1A・1B・2A・2Bから2単位を修得することにより、必修の2単位に振り替えることができる。ただし、「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ」1・2と「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究」1A・1Bは同時に履修することはできない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCOM	101～102	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ 1・2	1	各 2	1 年次

［選択科目］

以下の諸科目から自由に選択して履修することができる。多様な科目を選択してもよいし、同一分野の科目を集中的に選択してもよい。学生それぞれの関心に即して履修計画を立てることが可能である。

・各科目ごとの内容は、ｼﾗﾊﾞｽに（授業ﾃｰﾏを付して）公表される。履修に際してはそれらを参照すること。

・履修者数が制限されることがあるので、履修希望者はｼﾗﾊﾞｽを参照すること。

1.［言語系科目群］

※A･Bは独立した科目であるが、可能な限り同一曜時限の同一担当者のｸﾗｽを履修することとし、同一曜時限に複数ｸﾗｽが開講されている場合にも、いずれか1ｸﾗｽを定めて履修するものとする。

「○○語演習」

・必修科目として選択した初習語と同じ言語について、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力向上を目指す。

・この科目の単位修得をもって、初習語必修単位に振り替えることはできない。

・「○○語」3A・3B・4A・4Bを選択必修科目として履修を許可された者は、同一言語の「○○語演習初級」A・Bは履修できない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGFRE	111～112	ﾌﾗﾝｽ語演習初級 A･B	1	各 1	1 年次
	221～222	ﾌﾗﾝｽ語演習中級 A･B	2	各 1	1 年次
MGCHN	111～112	中国語演習初級 A･B	1	各 1	1 年次
	221～222	中国語演習中級 A･B	2	各 1	1 年次
MGGER	111～112	ﾄﾞｲﾂ語演習初級 A･B	1	各 1	1 年次
	221～222	ﾄﾞｲﾂ語演習中級 A･B	2	各 1	1 年次
MGSPN	111～112	ｽﾍﾟｲﾝ語演習初級 A･B	1	各 1	1 年次
	221～222	ｽﾍﾟｲﾝ語演習中級 A･B	2	各 1	1 年次
MGKOR	111～112	韓国語演習初級 A･B	1	各 1	1 年次
	221～222	韓国語演習中級 A･B	2	各 1	1 年次

「○○語研究」・「○○語特別研究」

・英語および必修科目で選択した初習語について、次年度以降も学修を継続することを希望する学生のためのｲﾝﾃﾝｼﾌﾞｸﾗｽである。いずれも各学期2単位科目である。

・履修に際し一定の語学力が必要とされるため、「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」1A･1B、2A･2Bの計4単位を未修得の者が、以下の「英語研究」を履修することは望ましくない。また、「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」が必修ではない学生が履修を希望する場合は、初回の授業に必ず出席して履修許可を得ることが必要である。

・必修科目で選択した「初習語」1A･1B、2A･2Bの計4単位を未修得の者が、以下の「○○語研究」を履修することは望ましくない。

・これらの科目の単位修得をもって、初習語必修単位に振り替えることはできない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGENG	211～216	英語研究 1A･1B･2A･2B･3A･3B	2	各 2	2 年次
MGFRE	211～214	ﾌﾗﾝｽ語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	3 年次
	315～318	ﾌﾗﾝｽ語研究 3A･3B･4A･4B	3	各 2	3 年次

MGCHN	211～214	中国語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	3 年次
	315～318	中国語研究 3A･3B･4A･4B	3	各 2	3 年次
MGGER	211～214	ﾄﾞｲﾂ語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	3 年次
	315～318	ﾄﾞｲﾂ語研究 3A･3B･4A･4B	3	各 2	3 年次
MGSPN	211～214	ｽﾍﾟｲﾝ語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	3 年次
	315～318	ｽﾍﾟｲﾝ語研究 3A･3B･4A･4B	3	各 2	3 年次
MGRUS	211～214	ﾛｼｱ語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	3 年次
	315～318	ﾛｼｱ語研究 3A･3B･4A･4B	3	各 2	3 年次
MGKOR	211～214	韓国語研究 1A･1B･2A･2B	2	各 2	3 年次
	315～318	韓国語研究 3A･3B･4A･4B	3	各 2	3 年次

※　国際学科生は2年次にも英語以外の外国語（初習語）を履修するため、初習語の発展的学修を意図する「〇〇語研究」1A・1B、2A・2B、3A・3B、4A・4Bは3年次配当となる。

※　国際キャリア学科生の「〇〇語研究」1A・1B、2A・2B、3A・3Bは2年次配当とする。

「〇〇語の基礎」および西洋古典語研究

・必修および選択必修以外の言語について、基礎的な学修を希望する学生のためのｲﾝﾃﾝｼﾌﾞｸﾗｽである。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGITA	101～102	ｲﾀﾘｱ語の基礎 A･B	1	各 1	1 年次
MGARB	101～102	ｱﾗﾋﾞｱ語の基礎 A･B	1	各 1	1 年次
MGTHA	101～102	ﾀｲ語の基礎 A･B	1	各 1	1 年次
MGGRE	101～102	ｷﾞﾘｼｱ語研究 A･B	1	各 2	1 年次
MGLAT	101～102	ﾗﾃﾝ語研究 A･B	1	各 2	1 年次

手話

・手話の知識を学び、基本的な運用能力を身につける。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGSIG	101	手話 1	1	2	1 年次
	202	手話 2	2	2	1 年次

外国文化論科目

・それぞれの国の文化、社会について知識を深め、言語学習への興味を持たせるための入門的科目と、当該言語の資料にも触れながら、社会、文化についての知識を深める各論科目である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGEUC	101～106	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化入門 1･2･3･4･5･6	1	各 2	1 年次
	111～116	ﾖｰﾛｯﾊﾟ言語圏の文化各論 1･2･3･4･5･6	1	各 2	1 年次
MGASC	101～104	ｱｼﾞｱ言語圏の文化入門 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
	111～114	ｱｼﾞｱ言語圏の文化各論 1･2･3･4	1	各 2	1 年次

留学生関連科目

・以下は留学生のための科目であり、一般学生は履修できない。

・留学生の履修については、別途ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ等の説明を参照し、その指導に従うこと。

・「日本語研究」3A・3Bは、2年次生でも白金校舎での履修が可能である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGJPN	211～216	日本語研究 1A･1B･2A･2B･3A･3B	2	各 2	2 年次
	121～124	集中日本語 1A･1B･2A･2B	1	各 4	1 年次
	225～228	集中日本語 3A･3B･4A･4B	2	各 4	1 年次
	329～330	集中日本語 5A･5B	3	各 4	1 年次
	131～132	実践日本語初級 A･B	1	各 2	1 年次
	233～234	実践日本語中級 SA･SB	2	各 1	1 年次
	235～236	実践日本語中級 WA･WB	2	各 1	1 年次
	237～238	実践日本語上級 SA･SB	2	各 1	1 年次
	239～240	実践日本語上級 WA･WB	2	各 1	1 年次

2. ［人文科学系科目群］

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCHR	201～204	聖書の世界 1･2･3･4	2	各 2	2 年次
	211～214	ｷﾘｽﾄ教の思想と文化 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
	221～224	宗教史 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
	231～234	現代社会とｷﾘｽﾄ教 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
MGPHI	101～102	哲学史 1･2	1	各 2	1 年次
	201～202	哲学各論 1･2	2	各 2	1 年次
	211～212	科学思想 1･2	2	各 2	1 年次
MGETH	101～102	倫理学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	201～204	倫理学各論 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
MGLOG	101～102	論理学概論 1･2	1	各 2	1 年次
	201～202	伝統論理学 1･2	2	各 2	1 年次
	211～212	現代論理学 1･2	2	各 2	1 年次
MGLIN	101～104	言語科学の基礎 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
MGPSY	101～102	心理学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	201～204	心理学各論 1･2･3･4	2	各 2	2 年次
MGEDU	101～102	教育学の基礎 1･2	1	各 2	1 年次
MGART	101～102	芸術学の基礎 1･2	1	各 2	1 年次
	201～206	芸術学各論 1･2･3･4･5･6	2	各 2	1 年次
MGJPL	101～102	日本文学概論 1･2	1	各 2	1 年次
	201～204	日本文学講読 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
MGJPS	101～104	日本文化論入門 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
	201～202	日本文化特論 1･2	2	各 2	1 年次

※ 3 年次以上で「哲学（専）」1・2 を履修するためには、「MGPHI」（哲学）、「MGETH」（倫理学）、「MGLOG」（論理学）の中から、ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞのｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄが同一の 2 科目（計 4 単位）を修得済みでなければならない。

※ 「心理学各論」1～4 を履修するためには、「心理学入門」1・2 の単位修得が望ましい。

3. ［社会科学系科目群］

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGLAW	101～102	法学(日本国憲法を含む) 1･2	1	各 2	1 年次
MGPOS	101～102	政治学 1･2	1	各 2	1 年次
MGSOC	101～102	社会学理論の基礎 1･2	1	各 2	1 年次
	111～112	文化とﾒﾃﾞｨｱの社会学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	121～122	生命とｱｲﾃﾞﾝﾃｨﾃｨの社会学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	131～132	環境とｺﾐｭﾆﾃｨの社会学入門 1･2	1	各 2	1 年次
MGSWS	101～102	社会福祉学 1･2	1	各 2	1 年次
MGECN	101～102	経済学 1･2	1	各 2	1 年次
MGSTA	101～104	統計学 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
MGHIS	201～206	歴史学 1･2･3･4･5･6	2	各 2	1 年次
	211～212	歴史学の世界 1･2	2	各 2	1 年次
MGGEO	101～102	人文地理学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	201～206	人文地理学 1･2･3･4･5･6	2	各 2	1 年次
MGANT	101～102	文化人類学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	201～202	文化人類学各論 1･2	2	各 2	1 年次
MGSOS	101～104	社会科学概論 1･2･3･4	1	各 2	1 年次

4. ［自然科学系科目群］

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGMAT	101～102	数学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	111～114	数学 1･2･3･4	1	各 2	1 年次
	211～212	数学特論 1･2	2	各 2	1 年次
MGPHY	101～103	物理学入門 1･2･3	1	各 2	1 年次
	201～203	現代の物理学 1･2･3	2	各 2	1 年次
	211	物理学特論	2	2	1 年次
	121～122	物理学方法論 A･B	1	各 2	1 年次
MGCHE	101～102	化学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	201～204	現代の化学 1･2･3･4	2	各 2	1 年次
	121～122	化学方法論 A･B	1	各 2	1 年次
MGBIO	101～102	生物学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	201～205	現代の生物学 1･2･3･4･5	2	各 2	1 年次
	211	生物学特論	2	2	1 年次
	121～122	生物学方法論 A･B	1	各 2	1 年次
MGLIS	101～102	生命科学入門 1･2	1	各 2	1 年次
	201～203	生命科学各論 1･2･3	2	各 2	1 年次
	211	生命科学特論	2	2	1 年次
	121～122	生命科学方法論 A･B	1	各 2	1 年次

5. ［情報処理系科目群］

・以下は「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ」1および2の発展的学修科目である。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCOM	201～204	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ研究 1A・1B・2A・2B	2	各 2	1 年次
	211～214	情報科学 1・2・3・4	2	各 2	1 年次

6. ［健康・ｽﾎﾟｰﾂ科学系科目群］

・履修に際しては、ｼﾗﾊﾞｽ、『明治学院共通科目　履修の手引き』を参照すること。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGHSS	101～102	健康科学概論 1・2	1	各 2	1 年次
	111～112	ｽﾎﾟｰﾂ科学概論 1・2	1	各 2	1 年次
	121～122	ｽﾎﾟｰﾂ社会学概論 1・2	1	各 2	1 年次
	131～134	ｽﾎﾟｰﾂ方法学 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
	201～202	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ科学理論・実習 1・2	2	各 2	1 年次
	211～212	ﾊﾞｲｵﾒｶﾆｸｽ理論・実習 1・2	2	各 2	1 年次
	141・143・145	ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究 1A・2A・3A	1	各 2	1 年次
	242・244・246	ｼｰｽﾞﾝｽﾎﾟｰﾂ研究 1B・2B・3B	2	各 2	1 年次

7. ［総合教育系科目群］

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGIND	101～106	現代世界と人間 1・2・3・4・5・6	1	各 2	1 年次
	111～112	現代社会と教養 1・2	1	各 2	1 年次
	121～122	多文化共生入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～204	多文化共生各論 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	131～132	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ入門 1・2	1	各 2	1 年次
	211～214	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｼﾁｽﾞﾝｼｯﾌﾟ各論 1・2・3・4	2	各 2	1 年次
	141～143	現代平和研究 1・2・3	1	各 2	1 年次
	221～224	ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ 1・2・3・4（注 1）	2	各 2	1 年次
MGMGS	101	明治学院研究 1	1	2	1 年次
	202～203	明治学院研究 2・3	2	各 2	1 年次
MGENV	101～104	環境学各論 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MGSUS	101～104	ｻｽﾃｲﾅﾋﾞﾘﾃｨｰ学 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
MGVOL	101～104	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ学入門 1・2・3・4	1	各 2	1 年次
	111～112	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動入門 1・2	1	各 2	1 年次
	201～202	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会と市民活動 1・2	2	各 2	1 年次
	121	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動論（国内）1A	1	2	1 年次
	122	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動論（海外）2A	1	2	1 年次
	223	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動論（国内）1B	2	2	1 年次
	224	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動論（海外）2B	2	2	2 年次
	231	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動実習（国内）	2	2	1 年次
	232	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動実習（海外）	2	2	2 年次

MGVOL	301	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動研究(国内)	3	2	2年次
	302	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ・市民活動研究(海外)	3	2	2年次
MGACW	101	ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞの基礎 (注2)	1	2	1年次
	201	ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習1(注2)	2	2	1年次
MGLCD	101	ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ1	1	2	1年次
	202	ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ2	2	2	2年次
	203～204	ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ3・4	2	各2	3年次
	111	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ1	1	2	2年次
	212	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ2	2	2	2年次
MGSEM	301～302	ｱｼﾞｱ･日本研究A・B	3	各2	3年次
	311～312	ﾖｰﾛｯﾊﾟ文化圏研究A・B	3	各2	3年次
	321～322	現代科学研究A・B	3	各2	3年次
	331～332	現代社会研究A・B	3	各2	3年次
MGPIO	101	ｵﾙｶﾞﾝ実習1(注3)	1	2	2年次
	202	ｵﾙｶﾞﾝ実習2(注3)	2	2	2年次
MGINT	201～206	Japanese Arts and Culture 1・2・3・4・5・6	2	各2	1年次
	211～216	Japanese History 1・2・3・4・5・6	2	各2	1年次
	221～226	Japanese Society 1・2・3・4・5・6	2	各2	1年次
	231～234	Multilingualism and Multiculturalism 1・2・3・4	2	各2	1年次
	241～244	Current Issues 1・2・3・4	2	各2	1年次
MGCCS	111～112	異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究A・B(注4)	1	各2	1年次

注1:「ｽﾀﾃﾞｨｰﾂｱｰ」1･2･3･4は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。
注2: 「ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞの基礎」と「ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習1」は同学期に履修することができない。また、「ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習1」の単位を修得後に「ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞの基礎」を履修することはできない。
注3:「ｵﾙｶﾞﾝ実習」1･2は実習体験型の科目であり、その実施時期や授業形態について特別な条件が付されている。
注4:この科目は、「日本の社会と文化」1A・1B・2A・2B・3A・3Bにおいて、留学生の授業に一般学生が参加するために設けられた科目である。この科目の履修資格と履修上の要件については、ｼﾗﾊﾞｽを参照すること。

留学生関連科目

・以下は留学生のための科目であり、一般学生は履修できない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGCCS	101～106	日本の社会と文化 1A・1B・2A・2B・3A・3B	1	各2	1年次
MGACW	202	ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ演習2(留学生専用)	2	2	1年次

8. ［特別学科科目］

・学科によっては、(注5)に記載された資格の要件単位となる。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
SGBAS	101～102	社会学概論A・B		各2	1年次

注5:中学(社会)、高校(公民)教育職員免許状取得のために履修する場合は、「教職課程履修要項(諸資格)」も参照すること。

［単位認定用科目］

以下の諸科目は、授業として行われる科目ではなく、留学やｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等が実施された後に、本学の単位として認定するための科目である。予め履修登録をすることはできないので注意すること。

1.［短期留学認定科目］

・以下は、本学と協定を結ぶ海外校への短期留学について、本学が単位を認定するための科目である。短期留学を行った者以外が単位を修得することはできない。
・留学先によって別途配当年次が定められている場合があるので、必ず「留学ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ」を確認すること。
・これらの科目は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGRES	101	ﾖｰﾛｯﾊﾟ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	102	ｲｷﾞﾘｽ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	103	ｽﾍﾟｲﾝ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	104	ﾄﾞｲﾂ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	105	ﾌﾗﾝｽ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	106	ｱﾒﾘｶ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	107	ｶﾅﾀﾞ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	108	韓国研究（短期留学）	1	4	1 年次
	109	中国研究（短期留学）	1	4	1 年次
	110	ｵｾｱﾆｱ研究（短期留学）	1	4	1 年次
	111	東南ｱｼﾞｱ研究（短期留学）	1	4	1 年次

2.［中期留学認定科目］

・以下は、本学と協定を結ぶ海外校への中期留学について、本学が単位を認定するための科目である。中期留学を行った者以外が単位を修得することはできない。
・留学先によって別途配当年次が定められている場合があるので、必ず「留学ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ」を確認すること。
・これらの科目は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGRES	121～126	ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）基礎 1～6	1	各 1	1 年次
	221～226	ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）応用 1～6	2	各 2	1 年次
	321～326	ｱﾒﾘｶ研究（中期留学）発展 1～6	3	各 3	1 年次

3．［海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ関連科目］

・以下は、学生が参加した各種の海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟについて、本学が単位を認定するための科目である。海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ参加の例としては、「国連ﾕｰｽﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ」などがあるが、詳細は国際ｾﾝﾀｰ等の発信する掲示を参照すること。
・実際に海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟに参加することが決まった段階で教務課窓口に相談し、単位認定を希望する者は、科目責任者の許可を得ること。
・すべての海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟが単位認定の対象となるわけではない点に留意すること。
・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先によって別途配当年次が決められている場合があるので、必ず出願時に確認すること。
・これらの科目は各学科で定める年間履修単位数の上限には含まれない。
・これらの科目はP・F評価となるため、GPAには含まれない。

ナンバリング		科目名	レベル	単位数	配当年次
MGITS	101～102	海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ課題研究 A・B	1	各 2	1 年次
	201～202	海外ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ A・B	2	各 4	1 年次

国際学科

《国　際　学　部》

人材養成上の目的・教育目標

国際学部は、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、国際学部の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

国際学部の教育目標は、現代のグローバル社会の諸相を理解し、世界平和と人々の共生に貢献する人間を育成することである。そのために、以下の教育目標を定める。

１　私たちが生活している日本社会の理解を深めること。
２　グローバル社会における多様性の理解と平和の実現を目指すこと。
３　地域社会の課題に政治・経済・文化の複合的な側面からアプローチすること。
４　社会の課題を発見して解決に取り組む意思の醸成と発信力を養うこと。

こうして得た知見と能力を元に、グローバル化によって重層化する社会の諸問題に、異なる背景をもった人々とも協働できる人間の育成を目的とする。

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

国際学部は、明治学院大学の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、国際学部の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに所定の単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

１　明治学院共通科目および学科専門科目の多面的な履修を通して、基礎的な学力を養うとともに、日本社会および国境を越えて存在する政治･経済･文化の諸課題を理解し、また地域社会固有の問題に取り組む総合的な力を身につけている。
２　グローバル化する社会において生じている複合的な問題を把握・分析し、その解決策を探る能力を身につけている。
３　異なるバックグラウンドをもつ世界の人々と英語その他の言語によってコミュニケーションを行い、共同で作業を行う能力を身につけている。
４　大学の外の社会との双方向的な関係を結び、広範な視野と豊かな人間性を身につけている。

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学部は、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、国際学部の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

１　政治・経済・文化の諸領域に関わる専門科目を設置する。
２　日本研究および地域研究（アジア・アフリカ・中南米・ヨーロッパ）を設置する。同時に平和研究を設ける。
３　４年間にわたり演習科目を中心としたきめ細かな少人数教育を実施する。
４　グローバル化する世界においてコミュニケーションを行う英語およびその他の言語運用能力を養う科目を設置する。
５　国外の大学や機関、教室外の社会との接点を設けた学習をも重視する。
６　学生の教育評価では、学業成績については各学科の定める学位プログラムの卒業要件を満たし、各科目のシラバスの定める成績評価と、学習成果の集成である卒業研究の成果把握によって行う。

■国 際 学 科

人材養成上の目的・教育目標

国際学部国際学科は、国際学部の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、国際学科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

国際学科は、グローバル社会の諸問題に対する、政治・経済・文化の各分野からの総合的な理解能力を涵養するとともに、多様な国際的実地経験を通して社会的知性をはぐくみ、文化の多様性に対する認識および、幅広い視野と異文化間コミュニケーション能力を持ち、国際的に活動する人間力を養成することを目標とする。

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

国際学部国際学科は、国際学部の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、国際学科の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに 134 単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

１　明治学院共通科目および学科専門科目の多面的な履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、国際的な政治･経済･社会や個別の文化に関する総合的な理解力を身につけている。

２　専門科目を横断的に学習することを通じて、グローバル社会の複合的な問題を把握し、分析する力を身につけている。

３　専門外国語や英語による授業を通じて、国際社会で活躍するための語学力と国際コミュニケーション能力を持ち、異文化の人々と協力して活動する力を身につけている。

４　演習科目、地域研究科目、校外実習科目、インターンシップ科目などで、国内外における大学外での人々との活動を通して、国際的視野と豊かな人間性を養い、主体的に行動する力や社会に対する責任感を身につけている。

５　グローバル社会の現実を理解し分析することによって、課題を自ら発見し、国際的視野をもって国内外の人々と協力し、主体的に解決策を探る力を身につけている。

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学部国際学科は、国際学部の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、国際学科の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

１　多様な専門分野と地域研究の科目を政治、経済、文化の３つの視角から設置して、学習の指針となる平和研究、環境問題、多文化社会、比較文化、国際・比較政治、比較法政の専攻制度を設置する。

２　４年間にわたり少人数による演習科目(基礎演習、演習 1、2A、2B、3A、3B、特別演習)を設置することで、きめ細かな教育を実施する。

３　段階的・体系的な教育を実施する。

・1 年次：学習スキルと人文社会科学の基本的知識の習得

・2～3 年次：専門領域の土台となる学習

・3～4 年次：専門領域の発展学習と卒業研究

４　１～3 年次の専門外国語、英語による専門科目、国際学特講を設置して、 英語・外国語能力を育成して、外部検定試験と国際基準（CEFR）を基準にしたポートフォリオ・アセスメントで学習成果を評価する。

５　留学や二重学位制度を利用した国外の大学における学習、 国内外のインターンシップや校外実習等の教室外における学習を重視する。

その他、所定単位を修得することによって多文化共生ファシリテーター／サポーターの認証資格取得も可能である。

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				国際学科1	国際学科1	国際学科3	国際学科2	国際学科4	国際学科5	国際学科5
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				国際社会や文化に関する総合的理解力	基礎的な学習能力	語学力と国際コミュニケーション能力	グローバル社会の問題を分析する力	国際的視野、豊かな人間性、社会的責任	グローバル社会の課題を自ら発見する力	グローバル社会の問題の解決策を探る力
授業科目名	必修・選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力＝○						
学科基礎科目										
KSGEN111基礎演習A	必修	2	1	○	◎		○			
KSGEN112基礎演習B	選択	2	1	○	◎		○			
KSGEN214リサーチ・リテラシー	選択必修	2	2		◎		○			
KSGEN215メディア・リテラシー	選択必修	2	2		◎		○			
KSGEN216ネットワーク・リテラシー	選択必修	2	2		◎		○			
学科講義科目（１）										
KSGEN103社会科学入門	選択	2	1	◎	○					
KSGEN107現代史	選択	2	1	◎	○					
KSGEN108文化研究の基礎	選択	2	1	◎	○					
KSGEN109経済研究の基礎	選択	2	1	◎	○					
KSGEN110平和研究の基礎	選択	2	1	◎	○					
専門外国語（１）										
KSEIS109専門外国語１A	必修	2	1			◎		○		
KSEIS110専門外国語１B	必修	2	1			◎		○		
KSEIS107専門外国語２	必修	4	1			◎		○		
KSEIS108専門外国語３	必修	4	1			◎		○		
専門外国語（２）										
KSEIS211専門外国語４	必修	4	2			◎		○		
KSEIS212専門外国語５	必修	4	2			◎		○		
専門外国語（３）										
KSEIS311専門外国語６A	必修	2	3			◎		○		
KSEIS312専門外国語６B	必修	2	3			◎		○		
学科講義科目（２）										
KSCS0201言語表現法	選択	4	2	○			◎		○	
KSCS0204現代文明論	選択	4	2	○			◎		○	
KSCS0211比較文化論	選択	4	2	○			◎		○	
KSCS0217地誌概説１	選択	2	2	○			◎		○	
KSCS0218地誌概説２	選択	2	2	○			◎		○	
KSCS0219文化人類学	選択	4	2	○			◎		○	
KSCS0220ヨーロッパ芸術論	選択	4	2	○			◎		○	
KSCS0221文化交渉史	選択	4	2	○			◎		○	
KSCS0222異文化コミュニケーション	選択	4	2	○			◎		○	
KSCS0224英語学概論	選択	4	2	○			◎		○	
KSEC0204南北問題	選択	4	2	○			◎		○	
KSEC0211国際経済論	選択	4	2	○			◎		○	
KSEC0212日本経済論	選択	4	2	○			◎		○	
KSEC0213社会調査法	選択	2	2	○			◎		○	
KSEC0215環境学原論	選択	2	2	○			◎		○	
KSEC0216ミクロ経済学	選択	2	2	○			◎		○	
KSEC0217マクロ経済学	選択	2	2	○			◎		○	
KSPOL206国際法	選択	4	2	○			◎		○	
KSPOL208社会学原論	選択	4	2	○			◎		○	
KSPOL209法学原論	選択	4	2	○			◎		○	
KSPOL210比較政治学	選択	4	2	○			◎		○	
KSPOL212国際関係論	選択	4	2	○			◎		○	
KSPOL213日本政治論	選択	4	2	○			◎		○	
KSPOL214平和学１	選択	4	2	○			◎		○	
KSGEN261国際学特講1	選択	2	2	○			◎		○	
KCGEN102　Current Affairs A	選択	2	2	○		○	◎		○	
KCGEN103　Current Affairs B	選択	2	2	○		○	◎		○	
KCCUL101　Global History A	選択	2	2	○		○	◎		○	
KCCUL102　Global History B	選択	2	2	○		○	◎		○	
KCCUL106　Transcultural Studies	選択	2	2	○		○	◎		○	
KCSOC103　Community Development (Service Learning)	選択	2	2	○		○	◎		○	
KCECO103　Regional Economic Development	選択	2	2	○		○	◎		○	
KCECO104　Labor Market in the Global Economy	選択	2	2	○		○	◎		○	
学科講義科目（３）										
KSCS0305現代文学論	選択	4	3				○		◎	○
KSCS0307情報社会論	選択	4	3				○		◎	○

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				国際学科1	国際学科1	国際学科3	国際学科2	国際学科4	国際学科5	国際学科5
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				国際社会や文化に関する総合的理解力	基礎的な学習能力	語学力と国際コミュニケーション能力	グローバル社会の問題を分析する力	国際的視野、豊かな人間性、社会的責任	グローバル社会の課題を自ら発見する力	グローバル社会の問題の解決策を探る力
授業科目名	必修・選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
KSCS0312日本文化論	選択	2	3				○		◎	○
KSCS0316仏教文化論	選択	4	3				○		◎	○
KSCS0317キリスト教文化論	選択	4	3				○		◎	○
KSCS0318イスラム教文化論	選択	4	3				○		◎	○
KSCS0322日本語教授法	選択	4	3				○		◎	○
KSCS0323英語教育学	選択	4	3				○		◎	○
KSCS0326民俗学	選択	2	3				○		◎	○
KSCS0327応用言語学	選択	4	3				○		◎	○
KSECO305比較経済史	選択	4	3				○		◎	○
KSECO306社会開発論	選択	4	3				○		◎	○
KSECO308国際金融論	選択	4	3				○		◎	○
KSECO310環境経済論	選択	4	3				○		◎	○
KSECO312地域経済論	選択	2	3				○		◎	○
KSECO314農業経済・食糧論	選択	4	3				○		◎	○
KSECO316データ分析概論	選択	2	3				○		◎	○
KSECO317エネルギー資源論	選択	4	3	○			◎		○	
KSPOL307国際関係法	選択	4	3				○		◎	○
KSPOL309比較政策論	選択	4	3				○		◎	○
KSPOL312平和学２	選択	4	3				○		◎	○
KSPOL316政治社会学	選択	4	3				○		◎	○
KSPOL317平和・紛争研究	選択	4	3				○		◎	○
KSPOL318ジェンダー論	選択	4	3				○		◎	○
KSPOL319国際政治学	選択	4	3				○		◎	○
KSPOL320国際政治史	選択	4	3				○		◎	○
KSGEN364国際学特講2	選択	2	3				○		◎	○
KCGEN202 Contemporary Global Issues A	選択	2	3			○	○		◎	○
KCGEN203 Contemporary Global Issues B	選択	2	3			○	○		◎	○
KCGEN206 Advanced Research Analysis	選択	2	3			○	○		◎	○
KCCUL201 Buddhist Culture	選択	4	3			○	○		◎	○
KCCUL202 Islamic Culture	選択	2	3			○	○		◎	○
KCCUL203 Japanese Literature	選択	4	3			○	○		◎	○
KCCUL204 Inter-Cultural History	選択	2	3			○	○		◎	○
KCCUL205 Modern East Asian History	選択	4	3			○	○		◎	○
KCCUL206 Visual Media Methods	選択	2	3			○	○		◎	○
KCCUL207 Translation and Interpretation A	選択	2	3			○	○		◎	○
KCCUL208 Translation and Interpretation B	選択	2	3			○	○		◎	○
KCCUL209 Japanese Popular Culture A	選択	2	3			○	○		◎	○
KCCUL210 Japanese Popular Culture B	選択	2	3			○	○		◎	○
KCCUL211 Contemporary Global History	選択	2	3			○	○		◎	○
KCSOC201 International Journalism	選択	2	3			○	○		◎	○
KCSOC202 Gender and Society	選択	4	3			○	○		◎	○
KCSOC203 Japanese Minority Groups	選択	4	3			○	○		◎	○
KCSOC204 Social Change and Planning (Service Learning)	選択	2	3			○	○		◎	○
KCSOC205 Contemporary Japanese Society	選択	4	3			○	○		◎	○
KCSOC206 Gender and Body	選択	2	3			○	○		◎	○
KCECO201 International Finance	選択	2	3			○	○		◎	○
KCECO202 International Political Economy	選択	2	3			○	○		◎	○
KCECO203 Contemporary Japanese Economy A	選択	2	3			○	○		◎	○
KCECO204 Contemporary Japanese Economy B	選択	2	3			○	○		◎	○
KCECO205 Chinese Economy	選択	2	3			○	○		◎	○
KCECO206 Regional Economic Integration	選択	4	3			○	○		◎	○
KCECO207 Behavioral Economics and Public Policy	選択	2	3			○	○		◎	○
KCECO208 Economy of South East Asia A	選択	2	3			○	○		◎	○
KCECO209 Special Topics in Economics	選択	2	3			○	○		◎	○
KCECO210 Labor Economics and Public Policy A	選択	2	3			○	○		◎	○
KCECO211 Labor Economics and Public Policy B	選択	2	3			○	○		◎	○
KCPOL201 International Disputes Settlement Procedures	選択	2	3			○	○		◎	○
KCPOL202 Peace Studies	選択	2	3			○	○		◎	○
KCPOL203 Legal Issues in International Relations	選択	2	3			○	○		◎	○
KCPOL204 North American Politics and Society	選択	2	3			○	○		◎	○
KCPOL205 European Politics and Society	選択	2	3			○	○		◎	○

学士力				知識・理解		汎用的技能		態度・志向性	統合的な学習経験と創造的思考力	
対応するディプロマ・ポリシー				国際学科1	国際学科1	国際学科3	国際学科2	国際学科4	国際学科5	国際学科5
ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力				国際社会や文化に関する総合的理解力	基礎的な学習能力	語学力と国際コミュニケーション能力	グローバル社会の問題を分析する力	国際的視野、豊かな人間性、社会的責任	グローバル社会の課題を自ら発見する力	グローバル社会の問題の解決策を探る力
授業科目名	必修・選択	単位	年次	科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○						
KCPOL206 Politics and Society in Japan	選択	2	3			○	○		◎	○
KCPOL207 East Asian Politics and Society	選択	2	3			○	○		◎	○
KCPOL208 Advanced Peace Studies	選択	2	3			○	○		◎	○
地域研究系科目										
KSREG302東南アジア地域研究	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG305オセアニア地域研究	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG307ヨーロッパ地域研究	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG308中・南米地域研究	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG309アフリカ地域研究	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG310東北アジア地域研究(文化)	選択	2	3	○			○		◎	○
KSREG311東北アジア地域研究(政治)	選択	2	3	○			○		◎	○
KSREG312東北アジア地域研究(経済)	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG315南アジア地域研究A	選択	2	3	○			○		◎	○
KSREG316南アジア地域研究B	選択	2	3	○			○		◎	○
KSREG317アメリカの文化と社会	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG318ヨーロッパ経済論	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG319イギリスの文化と社会	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG320アメリカ文学概論	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG321イギリス文学概論	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG322アジア地域秩序	選択	4	3	○			○		◎	○
KSREG323西アジア地域研究	選択	4	3	○			○		◎	○
演習・卒業論文・実習										
KSGEN101インターンシップ（講義）	選択	2	1			○		◎	○	
KSGEN201演習1	選択必修	2	2				○		◎	
KSGEN303演習2A	必修	2	3				○		◎	
KSGEN304演習2B	必修	2	3				○		◎	
KSGEN401演習3A	選択必修	2	4						○	◎
KSGEN402演習3B	選択必修	2	4						○	◎
KSGEN404卒業論文	選択必修	2	4						○	◎
KSGEN406特別演習	選択必修	2	4						○	◎
KSGEN407特別演習課題	選択必修	1	4						○	◎
KSGEN202校外実習A	選択	4	2			○		◎	○	
KSGEN203校外実習B	選択	2	2			○		◎	○	
KSGEN208独自課題研究	選択	2	2						○	◎
KSGEN210 Field Study Seminar	選択	2	2					◎	○	
KSGEN211 Field Study A	選択	4	2			○		◎	○	
KSGEN212 Field Study B	選択	2	2			○		◎	○	
KSGEN217特別演習1	選択必修	2	2				○		◎	
KSGEN218インターンシップ(実習) A	選択	4	2			○		◎	○	
KSGEN219インターンシップ(実習) B	選択	2	2			○		◎	○	
KSGEN220インターンシップ(実習) C	選択	1	2			○		◎	○	
KSGEN221独自課題実地研究A	選択	2	2						○	◎
KSGEN222独自課題実地研究B	選択	1	2						○	◎
教職・その他関連部門										
TCKN0901日本史A	選択	2	2	○	◎					
TCKN0902日本史B	選択	2	2	○	◎					
TCKN0911世界史A	選択	2	2	○	◎					
TCKN0912世界史B	選択	2	2	○	◎					
TCKN0931自然地理学1	選択	2	2	○	◎					
TCKN0932自然地理学2	選択	2	2	○	◎					
TCKN0921地理学概論1	選択	2	2	○	◎					
TCKN0922地理学概論2	選択	2	2	○	◎					
LXCRS301哲学(専)1	選択	2	3	○	◎					
LXCRS302哲学(専)2	選択	2	3	○	◎					
TCKN0951宗教学概論1	選択	2	3	○	◎					
TCKN0952宗教学概論2	選択	2	3	○	◎					
J-POL351政治史1A	選択	2	3	○	◎					
J-POL352政治史1B	選択	2	3	○	◎					
TCPRA901教育実習	選択	3または5	4	○	◎					

※卒業要件外科目は、学科のディプロマ・ポリシーに基づく「身につく能力」との関連がないため記載していません。

Ⅰ．　専攻制度について

国際学科には学生の学習目的に応じて以下の６つの専攻を２年次から設置している。

・平和研究
・環境問題
・多文化社会
・比較文化
・国際・比較経済
・比較法政

各専攻の科目の詳細については、オリエンテーションにおいて説明を行う。

上記どの専攻を選択しても、卒業に必要な単位の修得方法は変わらない。

Ⅱ．　専攻への所属・変更などについて

1.　すべての学生は２年次秋学期から、６つの専攻のいずれかに所属すること。そのため、２年次の７月中の定められた期間に、教務課へ専攻選択を申告すること。
2.　専攻の変更を希望する者についてはこれを認める。

Ⅲ．　卒業までに必要な単位数と科目の内訳

1.　国際学科を卒業するために修得しなければならない単位数ならびに科目の内訳は、後述の〔表－１〕卒業に必要な単位数および〔表－２〕卒業までに必要な単位数に示すとおりである。
2.　ここに示した単位数は、卒業するために修得しなければならない最低の基準であり、この範囲を超えて単位修得することを制限するものではない。
3.　「卒業に必要な単位数」は、略して「卒業単位」と呼ぶことがある。

〔表－１〕卒業に必要な単位数

部　　門	最低限修得するべき単位数	内　　訳 科　目　区　分	単 位 数
明治学院共通科目	26単位	キリスト教科目	4単位
		外国語科目（注）	8単位
		情報処理科目	2単位
		選択科目	12単位
明治学院共通科目 または 学 科 科 目	22単位	フリーゾーン｛明治学院共通科目の選択科目 または 学科科目の選択科目	22単位
学 科 科 目	86単位	必　修　科　目	30単位
		選　択　科　目	56単位
合　　計	134単位	卒業するためには、単位数だけではなく科目の内訳も満たさなければならない。内訳の詳細は〔表－２〕を参照のこと。	

（注）外国人留学生ならびに学科が特に認めた学生は、外国語科目の履修に際して前述の「明治学院共通科目履修の方法」の［外国語科目］３．にある指示に従うこと。

〔表－２〕卒業までに必要な単位数　― 科目の内訳の詳細 ―

部門	科目区分		単位		備考
明治学院共通科目	必修	キリスト教科目	4	A	キリスト教の基礎A・B
		外国語科目	8	B (注1) (注2)	仏・中・独・西・露・韓の各言語から選択し、同一言語について8単位修得すること。
		情報処理科目 「ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾘﾃﾗｼｰ1･2」のいずれか1科目	2	C (注3)	Cの超過分はDに加算される。
	選択	選択科目	12	D	Dの超過分はEに加算される。
フリーゾーン	明治学院共通科目	選択科目	22	E	Ｅは8単位までの修得とする。超過分は卒業要件単位としては加算されない。
	学科科目	必修、情報3科目、専門演習、卒業論文等、校外実習等、基礎、基幹、発展、地域研究科目、教育実習		F	
	学科自由選択科目	Field Study Seminar、独自課題研究、教職・その他資格関連科目、横浜市内大学単位互換、共愛学園前橋国際大学単位互換		G (注4)	Gは10単位までの修得とする。超過分は卒業要件単位としては加算されない。
学科科目（必修）	必修	専門外国語(1)	12	H	専門外国語1A・1B・2・3
		専門外国語(2)	8		専門外国語4・5
		専門外国語(3)	4		専門外国語6A・6B
		基礎演習A	2	I	
		演習2A・2B	4	J	
学科科目（選択）	情報3科目	ﾘｻｰﾁ･ﾘﾃﾗｼｰ、ﾒﾃﾞｨｱ･ﾘﾃﾗｼｰ、ﾈｯﾄﾜｰｸ･ﾘﾃﾗｼｰ	2	K	左記3科目のうち、1科目選択必修。Kの超過分はFに加算される。
	専門演習(1)	演習1または特別演習1	2	L (注5)	演習1または特別演習1が選択必修。
	専門演習(2)	演習3A・3Bまたは特別演習	4	M	演習3A・3Bまたは特別演習2つ（春・秋1つずつ）が選択必修。
	卒業論文等	卒業論文または特別演習課題	2	N	「卒業論文」(2単位)または「特別演習課題」(1単位)2つが選択必修。
	校外実習等	校外実習A、 B、Field Study A、 B、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（講義）、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ（実習）A、 B、C、独自課題実地研究A、B、留学認定単位	6	O	6単位のうち、一部または全部をQ（講義科目（3）、地域研究）とR（地域研究）の科目で代替できる。ただし代替単位のうち地域研究科目は4単位までとする。Oの超過分はFに加算される。
	基礎科目	講義科目(1)、基礎演習B	22	P	Pの超過分はFに加算される。
	基幹科目	講義科目(2)			
	発展科目	講義科目(3)、地域研究	14	Q	Qの超過分はFに加算される。
	地域研究科目	地域研究	4	R	Rの超過分はQに加算される。
		合計	134		

（注1）　外国人留学生ならびに学科が特に認めた学生は、外国語科目の履修に際して前述の「明治学院共通科目履修の方法」の［外国語科目］３．にある指示に従うこと。

（注2）　英語以外の言語について、大学入学以前に既に学習している言語を選択する際には、必ず教務課窓口に相談すること。

（注3）　入学時に中級以上の技能を有する学生については、「コンピュータリテラシー研究 1A・1B、2A・2B」から 1 科目 2 単位を修得することにより、必修の 2 単位に振り替えることができる。

（注4）　教職・その他資格関連科目のうち、教育実習は「フリーゾーン(学科科目)」の単位とすることができる。

（注5）　2015 年度生以降で、早期留学（2 年秋からの留学）の学生については、演習 1 に代えて、特別演習 1 を 2 年次春学期に履修すること。詳細は教務課で相談すること。

Ⅳ.　年間履修単位数上限について

①１年次44単位（その他「教職に関する科目」「大学が独自に設定する科目」として16単位まで履修できる。）
②２年次44単位（その他「教職に関する科目」「大学が独自に設定する科目」として16単位まで履修できる。）
③３年次44単位（その他「教職に関する科目」「大学が独自に設定する科目」として16単位まで履修できる。）
④４年次44単位（その他「教職に関する科目」「大学が独自に設定する科目」として16単位まで履修できる。）

（注）「教職に関する科目」「大学が独自に設定する科目」については、『教職課程履修要項（諸資格）』を参照すること。

Ⅴ.　履修中止除外科目について

学修の手引き「履修」の「７．履修中止制度」において、履修中止ができない科目(a)～(g)のうち、(g)各学科において定めている履修中止の申請ができない科目は以下のとおりである。

科　目　名
KSGEN111 基礎演習Ａ
KSGEN214 リサーチ・リテラシー
KSGEN215 メディア・リテラシー
KSGEN216 ネットワーク・リテラシー
KSGEN107 現代史
KSGEN108 文化研究の基礎
KSGEN109 経済研究の基礎
KSGEN110 平和研究の基礎
KSEIS109 専門外国語 1A
KSEIS110 専門外国語 1B
KSEIS107 専門外国語 2
KSEIS108 専門外国語 3
KSEIS211 専門外国語 4
KSEIS212 専門外国語 5
KSEIS311 専門外国語 6A
KSEIS312 専門外国語 6B
KSGEN210 Field Study Seminar
KSGEN211 Field Study A
KSGEN212 Field Study B
KSGEN201 演習 1
KSGEN217 特別演習 1
KSGEN303 演習 2A
KSGEN304 演習 2B
KSGEN401 演習 3A
KSGEN402 演習 3B
KSGEN404 卒業論文
KSGEN406 特別演習
KSGEN407 特別演習課題

Ⅵ.　演習・校外実習・Field Study・インターンシップ・独自課題実地研究

演習１・特別演習１、演習２Ａ・２Ｂの履修について

１．「演習１」・「特別演習１」は選択必修科目であり、原則として国際学部の専任教員が開講する。早期留学（2年秋からの留学）の学生は留学を予定している前の学期に特別演習１を履修するとともに、出国前に演習２Ａ・２Ｂ（必修科目）の担当者を決め、履修について相談しておくこと。その他の学生は全員「演習１」を履修すること。
２．上記演習のうち、「校外実習Ａ」または「校外実習Ｂ」を併せて履修することを履修の要件とするものがある。
３．２年次の５月以降に、２年次秋学期から開講する「演習１」履修者の募集・選考を行うので、２年次生全員、および３年次生以上の「演習１」単位未修得者のうち、所属先が決まっていない者は、それに従って必要な手続きを行うこと。

演習３Ａ・３Ｂ、特別演習の履修について

４年次に「卒業論文」を執筆する場合は併せて「演習３Ａ」、「演習３Ｂ」を履修する。「特別演習課題」（論文）を提出する場合は併せて「特別演習」を春秋学期に渡って履修する。

校外実習・Field Studyの履修について

１．校外実習Ａ、校外実習Ｂの履修は、原則としてその履修を要件とする同一担当教員の演習１または演習２Ａ、演習２Ｂの履修と併せて行わなければならない。
２.上記の例外として、学生は演習以外の教員が行う校外実習の履修を認められることもある。この場合、学科主任および希望する校外実習担当教員の許可を得ること。
３．Field Studyへの参加を希望する学生は、Field Study SeminarをField Studyが実施される学期と同一の学期かその直前の学期に履修しなければならない。どちらか一方の科目だけを履修することはできない。Field Study Seminarは訪問する地域や社会に関する事前学習で、Field Studyは、滞在期間の長さによってField Study A（約２週間、４単位)、Field Study B（約１週間から10日、２単位）の２種類がある。

インターンシップの履修について

１．原則としてインターンシップ（実習）の履修を希望する学生は、インターンシップ（実習）を履修する前の学期までにインターンシップ（講義）の単位を修得済みでなければならない。インターンシップ（講義）は3年次秋学期、インターンシップ（実習）は4年次春学期までを履修可能学期とする。
２．インターンシップ（講義）とインターンシップ（実習）両方の単位を修得することで卒業単位として認められる。4年次春学期終了時点でどちらか一方の単位しか修得していない場合は卒業単位にならないので注意すること。
３．インターンシップ（実習）は、実習期間の長さによって3種類がある。
　　インターンシップ（実習）A　（160時間以上、4単位）
　　インターンシップ（実習）B　（80時間以上、2単位）
　　インターンシップ（実習）C　（40時間以上、1単位）
４．インターンシップについては、様々な形態のものがあるので、詳細は別途案内する。インターンシップ履修希望者はポートヘボンのお知らせ・掲示等を見逃さないこと。

独自課題実地研究の履修について

１．独自課題実地研究の履修希望者は学科主任あてに「研究計画」を作成し、教務課へ提出すること。
２．独自課題実地研究は、滞在期間の長さによって独自課題実地研究A（約２週間、２単位)、独自課題実地研究B（約１週間、１単位）の２種類がある。

Ⅶ.　卒業論文・特別演習課題について

１．卒業論文は原則として「演習３Ａ」、「演習３Ｂ」担当教員が指導にあたる。学生はその指示に従い、指導・助言を受けて論文を作成する。

２．完成した論文は指定の日時に提出すること。

３．卒業論文の審査の主査は指導教員が担当する。

４．論文作成上の注意

卒業論文のファイルと「中表紙」「背表紙」は大学指定のものを使用し、用紙はA4判を使用すること。

卒業論文を作成するにあたって次の条件を守ること。

①和文の場合、本文の総文字数は20,000字以上とする。

②欧文の場合、本文の総単語数は6,000単語以上とする。

（注）上記の規定と異なる形態で作成する場合は、担当教員と相談の上、承認を得て、「卒業論文提出票」の備考欄にその理由を付記し、教員の署名を受けること。

卒業論文の総文字数・総単語数を「中表紙」に記入すること。

卒業論文には論文要旨（和文の場合、1,000字程度・欧文の場合、300単語程度）とキーワード（５つ程度）をつけること。

５．「卒業論文テーマ」を６月末までに教務課に提出すること。

６．卒業論文提出票について

卒業論文の提出に際しては、併せて「卒業論文提出票」に必要事項を記入し提出しなければならない（用紙は教務課で配布する）。

７．「特別演習課題」は原則として「特別演習」担当教員が指導にあたる。学生はその指示に従い、指導・助言を受けて課題を完成する。

８．「特別演習課題」等作成上の注意

①和文の場合、本文の総字数は10,000字を目安とする。

②欧文の場合、本文の総単語数は3,000単語以上とする。

９．特別演習課題論文提出票について

課題論文の提出に際しては、併せて「課題論文提出票」に必要事項を記入し提出しなければならない（用紙は教務課で配布する）。

Ⅷ.　教職関連科目

教育職員免許状を取得するために必要とされる科目で、「教職に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、「教科及び教科の指導法に関する科目」の３区分から成る。

１．「教職に関する科目」「大学が独自に設定する科目」と「教科及び教科の指導法に関する科目」の一部の科目には教育職員免許状を取得するためのみに必要な科目であり、その単位を修得しても卒業に必要な単位としては認められないものがある。これらの科目は『教職課程履修要項（諸資格）』に掲載されており、この『国際学部履修要項』には掲載されていない。

２．「教職に関する科目」、「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち一部は国際学科の「学科科目」と重複する（「教職・その他資格関連部門」）。これらは修得した単位が卒業に必要な単位として認められると同時に免許状取得にも有効となる。「教科及び教科の指導法に関する科目」は、後述の教職・その他関連部門の項に一括されている。

なお、免許状の種類・教科により、その取得に必要な「教科及び教科の指導法に関する科目」は異なるので、教育職員免許状取得希望者は『教職課程履修要項（諸資格）』を熟読すること。

※国際学科生が教育職員免許状を取得するために必要とされる科目のうち、白金校舎で履修可能な科目は、原則的に横浜校舎で開講されていない科目に限る。詳細は、教職課程履修要項を確認すること。

Ⅸ.　９月卒業について

「学修の手引」の項、「卒業と学位」の「１. 卒業の要件と手続」において「９月卒業」が可能となるのは、次のイ）～ニ）のうち１つ以上に該当する場合である。

イ）春学期を以って終了する授業科目の単位を修得することにより、卒業に必要な単位を満たすことが可能となる場合。

ロ）春学期末に卒業論文を提出し、かつその単位を修得することによって、卒業に必要な単位を満たすことが可能となる場合。ただし、春学期末に卒業論文を提出することが認められるのは、前年度までに１回以上卒業論文を履修登録したことがある者、つまり、卒業論文を再履修している者に限られる。※4年次に留学する学生はこの限りではない。

ハ）夏季をもって終了する集中講義科目の単位を修得することにより、卒業に必要な単位を満たすことが可能となる場合。

ニ）本学によって認定された留学（認定留学）を春学期中に終了し、留学先で修得した単位の認定を受けることによって、卒業に必要な単位を満たすことが可能となる場合。

以上のいずれかに該当する者は、所定の期間（４月末頃に掲示により指示する）内に手続をとることにより、９月卒業を申請することができる。なお、ロ）の場合の卒業論文提出日については教務課に確認すること。また、ニ）については認定留学出発前に申請の手続をとっておくこと。

いずれの場合にも、希望者は必ず申請前に詳細を教務課に問い合わせること。個別の状況によっては申請できない例もあり得る。

Ⅹ.　ダブル・ディグリー制度

ダブル・ディグリー制度において、明治学院大学及び指定された他大学での一定必要単位を修得する事により、両大学の卒業要件修了を認め双方の大学の学位を取得することができる。詳細は別途案内するので、ダブル・ディグリー希望者は掲示等を見逃さないこと。

Ⅺ.　再試験について〔学修の手引きに掲載した「追試験」とは異なる〕

国際学科においては、卒業判定に際して必要な単位を満たせなかった学生に対する救済的試験（いわゆる「再試験」）に類する制度は設けていない。

各自の責任において、卒業に必要な単位の修得に遺漏のないよう、履修計画を慎重に立てること。

Ⅻ.　横浜市内大学間単位互換制度

「横浜市内大学間学術・教育交流協議会」単位互換制度のこと（P. 24の単位互換の項を参照）。

１）対象学年

2010年度生から適用するものとし、対象学年は１～４年次生。

２）履修可能科目

他大学の提供科目中、本学科「学科科目」（専門科目）に相当する科目のみを対象とする。

３）単位認定

①　年間に履修できる単位数　８単位まで　（年間履修制限単位に含む）

②　通算で履修できる単位数　８単位まで

③　卒業要件として認められる単位数　８単位

４）卒業要件上の位置づけ

他大学で修得した科目はフリーゾーンの学科自由選択科目として扱われ、卒業要件単位に組み込まれる。教職等の資格要件の科目には相当しない。

５）認定方法

「単位互換科目１、２・・・」として、（　　）内に他大学名を記載し、本学の評価記号を適用させる。

６）履修上の注意

単位互換制度の利用を希望する学生は、「横浜市内大学間学術・教育交流協議会」のホームページおよび募集要項を参照して制度の詳細を理解した上で、他大学で履修できる科目の範囲・単位数および卒業要件上の位置付け等につき、事前に教務課の窓口にて説明を受けること。

履修を希望する場合は、所定の書類を添えて教務課の窓口に受付期間内に申請し、学科主任の許可を得ること。

XIII.　共愛学園前橋国際大学単位互換制度

「共愛学園前橋国際大学」単位互換制度のこと（P.24の単位互換の項を参照）。

１）対象学年

2010年度生から適用するものとし、対象学年は１～４年次生。

２）履修可能科目

他大学の提供科目中、本学科「学科科目」（専門科目）に相当する科目のみを対象とする。

３）単位認定

①　年間に履修できる単位数　８単位まで　（年間履修制限単位に含む）

②　通算で履修できる単位数　８単位まで

③　卒業要件として認められる単位数　８単位

４）卒業要件上の位置づけ

他大学で修得した科目はフリーゾーンの学科自由選択科目として扱われ、卒業要件単位に組み込まれる。教職等の資格要件の科目には相当しない。

５）認定方法

「単位互換科目１、２・・・」として、（　　）内に他大学名を記載し、本学の評価記号を適用させる。

６）履修上の注意

単位互換制度の利用を希望する学生は、募集要項を参照して制度の詳細を理解した上で、他大学で履修できる科目の範囲・単位数および卒業要件上の位置付け等につき、事前に教務課の窓口にて説明を受けること。

履修を希望する場合は、所定の書類を添えて教務課の窓口に受付期間内に申請し、学科主任の許可を得ること。

XIV.　多文化共生ファシリテーター/サポーター認証について

本学WEBサイトにある「内なる国際化プロジェクト」に詳細な情報が掲載されているので、随時確認すること。

XV.　授業科目一覧

【明治学院共通科目】

明治学院共通科目のページを参照のこと。

【学科科目】

国際学科の学科科目は、各科目名に付されている番号に応じて、以下のとおり履修できる学年・学期が定められている。

・100番台の番号が付された科目：全ての学年で履修することができる。
・200番台の番号が付された科目：２年次春学期以降に履修することができる。
　ただし、秋学期開講であれば、学科講義科目⑵を１年次でも履修することができる。
・300番台の番号が付された科目：３年次春学期以降に履修することができる。
　ただし、秋学期開講であれば、学科講義科目⑶、地域研究を２年次でも履修することができる。
・400番台の番号が付された科目：４年次春学期以降に履修することができる。

〔履修上の注意〕

1．履修要項に明記されるものを除き、原則として同一科目を複数回履修することはできない。
2．地域研究系科目、学科講義科目（2）と学科講義科目（3）のうちKCで始まる科目、および特別演習、特別演習課題については、同一の科目であっても担当者が異なれば、卒業要件として複数回修得することができる。ただし、複数の教員が合同で担当する科目については、その全員が異なっていなければならない。
3．「国際学特講1」「国際学特講2」については、科目名の後に付けられる講義内容を表す（　）内の表記を含めて、1科目と見なす。そのため、（　）内の表記が異なれば、卒業要件として複数回修得することができる。
4．演習1、特別演習１、演習2A、演習2B、演習3A、演習3B、校外実習A、校外実習B、独自課題研究については、同一の科目であっても担当者が異なれば、卒業要件として２回まで修得することができる。
5．KCの科目番号で代表表記されているものも、国際学科の講義科目である。
　・KC100番台の番号が付された科目：2年次春学期以降に履修することができる。
　　ただし、秋学期開講であれば1年次でも履修することができる。
　・KC200番台の番号が付された科目：3年次春学期以降に履修することができる。
　　ただし、秋学期開講であれば2年次でも履修することができる。

〔表の見方について〕

1．科目番号の前に※印が付されている科目は必修科目である。全ての学生が、必ず単位を修得しなければならない。

2．開講学期の掲載は省略した。春学期または秋学期の開講となるが年度により変動することがある。毎年度の時間割表で確認すること。

3．57ページ[表-2]卒業までに必要な単位数－科目の内訳の詳細－も参照すること

学科基礎科目

科　目　名		単位数
※KSGEN111 基礎演習Ａ	（注１）	2
KSGEN112 基礎演習Ｂ		2
KSGEN214 リサーチ・リテラシー	（注２）	2
KSGEN215 メディア・リテラシー	（注２）	2
KSGEN216 ネットワーク・リテラシー	（注２）	2

（注1）　学期初めにクラス振分けを行うので、掲示等に注意すること。

（注2）　情報リテラシー3科目は複数科目履修ができる。超過修得分はフリーゾーンの単位に振り替える。

学科講義科目（１）

科　目　名		単位数
KSGEN103 社会科学入門		2
KSGEN107 現代史	（注）	2
KSGEN108 文化研究の基礎	（注）	2
KSGEN109 経済研究の基礎	（注）	2
KSGEN110 平和研究の基礎	（注）	2

（注）学期初めにクラス振分けを行うので掲示等に注意すること。

専門外国語

専門外国語（1）		
科　目　名		単位数
※KSEIS109 専門外国語１Ａ		2
※KSEIS110 専門外国語１Ｂ		2
※KSEIS107 専門外国語２	（注）	4
※KSEIS108 専門外国語３	（注）	4

専門外国語（２）		
科　目　名		単位数
※KSEIS211 専門外国語４	（注）	4
※KSEIS212 専門外国語５	（注）	4

専門外国語（３）		
科　目　名		単位数
※KSEIS311 専門外国語６Ａ		2
※KSEIS312 専門外国語６Ｂ		2

（注）　・「KSEIS211専門外国語4」を履修するためには、原則として「KSEIS107専門外国語2」の単位を修得していなくてはならない。
また、「KSEIS212専門外国語5」を履修するためには、原則として「KSEIS108専門外国語3」の単位を修得していなくてはならない。

演習･実習

科　目　名	単位数
KSGEN101 インターンシップ(講義)　(注)	2
KSGEN201 演習１	2
KSGEN202 校外実習Ａ　(注)	4
KSGEN203 校外実習Ｂ　(注)	2
KSGEN208 独自課題研究	2
KSGEN210 Field Study Seminar	2
KSGEN211 Field Study A　(注)	4
KSGEN212 Field Study B　(注)	2
KSGEN217 特別演習１	2
KSGEN218 インターンシップ(実習) A　(注)	4
KSGEN219 インターンシップ(実習) B　(注)	2
KSGEN220 インターンシップ(実習) C　(注)	1
KSGEN221 独自課題実地研究Ａ　(注)	2
KSGEN222 独自課題実地研究Ｂ　(注)	1

（注）校外実習、インターンシップ（講義）、インターンシップ（実習）、Field Study、独自課題実地研究は一部または全部を学科講義科目（3)、地域研究による代替が可能である。詳細は57ページ〔表２〕校外実習等の備考欄を参照すること。

学科講義科目（２）

科　目　名	単位数
KSCS0201 言語表現法	4
KSCS0204 現代文明論	4
KSCS0211 比較文化論	4
KSCS0217 地誌概説１	2
KSCS0218 地誌概説２	2
KSCS0219 文化人類学	4
KSCS0220 ヨーロッパ芸術論	4
KSCS0221 文化交渉史	4
KSCS0222 異文化コミュニケーション	4
KSCS0224 英語学概論	4
KSEC0204 南北問題	4
KSEC0211 国際経済論	4
KSEC0212 日本経済論	4
KSEC0213 社会調査法	2
KSEC0215 環境学原論	2
KSEC0216 ミクロ経済学	2
KSEC0217 マクロ経済学	2
KSPOL206 国際法	4
KSPOL208 社会学原論	4
KSPOL209 法学原論	4
KSPOL210 比較政治学	4
KSPOL212 国際関係論	4
KSPOL213 日本政治論	4
KSPOL214 平和学１	4
KSGEN261 国際学特講１	2
KCGEN102 Current Affairs A	2
KCGEN103 Current Affairs B	2
KCCUL101 Global History A	2
KCCUL102 Global History B	2

科　　目　　名	単位数
KCCUL106 Transcultural Studies	2
KCSOC103 Community Development (Service Learning)	2
KCECO103 Regional Economic Development	2
KCECO104 Labor Market in the Global Economy	2

演習

科　　目　　名	単位数
※KSGEN303 演習２A　　　　　　　　　（注）	2
※KSGEN304 演習２B　　　　　　　　　（注）	2

（注）「KSGEN303演習２A」、「KSGEN304演習２B」を履修するためには、原則として「KSGEN201演習１」または「KSGEN217特別演習１」の単位を修得済みでなければならない。
ただし、３年次に他学科から転学してきた学生ならびに編入生については、この限りではない。

学科講義科目（３）

科目名	単位数
KSCSO305 現代文学論	4
KSCSO307 情報社会論	4
KSCSO312 日本文化論	4
KSCSO316 仏教文化論	4
KSCSO317 キリスト教文化論	4
KSCSO318 イスラム教文化論	4
KSCSO322 日本語教授法	4
KSCSO323 英語教育学	4
KSCSO326 民俗学	2
KSCSO327 応用言語学	4
KSECO305 比較経済史	4
KSECO306 社会開発論	4
KSECO308 国際金融論	4
KSECO310 環境経済論	4
KSECO312 地域経済論	2
KSECO314 農業経済・食糧論	4
KSECO316 データ分析概論	2
KSECO317 エネルギー資源論	4
KSPOL307 国際関係法	4
KSPOL309 比較政策論	4
KSPOL312 平和学２	4
KSPOL316 政治社会学	4
KSPOL317 平和・紛争研究	4
KSPOL318 ジェンダー論	4
KSPOL319 国際政治学	4
KSPOL320 国際政治史	4
KSGEN364 国際学特講２	2
KCGEN202 Contemporary Global Issues A	2
KCGEN203 Contemporary Global Issues B	2
KCGEN206 Advanced Research Analysis	2
KCCUL201 Buddhist Culture	4
KCCUL202 Islamic Culture	2
KCCUL203 Japanese Literature	4

科目名	単位数
KCCUL204 Inter-Cultural History	2
KCCUL205 Modern East Asian History	4
KCCUL206 Visual Media Methods	2
KCCUL207 Translation and Interpretation A	2
KCCUL208 Translation and Interpretation B	2
KCCUL209 Japanese Popular Culture A	2
KCCUL210 Japanese Popular Culture B	2
KCCUL211 Contemporary Global History	2
KCSOC201 International Journalism	2
KCSOC202 Gender and Society	4
KCSOC203 Japanese Minority Groups	4
KCSOC204 Social Change and Planning(Service Learning)	2
KCSOC205 Contemporary Japanese Society	4
KCSOC206 Gender and Body	2
KCECO201 International Finance	2
KCECO202 International Political Economy	2
KCECO203 Contemporary Japanese Economy A	2
KCECO204 Contemporary Japanese Economy B	2
KCECO205 Chinese Economy	2
KCECO206 Regional Economic Integration	4
KCECO207 Behavioral Economics and Public Policy	2
KCECO208 Economy of South East Asia A	2
KCECO209 Special Topics in Economics	2
KCECO210 Labor Economics and Public Policy A	2
KCECO211 Labor Economics and Public Policy B	2
KCPOL201 International Disputes Settlement Procedures	2
KCPOL202 Peace Studies	2
KCPOL203 Legal Issues in International Relations	2
KCPOL204 North American Politics and Society	2
KCPOL205 European Politics and Society	2
KCPOL206 Politics and Society in Japan	2
KCPOL207 East Asian Politics and Society	2
KCPOL208 Advanced Peace Studies	2

地域研究

科目名	単位数
KSREG302 東南アジア地域研究	4
KSREG305 オセアニア地域研究	4
KSREG307 ヨーロッパ地域研究	4
KSREG308 中・南米地域研究	4
KSREG309 アフリカ地域研究	4
KSREG310 東北アジア地域研究（文化）	2
KSREG311 東北アジア地域研究（政治）	2
KSREG312 東北アジア地域研究（経済）	4
KSREG315 南アジア地域研究　A	2
KSREG316 南アジア地域研究　B	2
KSREG317 アメリカの文化と社会	4
KSREG318 ヨーロッパ経済論	4
KSREG319 イギリスの文化と社会	4
KSREG320 アメリカ文学概論	4
KSREG321 イギリス文学概論	4
KSREG322 アジア地域秩序	4
KSREG323 西アジア地域研究	4

演習・卒業論文

科目名		単位数
KSGEN401 演習３A	(注 1)	2
KSGEN402 演習３B	(注 1)	2
KSGEN404 卒業論文	(注 2)(注 3)	2
KSGEN406 特別演習	(注 4)(注 5)	2
KSGEN407 特別演習課題	(注 5)(注 6)	1

（注1）「KSGEN401演習３A」、「KSGEN402演習３B」を履修するためには、原則として「KSGEN303演習２A」、「KSGEN304演習２B」の単位を修得済みでなければならない。
（注2）卒業論文作成にあたっては、「KSGEN401演習３A」、「KSGEN402演習３B」で指導を受けるものとする。従って、「KSGEN404卒業論文」と「KSGEN401演習３A」、「KSGEN402演習３B」は原則として同じ指導教員に履修登録しなければならない。
（注3）4年次に留学をする場合は、事前に教務課に相談すること。
（注4）「KSGEN406特別演習」を履修するためには、原則として「KSGEN303演習２A」、「KSGEN304演習２B」の単位を修得済みでなければならない。
（注5）「KSGEN406特別演習」、「KSGEN407特別演習課題」は複数回の単位修得を認める。
（注6）特別演習課題論文作成にあたっては、「KSGEN406特別演習」で指導を受けるものとする。従って、「KSGEN406特別演習」と「KSGEN407特別演習課題」は原則として同じ指導教員に履修登録しなければならない。

教職・その他資格関連科目（注1）

科目名		単位数
2 年次配当科目		
TCKN0901 日本史 A		2
TCKN0902 日本史 B		2
TCKN0911 世界史 A		2
TCKN0912 世界史 B		2
TCKN0931 自然地理学 1		2
TCKN0932 自然地理学 2		2
TCKN0921 地理学概論 1		2
TCKN0922 地理学概論 2		2
3 年次配当科目		
LXCRS301 哲学(専) 1	(注 2) (注 3)	2
LXCRS302 哲学(専) 2	(注 2) (注 3)	2
TCKN0951 宗教学概論 1		2
TCKN0952 宗教学概論 2		2
J-POL351 政治史 1A	(注 4)	2
J-POL352 政治史 1B	(注 4)	2
4 年次配当科目		
TCPRA901 教育実習	(注 5) (注 6)	3
TCPRA901 教育実習	(注 5)	5

（注1）各科目は、その科目の配当年次以上の学年で履修することができる。
（注2）「哲学（専）1・2」を履修するためには、「MGPHI」（哲学）、「MGETH」（倫理学）、「MGLOG」（論理学）の中からナンバリングのアルファベットが同一の2科目（計4単位）を修得済みでなければならない。
（注3）「哲学（専）1」、「哲学（専）2」は、時間割表で開講校舎を確認すること。
（注4）「政治史1A」と「政治史1B」は、共に法学部政治学科の学科科目であり、白金校舎でのみ開講される。
（注5）「教育実習」履修の前提条件については、『教職課程履修要項（諸資格）』を参照すること。
（注6）「教育実習」（3単位）を複数回修得した場合は、卒業要件1回（3単位）のみ認められる。

国際学科　学科科目　部門別一覧

科目番号の前に※印が付されているものは必修科目である。KCの科目番号で代表表記されているものも、国際学科の講義科目である。

学科基礎科目		
※KSGEN111	基礎演習Ａ	２単位
KSGEN112	基礎演習Ｂ	2
KSGEN214	リサーチ・リテラシー	2
KSGEN215	メディア・リテラシー	2
KSGEN216	ネットワーク・リテラシー	2

学科講義科目（１）		
KSGEN103	社会科学入門	２単位
KSGEN107	現代史	2
KSGEN108	文化研究の基礎	2
KSGEN109	経済研究の基礎	2
KSGEN110	平和研究の基礎	2

専門外国語（１）		
※KSEIS109	専門外国語１Ａ	２単位
※KSEIS110	専門外国語１Ｂ	2
※KSEIS107	専門外国語２	4
※KSEIS108	専門外国語３	4

専門外国語（２）		
※KSEIS211	専門外国語４	４単位
※KSEIS212	専門外国語５	4

専門外国語（３）		
※KSEIS311	専門外国語６Ａ	２単位
※KSEIS312	専門外国語６Ｂ	2

学科講義科目（２）		
KSCSO201	言語表現法	４単位
KSCSO204	現代文明論	4
KSCSO211	比較文化論	4
KSCSO217	地誌概説１	2
KSCSO218	地誌概説２	2
KSCSO219	文化人類学	4
KSCSO220	ヨーロッパ芸術論	4
KSCSO221	文化交渉史	4
KSCSO222	異文化コミュニケーション	4
KSCSO224	英語学概論	4
KSECO204	南北問題	4
KSECO211	国際経済論	4
KSECO212	日本経済論	4
KSECO213	社会調査法	2
KSECO215	環境学原論	2
KSECO216	ミクロ経済学	2
KSECO217	マクロ経済学	2
KSPOL206	国際法	4
KSPOL208	社会学原論	4
KSPOL209	法学原論	4
KSPOL210	比較政治学	4
KSPOL212	国際関係論	4
KSPOL213	日本政治論	4
KSPOL214	平和学１	4
KSGEN261	国際学特講１	2
KCGEN102	Current Affairs A	2
KCGEN103	Current Affairs B	2
KCCUL101	Global History A	2
KCCUL102	Global History B	2
KCCUL106	Transcultural Studies	2
KCSOC103	Community Development (Service Learning)	2
KCECO103	Regional Economic Development	2
KCECO104	Labor Market in the Global Economy	2

学科講義科目（３）		
KSCSO305	現代文学論	４単位
KSCSO307	情報社会論	4
KSCSO312	日本文化論	4
KSCSO316	仏教文化論	4
KSCSO317	キリスト教文化論	4
KSCSO318	イスラム教文化論	4
KSCSO322	日本語教授法	4
KSCSO323	英語教育学	4
KSCSO326	民俗学	2
KSCSO327	応用言語学	4
KSECO305	比較経済史	4
KSECO306	社会開発論	4
KSECO308	国際金融論	4
KSECO310	環境経済論	4
KSECO312	地域経済論	2
KSECO314	農業経済・食糧論	4
KSECO316	データ分析概論	2
KSECO317	エネルギー資源論	4
KSPOL307	国際関係法	4
KSPOL309	比較政策論	4
KSPOL312	平和学２	4
KSPOL316	政治社会学	4
KSPOL317	平和・紛争研究	4
KSPOL318	ジェンダー論	4
KSPOL319	国際政治学	4
KSPOL320	国際政治史	4
KSGEN364	国際学特講２	2
KCGEN202	Contemporary Global Issues A	2
KCGEN203	Contemporary Global Issues B	2
KCGEN206	Advanced Research Analysis	2
KCCUL201	Buddhist Culture	4
KCCUL202	Islamic Culture	2
KCCUL203	Japanese Literature	4
KCCUL204	Inter-Cultural History	2
KCCUL205	Modern East Asian History	4
KCCUL206	Visual Media Methods	2
KCCUL207	Translation and Interpretation A	2
KCCUL208	Translation and Interpretation B	2

KCCUL209	Japanese Popular Culture A	2
KCCUL210	Japanese Popular Culture B	2
KCCUL211	Contemporary Global History	2
KCSOC201	International Journalism	2
KCSOC202	Gender and Society	4
KCSOC203	Japanese Minority Groups	4
KCSOC204	Social Change and Planning (Service Learning)	2
KCSOC205	Contemporary Japanese Society	4
KCSOC206	Gender and Body	2
KCECO201	International Finance	2
KCECO202	International Political Economy	2
KCECO203	Contemporary Japanese Economy A	2
KCECO204	Contemporary Japanese Economy B	2
KCECO205	Chinese Economy	2
KCECO206	Regional Economic Integration	4
KCECO207	Behavioral Economics and Public Policy	2
KCECO208	Economy of South East Asia A	2
KCECO209	Special Topics in Economics	2
KCECO210	Labor Economics and Public Policy A	2
KCECO211	Labor Economics and Public Policy B	2
KCPOL201	International Disputes Settlement Procedures	2
KCPOL202	Peace Studies	2
KCPOL203	Legal Issues in International Relations	2
KCPOL204	North American Politics and Society	2
KCPOL205	European Politics and Society	2
KCPOL206	Politics and Society in Japan	2
KCPOL207	East Asian Politics and Society	2
KCPOL208	Advanced Peace Studies	2

地域研究系科目

KSREG302	東南アジア地域研究	4 単位
KSREG305	オセアニア地域研究	4
KSREG307	ヨーロッパ地域研究	4
KSREG308	中・南米地域研究	4
KSREG309	アフリカ地域研究	4
KSREG310	東北アジア地域研究(文化)	2
KSREG311	東北アジア地域研究(政治)	2
KSREG312	東北アジア地域研究(経済)	4
KSREG315	南アジア地域研究 A	2
KSREG316	南アジア地域研究 B	2
KSREG317	アメリカの文化と社会	4
KSREG318	ヨーロッパ経済論	4
KSREG319	イギリスの文化と社会	4
KSREG320	アメリカ文学概論	4
KSREG321	イギリス文学概論	4
KSREG322	アジア地域秩序	4
KSREG323	西アジア地域研究	4

演習・卒業論文・実習

KSGEN101	インターンシップ(講義)	2 単位
KSGEN201	演習 1	2
※KSGEN303	演習 2A	2
※KSGEN304	演習 2B	2
KSGEN401	演習 3A	2
KSGEN402	演習 3B	2
KSGEN404	卒業論文	2
KSGEN406	特別演習	2
KSGEN407	特別演習課題	1
KSGEN202	校外実習 A	4
KSGEN203	校外実習 B	2
KSGEN208	独自課題研究	2
KSGEN210	Field Study Seminar	2
KSGEN211	Field Study A	4
KSGEN212	Field Study B	2
KSGEN217	特別演習 1	2
KSGEN218	インターンシップ(実習) A	4
KSGEN219	インターンシップ(実習) B	2
KSGEN220	インターンシップ(実習) C	1
KSGEN221	独自課題実地研究 A	2
KSGEN222	独自課題実地研究 B	1

教職・その他関連部門

2 年次配当科目

TCKN0901	日本史 A	2 単位
TCKN0902	日本史 B	2
TCKN0911	世界史 A	2
TCKN0912	世界史 B	2
TCKN0931	自然地理学 1	2
TCKN0932	自然地理学 2	2
TCKN0921	地理学概論 1	2
TCKN0922	地理学概論 2	2

3 年次配当科目

LXCRS301	哲学(専)1	2 単位
LXCRS302	哲学(専)2	2
TCKN0951	宗教学概論 1	2
TCKN0952	宗教学概論 2	2
J-POL351	政治史 1A	2
J-POL352	政治史 1B	2

4 年次配当科目

TCPRA901	教育実習	3 単位
TCPRA901	教育実習	5

The Faculty of International Studies

Department of Global and Transcultural Studies (GTS)

国際キャリア学科

＊　本履修要項は和英併記としている。英文と和文で解釈の違いが生じた場合、和文を優先する。

《国　際　学　部》

人材養成上の目的･教育目標

国際学部は、明治学院大学の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、国際学部の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

国際学部の教育目標は、現代のグローバル社会の諸相を理解し、世界平和と人々の共生に貢献する人間を育成することである。そのために、以下の教育目標を定める。

1　私たちが生活している日本社会の理解を深めること。
2　グローバル社会における多様性の理解と平和の実現を目指すこと。
3　地域社会の課題に政治・経済・文化の複合的な側面からアプローチすること。
4　社会の課題を発見して解決に取り組む意思の醸成と発信力を養うこと。

こうして得た知見と能力を元に、グローバル化によって重層化する社会の諸問題に、異なる背景をもった人々とも協働できる人間の育成を目的とする。

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

国際学部は、明治学院大学の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、国際学部の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに所定の単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

1　明治学院共通科目および学科専門科目の多面的な履修を通して、基礎的な学力を養うとともに、日本社会および国境を越えて存在する政治･経済･文化の諸課題を理解し、また地域社会固有の問題に取り組む総合的な力を身につけている。
2　グローバル化する社会において生じている複合的な問題を把握・分析し、その解決策を探る能力を身につけている。
3　異なるバックグラウンドをもつ世界の人々と英語その他の言語によってコミュニケーションを行い、共同で作業を行う能力を身につけている。
4　大学の外の社会との双方向的な関係を結び、広範な視野と豊かな人間性を身につけている。

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学部は、明治学院大学の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、国際学部の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

1　政治・経済・文化の諸領域に関わる専門科目を設置する。
2　日本研究および地域研究（アジア・アフリカ・中南米・ヨーロッパ）を設置する。同時に平和研究を設ける。
3　4年間にわたり演習科目を中心としたきめ細かな少人数教育を実施する。
4　グローバル化する世界においてコミュニケーションを行う英語およびその他の言語運用能力を養う科目を設置する。
5　国外の大学や機関、教室外の社会との接点を設けた学習をも重視する。
6　学生の教育評価では、学業成績については各学科の定める学位プログラムの卒業要件を満たし、各科目のシラバスの定める成績評価と、学習成果の集成である卒業研究の成果把握によって行う。

《The Faculty of International Studies》

■ Objectives for Fostering Personnel: Educational Goals

The Faculty of International Studies defines its objectives for fostering personnel and educational goals, as follows, based on the objectives for fostering personnel and educational goals of Meiji Gakuin University.

The ultimate educational goal of the Faculty of International Studies is to cultivate people who understand the various aspects of contemporary society and will contribute to world peace and people's harmonious co-existence. To that end, we set ourselves the following educational goals:

1) To deepen our understanding of Japanese society, in which we live.
2) To aim for understanding of the diversity of global society and the realization of peace.
3) To approach themes in regional society from a perspective combining politics, economics and culture.
4) To foster a consciousness that seeks to identify and solve social problems, and the ability to communicate findings.

Based on thus-acquired knowledge, we aim to foster human beings who can cooperate with people of different backgrounds in grappling with the various problems of a society stratified by globalization.

■ Policy on Graduation and the Awarding of Degrees

Based on the policy on graduation and the awarding of degrees of Meiji Gakuin University, and seeking to foster human beings who meet the faculty's objectives for fostering personnel and educational goals, the Faculty of International Studies defines its conditions for permitting graduation and awarding degrees as follows. In addition to being enrolled for the stipulated period of time, and having acquired the stipulated number of credits, students are also expected to have acquired the following abilities.

1. By taking the various courses provided under the combined Meiji Gakuin curriculum, and the specialized courses provided by the faculty, students are expected to acquire basic academic skills, to understand Japanese society and the various political, economic and cultural issues that transcend national borders, and to acquire the general power to grapple with problems specific to regional societies.
2. To grasp and analyze the complex problems arising in globalized society, and acquire the ability to search for solutions to those problems.
3. To communicate, in English and other languages, with people of different backgrounds from around the world, and to acquire the ability to work cooperatively with them.
4. To form bonds of mutual association with society outside the university, acquiring a broad vision and a rich humanity.

■ Policy on Curriculum Compilation and Implementation

Based on the Meiji Gakuin University policy on curriculum compilation and implementation, and in accordance with the faculty's objectives for fostering personnel and educational goals, and policy on graduation and the awarding of degrees, the Faculty of International Studies defines its policy on curriculum compilation and implementation as follows.

1. To establish specialist courses in the fields of politics, economics and culture.
2. To establish courses on regional research on Japan, Asia, Africa, Central and South America and Europe. At the same time, to establish courses on peace studies.
3. To implement fine-grained education in small classes over the whole four years, centered on seminar teaching.
4. To establish courses to foster ability in English and other languages in which communication is carried out in the globalizing world.
5. To put emphasis on learning based on contact with overseas universities and institutions, and society outside the classroom.
6. Educational assessment of students will be based on whether their transcripts satisfy the conditions for graduation specified in the degree program of each department, their grades as specified in each department's syllabus, and their graduation research project which is a summation of the fruits of their academic endeavors.

■国 際 キ ャ リ ア 学 科

人材養成上の目的・教育目標

国際学部国際キャリア学科は、国際学部の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、国際キャリア学科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

国際キャリア学科は、グローバル社会の諸問題に対する、政治・経済・文化の各分野からの総合的な理解能力を涵養するとともに、多言語でのコミュニケーション能力を身につけ、多様な環境の下に生きる人々と協力し、リーダーシップを発揮できる能力を持つ人材を養成することを目標とする。

卒業の認定・学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

国際学部国際キャリア学科は、国際学部の「卒業の認定・学位授与に関する方針」に基づき、国際キャリア学科の「人材養成上の目的・教育目標」に沿った人間を育成するため、所定の期間在学するとともに130単位を修得し、次の能力を身につけることを卒業認定と学位授与の要件とする。

1　学科専門科目および明治学院共通科目の多面的な履修を通して培う基礎的な学修能力ならびに国際的な政治･経済･社会や個別の文化･歴史に関する総合的な理解力を取得し、グローバル社会で発生する問題を分析し、その解決策を探る能力を身につけている。

2　英語およびそれ以外の言語（日本語を含む）の複数言語で自由にコミュニケーションを図る能力を身につけて世界の人々と共同で作業を行う能力を身につけている。

3　Project-based Learning、Service Learning、留学あるいは国内外のインターンシップの体験に基づいた、集団の目標に合わせて活動し、リーダーシップを発揮しうる能力を身につけている。

4　グローバル化する世界の中の日本の役割を把握、分析する能力を身につけている。

5　多文化的なコンテクストで強い人間関係を構築できる寛大な人間性を養成する。

教育課程の編成および実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

国際学部国際キャリア学科は、国際学部の「教育課程の編成および実施に関する方針」に基づき、国際キャリア学科の定める「人材養成上の目的・教育目標」および「卒業の認定・学位授与に関する方針」に沿って、次のとおり「教育課程の編成および実施に関する方針」を定める。

1　授業は原則として全て英語で実施し、多言語でのコミュニケーション能力を涵養する（1～3年次での英語の集中的教育(Academic English Program - AEP)の実施）。

2　全ての授業(講義科目および演習科目)で少人数教育を徹底し、国際的な政治･経済･社会や個別の文化・歴史に関する総合的な理解力を身につけた上で、分析能力、問題解決能力、チームワーク・スキル、リーダーシップ・スキルを涵養することを目指す。

3　また以上の本学科の「人材養成上の目的･教育目標」を達成させるために、①座学を超えた学習(Project-based Learning；　Service Learning）を重視し、②キャリアを意識させる学習（ライフ・キャリア・デザイン教育；アカデミック・アドバイザー制度の活用）を行い、③深い国際体験による学習（Double-Degree Program；Study-abroad Programs；Exchange Programs；Internship Programs；Field-Study Programs）を重視する。

4　学修成果の評価に際しては、各科目の成績評価基準をそれぞれのシラバスにおいて明記し、受講生に事前に周知する。

■Department of Global and Transcultural Studies

■ Objectives for Fostering Personnel: Educational Goals

The Department of Global and Transcultural Studies defines its objectives for fostering personnel and educational goals as follows, based on the objectives for fostering personnel and educational goals of the Faculty of International Studies.

While cultivating a general ability to understand the various problems of global society in terms of the fields of politics, economics and culture, the Department of Global and Transcultural Studies seeks to foster personnel who have acquired the ability to communicate in multiple languages, to cooperate with people living in a variety of environments, and to exercise leadership.

■ Policy on Graduation and the Awarding of Degrees

Based on the policy on graduation and the awarding of degrees of the Faculty of International Studies, and seeking to foster human beings who meet the department's objectives for fostering personnel and educational goals, the Department of Global and Transcultural Studies defines its conditions for permitting graduation and awarding degrees as follows. Students are required to complete the stipulated period of time enrolled at the university, acquire at least 130 credits, and master the following capabilities as conditions for graduating and receiving a degree.

1. By taking the various courses provided under the specialized courses provided by the department and the combined Meiji Gakuin curriculum, students are expected to acquire basic academic skills, and the ability to understand international politics, economics and society, along with specific areas of culture and history; and thereby to acquire the ability to analyse the problems that arise in global society, and to search for solutions to those problems.
2. Students are expected to acquire the ability to engage freely in communication in English and various other languages including Japanese, enabling them to engage in co-operative projects with people from all over the world.
3. Based on their experiences in project-based learning, service learning, overseas study and domestic and international internships, students are expected to acquire the ability to act in accordance with group objectives and exercise leadership.
4. Students are expected to acquire the ability to grasp and analyse the role of Japan in global society.
5. Students are expected to develop a tolerant humanity capable of constructing strong human relations in a multicultural context.

■ Policy on Curriculum Compilation and Implementation

Based on the Faculty of International Studies' policy on curriculum compilation and implementation, and in accordance with the department's objectives for fostering personnel and educational goals, and policy on graduation and the awarding of degrees, the Department of Global and Transcultural Studies defines its policy on curriculum compilation and implementation as follows.

1. With lessons in principle conducted entirely in English, we will cultivate multilingual communication ability. (In the first to third years we will implement intensive teaching of English under the Academic English Program or AEP.)
2. All lessons (lectures and seminars alike) will strictly enforce small-class education; by inculcating the ability to understand international politics, economics and society, along with specific areas of culture and history, we aim to cultivate analytical ability, problem-solving ability, teamwork skills and leadership skills.
3. In order to achieve the objectives for fostering personnel and educational goals outlined above, we will emphasize (a) learning that goes beyond the classroom (project-based learning, service learning); (b) learning that encourages career-consciousness (life and career design education; implementation of an academic advisor system); (c) learning based on deep international experience (double-degree program; study-abroad programs; internship programs; field-study programs).

4. In evaluating academic outcomes, we will clearly state the basis for grading in the syllabus for each course, and make students aware of the basis for grading before they take the course.

Relationship table between diploma policy and course subjects (Ability requirements table)

卒業の認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)と授業科目の関連表(能力要件表)

Baccalaureate skills 学士力					Knowledge and understanding 知識・理解		General-Purpose Skills 汎用的技能		Attitude and orientation 態度・志向性			Integrated learning experience and creative thinking abilities 統合的な学習経験と創造的思考力
Corresponding Diploma Policy 対応するディプロマ・ポリシー					GTS1 国際キャリア学科1	GTS1 国際キャリア学科1	GTS2 国際キャリア学科2	GTS4 国際キャリア学科4	GTS3 国際キャリア学科3	GTS5 国際キャリア学科5	GTS2 国際キャリア学科2	GTS1 国際キャリア学科1
The abilities students are expected to acquire under diploma policy ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力					Basic academic skills 基礎的な学修能力	General academic skills 総合的な学修能力	Communication in multiple languages 複数言語でのコミュニケーション力	Ability to analyse Japan's role in a globalizing society グローバル化社会での日本の役割を分析する力	Leadership リーダーシップ	Humanity capable of forging transcultural human relations 多文化的な人間関係を構築できる人間性	Ability to use language skills to engage in group projects 語学力を生かして共同作業を行う能力	Ability to analyse problems that arise in global society and search for solutions to them グローバル社会で発生する問題を分析し解決策を探る能力
Course name 授業科目名	選択・必修 Compul. /Elective	単位 Credits	Semester of study 配当セメス April adm. 4月入	Semester of study 配当セメス Sept. adm. 9月入	◎ : Highly related to skills　○ : Related to skills 科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○							
学術英語科目												
学術英語科目Ⅰ												
KCAEP101 Academic Reading A	必修 Compul.	2	1	2			◎				○	
KCAEP102 Academic Reading B	必修 Compul.	2	2	1		○	◎				○	
KCAEP103 Critical Inquiry & Writing A	必修 Compul.	4	1	2		○	◎				○	
KCAEP104 Critical Inquiry & Writing B	必修 Compul.	4	2	1		○	◎				○	
KCAEP201 Rhetoric & Research Writing A	必修 Compul.	4	3	4		○	◎				○	
KCAEP202 Rhetoric & Research Writing B	必修 Compul.	4	4	3		○	◎				○	
学術英語科目Ⅱ												
KCAEP105 Tutorial/Lab 1A	選択 Elective	1	1	2		○	◎				○	
KCAEP106 Tutorial/Lab 1B	選択 Elective	1	2	1		○	◎				○	
KCAEP107 Presentation & Seminar Skills 1A	選択 Elective	4	1	2		○	◎				○	
KCAEP108 Presentation & Seminar Skills 1B	選択 Elective	4	2	1		○	◎				○	
KCAEP203 Tutorial/Lab 2A	選択 Elective	1	3	4		○	◎				○	
KCAEP204 Tutorial/Lab 2B	選択 Elective	1	4	3		○	◎				○	
KCAEP205 Presentation & Seminar Skills 2A	選択 Elective	4	3	4		○	◎				○	
KCAEP206 Presentation & Seminar Skills 2B	選択 Elective	4	4	3		○	◎				○	
KCAEP207 Communication in the 21st Century	選択 Elective	2	3	3	◎				○			○
KCAEP208 Communication in the 21st Century - Discussion Section	選択 Elective	2	3	3	◎				○			○
KCAEP301 Tutorial 3A	選択 Elective	1	5	6		○	◎				○	
KCAEP302 Tutorial 3B	選択 Elective	1	6	5		○	◎				○	
KCAEP303 Capstone Project in Academic English A	選択 Elective	2	5	6		○	◎				○	
KCAEP304 Capstone Project in Academic English B	選択 Elective	2	6	5		○	◎				○	
KCAEP401 Tutorial 4A	選択 Elective	1	7	8		○	◎				○	
KCAEP402 Tutorial 4B	選択 Elective	1	8	7		○	◎				○	
初級科目												
演習科目												
KCGSEM101 Introductory Seminar	必修 Compul.	2	1	2	○	◎			○			○
講義科目												
KCGEN101 Information Literacy	選択 Elective	2	1	1		◎	○				○	
KCGEN102 Current Affairs A	選択 Elective	2	1	1	◎			○	○			
KCGEN103 Current Affairs B	選択 Elective	2	1	1	◎			○	○			
KCGEN104 Internship (Lecture)	選択 Elective	2	1	1					◎	○		
KCCUL101 Global History A	選択 Elective	2	1	1	◎							○
KCCUL102 Global History B	選択 Elective	2	1	1	◎							○
KCCUL103 Intercultural Communication	選択 Elective	2	1	1	○				○	○	◎	
KCCUL104 Japanese Culture A	選択 Elective	2	1	1				◎				
KCCUL105 Japanese Culture B	選択 Elective	2	1	1				◎				
KCCUL106 Transcultural Studies	選択 Elective	2	1	1						◎		○
KCCUL107 Introduction to Area Studies	選択 Elective	2	1	1	○			◎		○		○
KCSOC101 Introduction to Sociology A	選択 Elective	2	1	1	◎							○
KCSOC102 Introduction to Sociology B	選択 Elective	2	1	1	◎							○
KCSOC103 Community Development (Service Learning)	選択 Elective	2	1	1					◎	○		
KCSOC104 Introduction to Social Anthropology	選択 Elective	2	1	1	○					◎		○
KCECO101 Introduction to Economics A	選択 Elective	2	1	1	◎			○				○
KCECO102 Introduction to Economics B	選択 Elective	2	1	1	◎			○				○
KCECO103 Regional Economic Development	選択 Elective	2	1	1	◎							○
KCECO104 Labor Market in the Global Economy	選択 Elective	2	1	1	◎							○
KCPOL101 Introduction to Political Science	選択 Elective	2	1	1	○	○		○				◎
KCPOL102 Introduction to International Relations	選択 Elective	2	1	1	◎			○				○
KCPOL103 International Law A	選択 Elective	2	1	1	◎							○
KCPOL104 International Law B	選択 Elective	2	1	1	◎							○
上級科目												
講義科目												
KCGEN201 Workshop	選択 Elective	2	4	4					◎	○		
KCGEN202 Contemporary Global Issues A	選択 Elective	2	4	4	◎							○
KCGEN203 Contemporary Global Issues B	選択 Elective	2	4	4	◎							○
KCGEN204 Qualitative Methods	選択 Elective	2	4	4		◎						
KCGEN205 Quantitative Methods	選択 Elective	2	4	4		◎						
KCGEN206 Advanced Research Analysis	選択 Elective	2	4	4		◎						
KCGEN301 Life and Career Development	必修 Compul.	2	5	4					◎			
KCCUL201 Buddhist Culture	選択 Elective	4	4	4	○			○		◎		○
KCCUL202 Islamic Culture	選択 Elective	2	4	4	◎						○	○
KCCUL203 Japanese Literature	選択 Elective	4	4	4	◎							
KCCUL204 Inter-Cultural History	選択 Elective	2	4	4	◎			○				○
KCCUL205 Modern East Asian History	選択 Elective	4	4	4	◎			○				○
KCCUL206 Visual Media Methods	選択 Elective	2	4	4		◎						
KCCUL207 Translation and Interpretation A	選択 Elective	2	4	4		◎	○	○			○	
KCCUL208 Translation and Interpretation B	選択 Elective	2	4	4								
KCCUL209 Japanese Popular Culture A	選択 Elective	2	4	4		○		◎		○		
KCCUL210 Japanese Popular Culture B	選択 Elective	2	4	4		○		◎		○		
KCCUL211 Contemporary Global History	選択 Elective	2	4	4		○		○				◎

Baccalaureate skills 学士力					Knowledge and understanding 知識・理解		General-Purpose Skills 汎用的技能		Attitude and orientation 態度・志向性			Integrated learning experience and creative thinking abilities 統合的な学習経験と創造的思考力
Corresponding Diploma Policy 対応するディプロマ・ポリシー					GTS1 国際キャリア学科1	GTS1 国際キャリア学科1	GTS2 国際キャリア学科2	GTS4 国際キャリア学科4	GTS3 国際キャリア学科3	GTS5 国際キャリア学科5	GTS2 国際キャリア学科2	GTS1 国際キャリア学科1
The abilities students are expected to acquire under diploma policy ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力					Basic academic skills 基礎的な学修能力	General academic skills 総合的な学修能力	Communication in multiple languages 複数言語でのコミュニケーション力	Ability to analyse Japan's role in a globalizing society グローバル化社会での日本の役割を分析する力	Leadership リーダーシップ	Humanity capable of forging transcultural human relations 多文化的な人間関係を構築できる人間性	Ability to use language skills to engage in group projects 語学力を生かして共同作業を行う能力	Ability to analyse problems that arise in global society and search for solutions to them グローバル社会で発生する問題を分析し解決策を探る能力
Course name 授業科目名	選択・必修 Compul. /Elective	単位 Credits	Semester of study 配当セメス April adm. 4月入	Semester of study 配当セメス Sept. adm. 9月入	◎ : Highly related to skills　○ : Related to skills 科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○							
KCSOC201　International Journalism	選択 Elective	2	4	4	◎							○
KCSOC202　Gender and Society	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KCSOC203　Japanese Minority Groups	選択 Elective	4	4	4				◎				
KCSOC204　Social Change and Planning(Service Learning)	選択 Elective	2	4	4					◎	○		
KCSOC205　Contemporary Japanese Society	選択 Elective	4	4	4		○		◎		○		
KCSOC206　Gender and Body	選択 Elective	2	4	4								
KCECO201　International Finance	選択 Elective	2	4	4	◎							○
KCECO202　International Political Economy	選択 Elective	2	4	4	◎							○
KCECO203　Contemporary Japanese Economy A	選択 Elective	2	4	4				◎				
KCECO204　Contemporary Japanese Economy B	選択 Elective	2	4	4				◎				
KCECO205　Chinese Economy	選択 Elective	2	4	4	◎							○
KCECO206　Regional Economic Integration	選択 Elective	4	4	4	○							◎
KCECO207　Behavioral Economics and Public Policy	選択 Elective	2	4	4		◎						○
KCECO208　Economy of South East Asia A	選択 Elective	2	4	4		◎						○
KCECO209　Special Topics in Economics	選択 Elective	2	4	4		◎						○
KCECO210　Labor Economics and Public Policy A	選択 Elective	2	4	4		◎		○				○
KCECO211　Labor Economics and Public Policy B	選択 Elective	2	4	4		◎		○				○
KCPOL201　International Disputes Settlement Procedures	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KCPOL202　Peace Studies	選択 Elective	2	4	4	◎							○
KCPOL203　Legal Issues in International Relations	選択 Elective	2	4	4	○							◎
KCPOL204　North American Politics and Society	選択 Elective	2	4	4		○				○		◎
KCPOL205　European Politics and Society	選択 Elective	2	4	4		○				○		◎
KCPOL206　Politics and Society in Japan	選択 Elective	2	4	4		○		◎		○		
KCPOL207　East Asian Politics and Society	選択 Elective	2	4	4		○				○		◎
KCPOL208　Advanced Peace Studies	選択 Elective	2	4	4		○		○				◎
演習・実習科目												
KCSEM201　Field Study Seminar	選択 Elective	2	3	3	◎							
KCSEM202　Internship (Practicum) A	選択 Elective	4	3	3					◎	○		
KCSEM203　Internship (Practicum) B	選択 Elective	2	3	3					◎	○		
KCSEM204　Internship (Practicum) C	選択 Elective	1	3	3					◎	○		
KCSEM205　Independent Study A	選択 Elective	4	4	4		○				◎		
KCSEM206　Independent Study B	選択 Elective	2	4	4		○				◎		
KCSEM207　Independent Study C	選択 Elective	1	4	4		○				◎		
KCSEM208　Field Study A	選択 Elective	4	4	4	◎				○	○		
KCSEM209　Field Study B	選択 Elective	2	4	4	◎				○	○		
KCSEM301　Research Project	選択 Elective	2	6	6		○				◎		
KCSEM401　Project Seminar	選択 Elective	2	7	7					◎	○		
KCSEM402　Graduation Seminar	必修 Compul.	2	8	8					◎	○		
KCSEM403　Graduation Project A	選択 Elective	4	8	8					◎	○		
KCSEM404　Graduation Project B	選択 Elective	4	8	8					◎	○		
学部共通科目												
国際学科科目												
KSCSO201言語表現法	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSCSO204現代文明論	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSCSO211比較文化論	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSCSO217地誌概説１	選択 Elective	2	2	2	○			◎				○
KSCSO218地誌概説２	選択 Elective	2	2	2	○			◎				○
KSCSO219文化人類学	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSCSO220ヨーロッパ芸術論	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSCSO221文化交渉史	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSCSO222異文化コミュニケーション	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSCSO224英語学概論	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSECO204南北問題	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSECO211国際経済論	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSECO212日本経済論	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSECO213社会調査法	選択 Elective	2	2	2	○			◎				○
KSECO215環境学原論	選択 Elective	2	2	2	○			◎				○
KSECO216ミクロ経済学	選択 Elective	2	2	2	○			◎				○
KSECO217マクロ経済学	選択 Elective	2	2	2	○			◎				○
KSPOL206国際法	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSPOL208社会学原論	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSPOL209法学原論	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSPOL210比較政治学	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSPOL212国際関係論	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSPOL213日本政治論	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSPOL214平和学１	選択 Elective	4	2	2	○			◎				○
KSGEN261国際学特講1	選択 Elective	2	2	2	○			◎				○
KSCSO305現代文学論	選択 Elective	4	4	4	◎							
KSCSO307情報社会論	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSCSO312日本文化論	選択 Elective	4	4	4				◎				
KSCSO316仏教文化論	選択 Elective	4	4	4				○		◎		
KSCSO317キリスト教文化論	選択 Elective	4	4	4						◎		
KSCSO318イスラム教文化論	選択 Elective	4	4	4						◎		
KSCSO322日本語教授法	選択 Elective	4	4	4				○			◎	
KSCSO323英語教育学	選択 Elective	4	4	4			◎				○	

Baccalaureate skills 学士力					Knowledge and understanding 知識・理解		General-Purpose Skills 汎用的技能		Attitude and orientation 態度・志向性			Integrated learning experience and creative thinking abilities 統合的な学習経験と創造的思考力
Corresponding Diploma Policy 対応するディプロマ・ポリシー					GTS1 国際キャリア学科1	GTS1 国際キャリア学科1	GTS2 国際キャリア学科2	GTS4 国際キャリア学科4	GTS3 国際キャリア学科3	GTS5 国際キャリア学科5	GTS2 国際キャリア学科2	GTS1 国際キャリア学科1
The abilities students are expected to acquire under diploma policy ディプロマ・ポリシーに基づく身につく能力					Basic academic skills 基礎的な学修能力	General academic skills 総合的な学修能力	Communication in multiple languages 複数言語でのコミュニケーション力	Ability to analyse Japan's role in a globalizing society グローバル化社会での日本の役割を分析する力	Leadership リーダーシップ	Humanity capable of forging transcultural human relations 多文化的な人間関係を構築できる人間性	Ability to use language skills to engage in group projects 語学力を生かして共同作業を行う能力	Ability to analyse problems that arise in global society and search for solutions to them グローバル社会で発生する問題を分析し解決策を探る能力
Course name 授業科目名	選択・必修 Compul. /Elective	単位 Credits	Semester of study 配当セメス April adm. 4月入	Sept. adm. 9月入	◎ : Highly related to skills　○ : Related to skills 科目に最も関連する能力=◎、科目に関連する能力=○							
KSCS0326民俗学	選択 Elective	2	4	4				◎				
KSCS0327応用言語学	選択 Elective	4	4	4		○	◎					
KSEC0305比較経済史	選択 Elective	4	4	4								◎
KSEC0306社会開発論	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSEC0308国際金融論	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSEC0310環境経済論	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSEC0312地域経済論	選択 Elective	2	4	4	◎			○				
KSEC0314農業経済・食糧論	選択 Elective	4	4	4	○							◎
KSEC0316データ分析学概論	選択 Elective	4	4	4	○	◎						
KSEC0317エネルギー資源論	選択 Elective	4	4	4	○			◎		○		
KSPOL307国際関係法	選択 Elective	4	4	4	◎			○				○
KSPOL309比較政策論	選択 Elective	4	4	4	◎			○				○
KSPOL312平和学2	選択 Elective	4	4	4	○						○	◎
KSPOL316政治社会学	選択 Elective	4	4	4	○							◎
KSPOL317平和・紛争研究	選択 Elective	4	4	4	○							◎
KSPOL318ジェンダー論	選択 Elective	4	4	4	○	◎						
KSPOL319国際政治学	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSPOL320国際政治史	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSREG302東南アジア地域研究	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSREG305オセアニア地域研究	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSREG307ヨーロッパ地域研究	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSREG308中・南米地域研究	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSREG309アフリカ地域研究	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSREG310東北アジア地域研究(文化)	選択 Elective	2	4	4	◎							○
KSREG311東北アジア地域研究(政治)	選択 Elective	2	4	4	◎							○
KSREG312東北アジア地域研究(経済)	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSREG315南アジア地域研究A	選択 Elective	2	4	4	◎							○
KSREG316南アジア地域研究B	選択 Elective	2	4	4	◎							○
KSREG317アメリカの文化と社会	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSREG318ヨーロッパ経済論	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSREG319イギリスの文化と社会	選択 Elective	4	4	4	◎						○	○
KSREG320アメリカ文学概論	選択 Elective	4	4	4	○						◎	
KSREG321イギリス文学概論	選択 Elective	4	4	4	○						◎	
KSREG322アジア地域秩序	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSREG323西アジア地域研究	選択 Elective	4	4	4	◎							○
KSGEN364国際学特講2	選択 Elective	2	4	4	◎							○
国際経営学科科目												
EGM&S101ビジネス入門	選択 Elective	2	1	2		◎						
EGA&F101アカウンティング入門	選択 Elective	2	1	2		◎						
EGM&S306国際経営学特講	選択 Elective	2	5	5	◎							○

※卒業要件外科目は、学科のディプロマ・ポリシーに基づく「身につく能力」との関連がないため記載していません。

■ Department of Global and Transcultural Studies (GTS) 国際キャリア学科

The educational aim of the Department of Global and Transcultural Studies is to teach students to understand the problems of global society. We therefore train students to have a good understanding of the fields of politics, economics, society and culture, to communicate in foreign languages, to learn how to work together with people living in a variety of environments, and to have the potential to exercise leadership roles.

教育目標 —国際キャリア学科は、グローバル社会の諸問題に対する、政治・経済・文化の各分野からの総合的な理解能力を涵養するとともに、多言語でのコミュニケーション能力を身につけ、多様な環境の下に生きる人々と協力し、リーダーシップを発揮できる能力を持つ人材を養成することを目標とする。

The following explanation of the curriculum focuses on students admitted in April. The rules of class enrollment differ somewhat for students admitted in September. Differences are noted below.

以下の記述は、基本的には 4 月入学生を対象としている。9 月入学生については履修の方法に相違がある。別途指示をするので注意すること。

Ⅰ. Credits necessary for graduation and their distribution

卒業に必要な単位数と科目の内訳

- Chart 1 below gives an overview of the credits that you need to earn in each course category in order to graduate. Credits for individual courses are given in parentheses. The number of credits for each category is the minimum needed to graduate.
- 国際キャリア学科を卒業するために修得しなければならない単位数ならびに科目の内訳は、後述の(表－1)卒業までに必要な単位数—科目の内訳の詳細—に示すとおりである。
- ここに示した単位数は、卒業するために修得しなければならない最低の基準であり、この範囲を超えて単位修得することを制限するものではない。
- 「卒業に必要な単位数」は、略して「卒業単位」と呼ぶことがある。

- In GTS we refer to students whose first or strongest language is English as “English Speakers” (ES) and to those whose first or strongest language is Japanese or any other language as “English Learners” (EL). As explained below, there are certain differences in the classes taken by ES and EL students.
- 本学科には、英語を基本言語とする学生（English Speaker – ES）と日本語を基本言語とする学生（English Learner – EL）の 2 つのタイプの学生が所属する。ES と EL で履修する科目が異なるので、充分に注意すること。

- In GTS, most students begin their studies in April, but some begin in September. As a result, there are differences in the standard pattern for enrollment and in the order that courses are taken. September-admission students in particular should pay attention to this point.
- また本学科には、４月入学生と９月入学生の 2 つのタイプの学生が所属する。４月入学生にとっては、各年次は春学期から始まり、秋学期で終了する。他方９月入学生にとっては、各年次は秋学期から始まり、春学期で終了する。科目履修に際し、４月入学生と９月入学生では履修のパターンや順序が異なることもありうるので、注意すること。

・ Some GTS departmental courses are available in your first semester of study. Other courses are only available in later semesters.
    - Academic English Courses: enrollment possible from the first semester
    - Lower-Division Departmental Courses: enrollment possible from the first semester
    - Upper-Division Departmental Courses: enrollment possible from the fourth semester

・ The chart below shows the pattern of semesters for students admitted in April and students admitted in September.

Year	1st Year		2nd Year		3rd Year		4th Year	
Semester number	1st semester	2nd semester	3rd semester	4th semester	5th semester	6th semester	7th semester	8th semester
April admission students	Spring semester	Fall semester	Spring semester	Fall semester	Spring semester	Fall semester	Spring semester	Fall semester
Sept. admission students	Fall semester	Spring semester	Fall semester	Spring semester	Fall semester	Spring semester	Fall semester	Spring semester

・ 本学科の学科科目の履修年次(学期)は下記の通りである。（下記の表参照）

① 学術英語科目：第 1 学期以降の履修

② 初級科目　　：第 1 学期以降の履修

③ 上級科目　　：第 4 学期以降の履修

年次	第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次	
学期（セメスター）	第 1 学期	第 2 学期	第 3 学期	第 4 学期	第 5 学期	第 6 学期	第 7 学期	第 8 学期
４月入学	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
９月入学	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期

Chart 1: Credits necessary for graduation and details of their distribution

Abbreviations: Cred. = Credits; Comp. = Compulsory; Elect. = Elective, C/E = Compulsory Elective

Category	Type		Cred.	Note
Meiji Gakuin Common Courses I (Compulsory Courses)				
Introduction to Christianity	Comp.	A	4	"Introduction to Christianity 1" and "Introduction to Christianity 2" are both required. 2 credits each for a total of 4 credits.
Intensive Japanese or Foreign Language	C/E	B	8	Students learning Japanese take Intensive Japanese, other students choose a foreign language (French, Chinese, German, Spanish, Korean). 8 credits required in total. GTS faculty will decide which students need to take Intensive Japanese. Ⓐ
Academic English Program (AEP)				
AEP I	Comp.	C	20	Required classes for first and second year students.
AEP II	Elect.	D	28	Classes offered for each of the four years. AEP faculty will test students' ability and decide which students can take Departmental Courses in place of some AEP II courses. A minimum of 28 credits are required. Any additional credits count towards the "free zone" category (L, below).
Departmental Classes: Lower Division				
Seminar Courses	Comp.	E	4	"Introductory Seminar" (4 credits)
Lecture Courses (Lower Division)	Elect.	F	16	Students choose from the two-credit and four-credit lower-division lecture courses. Any additional credits count towards the AEP II category (D, above).
Departmental Classes: Upper Division				
Lecture Courses: Upper Division	Comp.	G	2	"Life and Career Development" (2 credits) Ⓑ
Lecture Courses: Upper Division	Elect.	H	24	Choose from the two-credit and four-credit upper-division lecture courses. Any additional credits count towards the AEP II category (D, above).
Seminars and Practica	Comp.	I	2	"Graduation Seminar" (2 credits).
Seminars and Practica	C/E	J	4	Students choose either "Graduation Project A" (4 credits) or "Graduation Project B" (4 credits).
Seminars and Practica	C/E	K	4	Students choose from the following: "Field Study A," "Field Study B," "Field Study Seminar," "Internship A," "Internship B," "Internship C," "Independent Study A," "Independent Study B," "Independent Study C,""Research Project," "Project Seminar" for a total of at least 4 credits. Credits earned while studying abroad may be counted toward this category. Students who exceed 4 credits can count them toward AEP II (D, above).
Free zone				
Meiji Gakuin University General Education Courses II (Elective courses), GTS courses, International Studies Department courses, International Business Department courses, Kyoai Gakuen University transfer credits	Elect.	L	14	
Total number of credits needed for graduation:			130	

Notes to Chart 1 (English)

Ⓐ Students must get a total of 4 credits by enrolling for all four compulsory classes of foreign language [gaikokugo] 1A, 1B, 2A, 2B. Students must get a total of four credits by choosing two courses from the four compulsory／elective courses of foreign language studies [gaikokugo kenkyu] 1A, 1B, 2A, 2B. Students choosing Japanese Language must earn a total of eight credits from Intensive Japanese 1A-5B, a compulsory／elective course. The students may also choose to earn four credits from Intensive Japanese and four credits from Japanese Studies (1A, 1B, 2A, 2B, 3A, and 3B) to earn a total of eight credits.

Ⓑ Note to category G (Chart 1). Credits that you earn for courses taken while studying abroad may be used to substitute for the credits for Life and Career Development. However, the permission of the Associate Dean is required.

〔表－１〕卒業までに必要な単位数　— 科目の内訳の詳細 —

<table>
<tr><th>部門</th><th colspan="2">区分</th><th>必/選</th><th></th><th>単位</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="2">明治学院共通科目</td><td rowspan="2">明治学院共通科目Ⅰ（必修科目）</td><td>キリスト教科目</td><td>必修</td><td>A</td><td>4</td><td>Introduction to Christianity 1＆2（ｷﾘｽﾄ教の基礎A&B）各２単位　計４単位必修</td></tr>
<tr><td>外国語科目／集中日本語（＊1）</td><td>選択必修</td><td>B</td><td>8</td><td>外国語科目は、仏・中・独・西・韓の各言語から選択し、同一言語について８単位修得しなければならない。（＊2）</td></tr>
<tr><td rowspan="9">学科科目</td><td rowspan="2">学術英語科目</td><td>学術英語科目Ⅰ</td><td>必修</td><td>C</td><td>20</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>学術英語科目Ⅱ（＊3）</td><td>選択</td><td>D</td><td>28</td><td>英語基礎力の水準に応じて、修得すべき学術英語科目が指定される。この科目については、学科科目で代替しうる。
28単位超修得の場合、超過分はLへ算入される。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">初級科目</td><td>演習科目</td><td>必修</td><td>E</td><td>4</td><td>Introductory Seminar　4単位必修</td></tr>
<tr><td>講義科目</td><td>選択</td><td>F</td><td>16</td><td>16単位超修得の場合、超過分はDへ算入される。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">上級科目</td><td rowspan="2">講義科目</td><td>必修</td><td>G</td><td>2</td><td>Life and Career Development　（＊4）２単位必修</td></tr>
<tr><td>選択</td><td>H</td><td>24</td><td>24単位超修得の場合、超過分はDへ算入される。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">演習・実習科目</td><td>必修</td><td>I</td><td>2</td><td>Graduation Seminar　２単位必修</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選択必修</td><td>J</td><td>4</td><td>Graduation Project A または Graduation Project B いずれか４単位選択必修</td></tr>
<tr><td>K</td><td>4</td><td>Field Study A、Field Study B、Field Study Seminar、Internship A、Internship B、Internship C、Independent Study A、Independent Study B、Independent Study C、Research Project、Project Seminar のいずれか４単位選択必修（ただし、留学中に修得した単位をもって代替することもできる）。４単位超修得の場合、超過分はDへ算入される。</td></tr>
<tr><td>フリー</td><td colspan="2">明治学院共通科目Ⅱ（選択科目）、国際キャリア学科科目、国際学科科目、国際経営学科科目、共愛学園前橋国際大学単位互換</td><td>選択</td><td>L</td><td>14</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">合計</td><td>130</td><td></td></tr>
</table>

（＊1）外国語科目と集中日本語のいずれを選択するかは、学術英語担当教員との面談の上、担当者が決定する。

（＊2）外国語科目の場合、外国語 1A、1B、2A、2B の４単位は必修で、外国語研究 1A、1B、2A、2B の計８単位の中から４単位を選択必修とする。集中日本語の場合、集中日本語 1A～5B から８単位を選択必修、もしくは集中日本語 1A～5B から４単位と日本語研究 1A、1B、2A、2B、3A、3B から４単位の計８単位を選択必修とする。

（＊3）学術英語科目Ⅱのうち、どの科目を履修するかは、学術英語科目担当教員との面談の上で、担当者が決定する。

（＊4）Life and Career Development の単位は、留学中に修得した科目の単位をもって代替することができる。ただし、学科主任の判断による。

Ⅱ. Maximum number of credits allowed in each semester　履修単位数上限

- GTS students in their first and second years can enroll for no more than 23 credits in one semester, and no more than 46 credits in one year. From their third year onwards, students can enroll for no more than 24 credits in one semester, and no more than 48 credits in one year. However, this rule about maximum credit enrollment can be relaxed in special cases of students who have been approved by the Associate Dean.
  April entry students with special permission can take up to 25 credits in either their second or third semester of study, for a maximum of 48 credits a year. (For April entry students, the second semester is the fall semester of the first year, and the third semester is the spring semester of the second year.)
  September entry students with special permission can take up to 25 credits in either their second or fourth semester of study, for a maximum of 48 credits a year. (For September entry students, the second semester is the spring semester of the first year, and the fourth semester is the spring semester of the second year.)
- Students can transfer up to 60 credits earned on a study-abroad program.
- 本学科において、履修登録の上限は、1 年次と 2 年次においては各学期 23 単位、年間 46 単位、そして 3 年次以降においては各学期 24 単位、年間 48 単位とする。
  ただし、学科主任が適当と認める場合には、以下のように履修登録の上限が緩和されることがある。
  ･4 月入学者…第 2 学期または第 3 学期のいずれかにおいて 25 単位､年間 48 単位まで履修することができる。
  ＊第 2 学期＝1 年次秋学期　　第 3 学期＝2 年次春学期
  ･9 月入学者…第 2 学期または第 4 学期のいずれかにおいて 25 単位､年間 48 単位まで履修することができる。
  ＊第 2 学期＝1 年次春学期　　第 4 学期＝2 年次春学期
- また留学による単位認定の上限は、60 単位とする。

Ⅲ. Interruption of registered class　履修中止制度

- GTS department students are not allowed to stop taking the classes listed below as stipulated in section (g) of 「7. Interruption of registered class」in the course registration guide.
- 学修の手引き「履修」の「7．履修中止制度」において、履修中止ができない科目(a)～(g)のうち、(g)各学科において定めている履修中止の申請ができない科目は以下のとおりである。

Course name 科目名	
KCAEP101	Academic Reading A
KCAEP102	Academic Reading B
KCAEP103	Critical Inquiry & Writing A
KCAEP104	Critical Inquiry & Writing B
KCAEP201	Rhetoric & Research Writing A
KCAEP202	Rhetoric & Research Writing B
KCSEM101	Introductory Seminar
KCSEM201	Field Study Seminar
KCSEM202	Internship（Practicum）A
KCSEM203	Internship（Practicum）B
KCSEM204	Internship（Practicum）C
KCSEM205	Independent Study A
KCSEM206	Independent Study B

Course name 科目名	
KCSEM207	Independent Study C
KCSEM208	Field Study A
KCSEM209	Field Study B
KCGEN301	Life and Career Development
KCSEM301	Research Project
KCSEM401	Project Seminar
KCSEM402	Graduation Seminar
KCSEM403	Graduation Project A
KCSEM404	Graduation Project B

Ⅳ. Double-degree system　ダブル・ディグリー制度

- The double-degree system allows students to get credit for courses taken at Meiji Gakuin University and at another designated university. If students satisfy the graduation requirements of both universities, they are able to receive a degree from both universities. A detailed explanation of the system will be provided separately.
- ダブル・ディグリー制度において、明治学院大学および指定された他大学での一定必要単位を修得する事により、両大学の卒業要件修了を認め双方の大学の学位を取得する事ができる。詳細は別途案内するので、ダブル・ディグリー希望者は掲示等を見逃さないこと。

Ⅴ. Retaking Examinations　再試験

- GTS does not allow students in their final year to retake an examination in order to fulfill the requirements of credits needed to graduate. Students should take personal responsibility to plan their enrollment carefully to ensure that they have obtained all the credits required for graduation. Note that the “retake” examination (*saishiken*) referred to here is not the same as the “make-up” examination (*tsuishiken*). (Make-ups can be requested in cases such as when a student is ill and unable to take an examination.)
- 本学科においては、卒業判定に際して必要な単位を充たせなかった学生に対する救済的試験（いわゆる「再試験」）に類する制度は設けていない。各自の責任において、卒業に必要な単位の修得に遺漏のないよう、履修計画を慎重に立てること。

Ⅵ. Transfer credit system for Kyoai Gakuen University 共愛学園前橋国際大学単位互換制度

Transfer credit system for Kyoai Gakuen University
Refer to p. 24 for the transfer credits for Kyoai Gakuen University

1) Who can apply?
   This credit transfer system is open to first-year to fourth-year GTS students who began their studies in 2011 or later.
2) What courses can be taken?
   Credit can only be given for courses at another university that correspond to GTS departmental courses in the lower division or upper division
3) How many transfer credits can be approved?

(1) In one academic year, a maximum of 8 credits can be approved. These credits are included within the total number of credits that can be earned in each year.
(2) Up to 8 credits can be earned with this credit transfer system.
(3) Up to 8 credits can be counted toward the credits needed to fulfil graduation requirements.

4) How do these credits count toward graduation requirements?
Credits earned at another university are included in the "free zone" category. They are counted toward the credits needed to fulfil graduation requirements.

5) How do grades received for the courses appear in your grade transcript?
The courses are listed in the grade transcript like this: "Transfer course 1 (Kyoai Gakuen University," "Transfer course 1 (Kyoai Gakuen University)." The grade is converted to the grading system used by Meiji Gakuin University.

6) Important points to understand about the application process
Students who wish to use the credit transfer system should carefully read the requirements for applying for the courses. Students should understand the rules about the range or number courses that they are allowed to take, and how the courses will count toward graduation requirements. Before applying for courses, students should go to the Academic Affairs Division for further consultation.
When students have decided what courses they wish to take, they need to get the required application form from the Academic Affairs Division, submit the form by the deadline, and receive permission from the GTS Associate Dean.

「共愛学園前橋国際大学」単位互換制度のこと（P.24 の単位互換の項を参照）。

１） 対象学年

2011 年度生から適用するものとし、対象学年は１～４年次生。

２） 履修可能科目

他大学の提供科目中、本学科「学科科目」（専門科目）に相当する科目のみを対象とする。

３） 単位認定

① 年間に履修できる単位数 ８単位まで （年間履修制限単位に含む）
② 通算で履修できる単位数 ８単位まで
③ 卒業要件として認められる単位数 ８単位

４） 卒業要件上の位置づけ

他大学で修得した科目はフリーゾーンとして扱われ、卒業要件単位に組み込まれる。教職等の資格要件の科目には相当しない。

５） 認定方法

「単位互換科目１、２・・・」として、（　　）内に他大学名を記載し、本学の評価記号を適用させる。

６） 履修上の注意

単位互換制度の利用を希望する学生は、募集要項を参照して制度の詳細を理解した上で、他大学で履修できる科目の範囲・単位数および卒業要件上の位置付け等につき、事前に教務課の窓口にて説明を受けること。

履修を希望する場合は、所定の書類を添えて教務課の窓口に受付期間内に申請し、学科主任の許可を得ること。

Ⅶ. Overview of classes　授業科目一覧

The courses with "＊"mark before the course number are compulsory. You are required to take them.
科目番号の前に「＊」印が付されている科目は必修科目である。全ての学生が、必ず単位を修得しなければならない。

Meiji Gakuin University General Education Courses I (for a list of Meiji Gakuin University General Education Courses Ⅱ, see pages 41 to 48)
【A. 明治学院共通科目Ⅰ(必修科目)（明治学院共通科目Ⅱ（選択科目）については、41－48 ページを参照。)】

1. Introduction to Christianity　キリスト教科目

- "Introduction to Christianity" is a course required of all students in the university. It is taught to GTS students in English. It is taught over two semesters. Each part counts for 2 credits. Students must earn 4 credits. April-admission students take this course in their first and second semester of study. September-admission students take it in their second and third semester.
- 全学必修のキリスト教関連科目は 1 と 2 をそれぞれ 2 単位、計 4 単位を修得しなければならない。
  4 月入学生は第 1 学期と第 2 学期に履修する。他方、9 月入学生は、第 2 学期と第 3 学期に履修する。

Semester of study 配当セメスター		Course name 科目名	Credits 単位数	Offered 開講学期
April adm. 4 月入学	Sept. adm. 9 月入学			
1	2	＊MGCHR101 Introduction to Christianity 1 (ｷﾘｽﾄ教の基礎 A)	2	Spring 春
2	3	＊MGCHR102 Introduction to Christianity 2 (ｷﾘｽﾄ教の基礎 B)	2	Fall 秋

2. Foreign language classes　外国語科目 (excluding "Intensive Japanese")

- GTS students whose first or strongest language is Japanese (EL) must earn 8 credits in a foreign language other than English. They must choose a language from a choice of five (French, Chinese, German, Spanish, or Korean) and earn all 8 credits for courses in that language. When the names of language courses are marked A or B, this means that you should enroll for both part A and B, which are taught by the same teacher in the same period. Students who fail part A must retake part A. Students who fail part B must retake part B. Students must either take a foreign language or Intensive Japanese. If you entered the university in April and take a foreign language, you should enroll in the courses named "Gaikokugo" [Foreign Language] 1A, 1B, 2A, and 2B in your first and second semester. If you entered the university in September and take a foreign language, you must take the same courses in your second and third semester.
- The courses named "Gaikokugo Kenkyu" [Foreign Language Studies] can be taken from your third semester if you entered the university in April, and from your fourth semester if you entered the university in September. The column "Offered" in the chart of language classes below indicates if a course is offered in the spring or fall semester. For further details of how to take classes are given in note 2 to Chart 1 (Japanese version) above. When retaking a class, you must enroll for a class with the same course name, for example, if you failed a 2A class, you must retake a 2A class.
- 本学科の学生のうち、日本語を基本言語とする学生（EL）は、英語以外の外国語科目を 8 単位修得しなければならない。
- フランス語、中国語、ドイツ語、スペイン語、韓国語の 5 つの言語の中から選択し、同一言語について 8 単

位（外国語及び外国語研究）修得しなければならない。修得の仕方は、表－1 の*2 を参照すること。

- 各言語の A・B は、同一曜時限の同一担当者のクラスを履修すること。
- 再履修する場合は、未修得のものと同じ科目（末尾の英数字まで含む）を履修すること。
- 「外国語 1A・1B、2A・2B」については、4 月入学生は第 1 学期および第 2 学期に、9 月入学生は第 2 学期および第 3 学期に履修する。
- 「外国語研究」については、4 月入学生は第 3 学期から、9 月入学生は第 4 学期から履修することができる。

Course name 科 目 名	Credits 単位数	Offered 開講学期
French		
MGFRE101 ﾌﾗﾝｽ語 1A	1	春
MGFRE102 ﾌﾗﾝｽ語 1B	1	秋
MGFRE103 ﾌﾗﾝｽ語 2A	1	春
MGFRE104 ﾌﾗﾝｽ語 2B	1	秋
Chinese		
MGCHN101 中国語 1A	1	春
MGCHN102 中国語 1B	1	秋
MGCHN103 中国語 2A	1	春
MGCHN104 中国語 2B	1	秋
German		
MGGER101 ﾄﾞｲﾂ語 1A	1	春
MGGER102 ﾄﾞｲﾂ語 1B	1	秋
MGGER103 ﾄﾞｲﾂ語 2A	1	春
MGGER104 ﾄﾞｲﾂ語 2B	1	秋
Spanish		
MGSPN101 ｽﾍﾟｲﾝ語 1A	1	春
MGSPN102 ｽﾍﾟｲﾝ語 1B	1	秋
MGSPN103 ｽﾍﾟｲﾝ語 2A	1	春
MGSPN104 ｽﾍﾟｲﾝ語 2B	1	秋
Korean		
MGKOR101 韓国語 1A	1	春
MGKOR102 韓国語 1B	1	秋
MGKOR103 韓国語 2A	1	春
MGKOR104 韓国語 2B	1	秋

Course name 科 目 名	Credits 単位数	Offered 開講学期
Studies in French		
MGFRE211 ﾌﾗﾝｽ語研究 1A	2	春
MGFRE212 ﾌﾗﾝｽ語研究 1B	2	秋
MGFRE213 ﾌﾗﾝｽ語研究 2A	2	春
MGFRE214 ﾌﾗﾝｽ語研究 2B	2	秋
Studies in Chinese		
MGCHN211 中国語研究 1A	2	春
MGCHN212 中国語研究 1B	2	秋
MGCHN213 中国語研究 2A	2	春
MGCHN214 中国語研究 2B	2	秋
Studies in German		
MGGER211 ﾄﾞｲﾂ語研究 1A	2	春
MGGER212 ﾄﾞｲﾂ語研究 1B	2	秋
MGGER213 ﾄﾞｲﾂ語研究 2A	2	春
MGGER214 ﾄﾞｲﾂ語研究 2B	2	秋
Studies in Spanish		
MGSPN211 ｽﾍﾟｲﾝ語研究 1A	2	春
MGSPN212 ｽﾍﾟｲﾝ語研究 1B	2	秋
MGSPN213 ｽﾍﾟｲﾝ語研究 2A	2	春
MGSPN214 ｽﾍﾟｲﾝ語研究 2B	2	秋
Studies in Korean		
MGKOR211 韓国語研究 1A	2	春
MGKOR212 韓国語研究 1B	2	秋
MGKOR213 韓国語研究 2A	2	春
MGKOR214 韓国語研究 2B	2	秋

3. Intensive Japanese 集中日本語科目

- GTS students categorized as “English Speakers” (ES) rather than “English Learners” (EL) are required to take eight credits of Intensive Japanese. An exception is made for students who already have a sufficient knowledge of Japanese on entering the department. Such students are allowed to take another foreign language instead of Japanese. Students who reach a satisfactory level of Japanese are allowed to fulfill the remainder of the eight-credit requirement by taking Japanese Studies (1A, 1B, 2A, 2B, 3A, and 3B) of Meiji Gakuin University General Education Courses II. Students begin Intensive Japanese in their first semester of study.
- 国際キャリア学科の学生のうち、英語を基本言語とする学生（ES）は、原則として集中日本語を 8 単位修得しなければならない。ただし、履修開始時点で日本語の基礎力が充分にあると判断される場合には、集中日本語に代わり、外国語基本科目を履修することができる。また履修中に日本語の基礎力が基準に達した場合には、残りの科目を明治学院共通科目Ⅱの日本語研究 1A・1B、2A・2B、3A・3B をもって代替することができる。

  4 月入学生も 9 月入学生も第 1 学期から履修することができる。

Intensive Japanese 1A-5A		
Semester	Course name	Credits
1	MGJPN121　Intensive Japanese 1A 集中日本語１A	4
1	MGJPN123　Intensive Japanese 2A 集中日本語２A	4
1	MGJPN225　Intensive Japanese 3A 集中日本語３A	4
1	MGJPN227　Intensive Japanese 4A 集中日本語４A	4
1	MGJPN329　Intensive Japanese 5A 集中日本語５A	4

Intensive Japanese 1B-5B		
Semester	Course name	Credits
1	MGJPN122　Intensive Japanese 1B 集中日本語１B	4
1	MGJPN124　Intensive Japanese 2B 集中日本語２B	4
1	MGJPN226　Intensive Japanese 3B 集中日本語３B	4
1	MGJPN228　Intensive Japanese 4B 集中日本語４B	4
1	MGJPN330　Intensive Japanese 5B 集中日本語５B	4

【B】 Departmental Courses 学科科目

To find out when you can enroll for a course, see below for the overview of departmental courses by semester.
配当セメスターについては、後述の学科科目一覧を参照すること。

1.　Academic English Program (AEP) Courses 学術英語科目

・ Advanced content courses in this department are taught entirely in English. In order for you to acquire language skills at a level that will meet the needs of different academic disciplines, the Academic English Program (AEP) courses are concentrated in the first and second years. No matter what your level in English on entering the department, you are required to take AEP I and earn 20 credits for Academic Reading A・B, Critical Inquiry & Writing A・B and Rhetoric & Research Writing A・B. These classes will teach you to use English as a tool and to improve your basic study skills in understanding, analyzing, and integrating what you learn from lectures and written texts. They will also help you acquire the ability to think critically through training in discussion, debate, and report writing.
・ If you are an EL ("English Learner"), you must earn an additional 28 credits by taking AEP II courses. These English courses go beyond the study of the English language, and use a content-based approach to teaching.
・ 本学科は英語による専門教育を実施するため、特に各学問領域に必要とするレベルの英語の言語技能を習得させるため、1・2 年次に集中的に学術英語科目（AEP 科目）を置く。AEP 科目では、入学時の英語レベルに関係なく学科生全員に、学術英語科目Ⅰ（Academic Reading A・B、Critical Inquiry & Writing A・B、Rhetoric & Research Writing A・B）の科目を 20 単位必修とし、英語を手段として、講義・論文を正しく理解・分析・統合するための基礎学習能力の向上や、さらに応用的なディスカッション・ディベート・レポートの作成を通し、「批判的思考力」の習得を図る。
・ 日本語を基本言語とする学生（EL）は、追加的に 28 単位の学術英語科目Ⅱを履修すること。学術英語科目は単に学生に英語を習得させるのではなく、内容中心的アプローチ（content-based approach)を使った教授法を実施する。

(1) AEP I 学術英語科目Ⅰ (year 1 and year 2): all courses compulsory, 20 credits total needed

・ All GTS students must earn 20 credits in AEP I classes. These classes are taught in the first and second year.
・ 国際キャリア学科の全学生は、学術英語科目Ⅰを 20 単位修得しなければならない。
・ これらの科目は 1 年次履修と 2 年次履修に亘っているので注意すること。

AEP I courses 学術英語科目 Ⅰ	
Course name 科目名	Credits 単位数
First-year classes　１年次履修	
＊KCAEP101　Academic Reading A	2
＊KCAEP102　Academic Reading B	2

＊KCAEP103	Critical Inquiry & Writing A	4
＊KCAEP104	Critical Inquiry & Writing B	4
Second-year classes 2 年次履修		
＊KCAEP201	Rhetoric & Research Writing A	4
＊KCAEP202	Rhetoric & Research Writing B	4

(2) AEP II 学術英語科目Ⅱ

- Your English ability will be evaluated when you enter the department. Based on the results, you will be told which AEP II classes to take. 28 credits are required. All students are expected to take Presentation & Seminar Skills 1A/B and Presentation & Seminar Skills 2A/B. In special circumstances, if a student with a TOEFL score of 600 or higher can demonstrate through assessment the ability to participate successfully in a university setting where English is the language of instruction, that student may be exempted from Presentation & Seminar Skills 1A/B and (or) Presentation & Seminar Skills 2A/B. Critical Inquiry & Writing A/B and Tutorial 1A/B, and Rhetoric & Research Writing A/B and Tutorial 2A/B are paired courses and must be taken concurrently. All students will take the Capstone Project in Academic English A/B, in principle concurrently with Tutorial 3A/B. Note that these courses go from the first year through to the fourth year. Students may get credit for "Communication in the 21st Century" and "Communication in the 21st Century – Discussion Section" more than once as long as the classes are offered by different professors.
- 本学科の学生は、入学時の英語基礎力の判定結果に基づき、学術英語科目Ⅱのうち、どの科目を修得するかを、学術英語担当教員から指示される。その指示に従って、必要とされる科目を修得しなければならない。学術英語科目Ⅱの中で指示される科目は、最大で 28 単位である。すべての学生は Presentation & Seminar Skills 1A/B および Presentation & Seminar Skills 2A/B を履修しなければならない。しかし、特別な場合、すなわち、特定の学生の TOEFL スコアが 600 点以上で、英語を公用語としている本学科に十分に参加できる能力があると認められた場合、その学生は Presentation & Seminar Skills 1A/B および（または）Presentation & Seminar Skills 2A/B の履修が免除される。Critical Inquiry & Writing A/B と Tutorial 1A/B, Rhetoric & Research Writing A/B と Tutorial 2A/B は対になっているコースなので、同時に履修しなければならない。すべての学生は、Capstone Project in Academic English A/B と Tutorial 3A/B を、原則として同時に履修しなければならない。
- これらの科目は 1 年次から 4 年次に亘り履修することになるので、注意すること。
- Communication in the 21st Century と Communication in the 21st Century - Discussion Section は、担当者が異なれば、卒業要件として複数回修得することができる。

AEP II courses 学術英語科目Ⅱ		
Course name 科目名		Credits 単位数
First-year classes　１年次履修		
KCAEP105	Tutorial/Lab 1A	1
KCAEP106	Tutorial/Lab 1B	1
KCAEP107	Presentation & Seminar Skills 1A	4
KCAEP108	Presentation & Seminar Skills 1B	4
Second-year classes　２年次履修		
KCAEP203	Tutorial/Lab 2A	1
KCAEP204	Tutorial/Lab 2B	1
KCAEP205	Presentation & Seminar Skills 2A	4
KCAEP206	Presentation & Seminar Skills 2B	4

AEP II courses 学術英語科目Ⅱ	
Course name 科目名	Credits 単位数
Third-year classes　３年次履修	
KCAEP301　Tutorial 3A	1
KCAEP302　Tutorial 3B	1
KCAEP303　Capstone Project in Academic English A	2
KCAEP304　Capstone Project in Academic English B	2
Fourth-year classes　４年次履修	
KCAEP401　Tutorial 4A	1
KCAEP402　Tutorial 4B	1
Elective classes for 2nd-year students or above 2 年次選択	
KCAEP207　Communication in the 21st Century	2
KCAEP208　Communication in the 21st Century - Discussion Section	2

2. Departmental Courses: Lower Division 初級科目

(1) Seminar Courses 演習科目

- This course is compulsory for all GTS students. A total of 4 credits is required. This course is offered in your first year of study.
- 本学科の学生にとって、この科目は必修であり、4 単位を修得しなければならない。この科目は、1 年次に開講される。

Course name 科目名	Credits 単位数
＊KCSEM101　Introductory Seminar	4

(2) Lecture Courses 講義科目

- You need a total of 16 or more credits for Lower Division Lecture Courses.
- You are allowed to get credit for Current Affairs A or Current Affairs B more than once provided that the course is taught by an instructor other than the instructor who taught you before.
- 初級科目群の講義科目については、合計で 16 単位以上を修得しなければならない。
- Current Affairs A および Current Affairs B については、担当者が異なれば、卒業要件として複数回修得することができる。

Course name 科目名	Credits 単位数
KCGEN101　Information Literacy	2
KCGEN102　Current Affairs A	2
KCGEN103　Current Affairs B	2
KCGEN104　Internship（Lecture）	2
KCCUL101　Global History A	2
KCCUL102　Global History B	2
KCCUL103　Intercultural Communication	2
KCCUL104　Japanese Culture A	2
KCCUL105　Japanese Culture B	2
KCCUL106　Transcultural Studies	2

Course name 科目名		Credits 単位数
KCCUL107	Introduction to Area Studies	2
KCSOC101	Introduction to Sociology A	2
KCSOC102	Introduction to Sociology B	2
KCSOC103	Community Development (Service Learning)	2
KCSOC104	Introduction to Social Anthropology	2
KCECO101	Introduction to Economics A	2
KCECO102	Introduction to Economics B	2
KCECO103	Regional Economic Development	2
KCECO104	Labor Market in the Global Economy	2
KCPOL101	Introduction to Political Science	2
KCPOL102	Introduction to International Relations	2
KCPOL103	International Law A	2
KCPOL104	International Law B	2

3. Departmental Courses: Upper Division 上級科目

(1) Lecture Courses 講義科目

- It is compulsory to take Life and Career Development (2 credits) in this category. Credits earned while studying abroad may be counted toward this category.
- You must earn 26 credits for upper-division lecture courses.
- Students may get credit for Contemporary Global Issues A, Contemporary Global Issues B and Workshop more than once as long as the classes are offered by different professors.
- 上級科目群の講義科目は、Life and Career Development が 2 単位必修である（ただし、留学中に修得した単位をもって代替することもできる)。
- 上級科目群の講義科目については、上記の必修科目を含めて、合計で 26 単位以上を修得しなければならない。
- Contemporary Global Issues A と Contemporary Global Issues B および Workshop は、担当者が異なれば、卒業要件として複数回修得することができる。

Course name 科目名		Credits 単位数
KCGEN201	Workshop	2
KCGEN202	Contemporary Global Issues A	2
KCGEN203	Contemporary Global Issues B	2
KCGEN204	Qualitative Methods	2
KCGEN205	Quantitative Methods	2
KCGEN206	Advanced Research Analysis	2
＊KCGEN301	Life and Career Development	2
KCCUL201	Buddhist Culture	4
KCCUL202	Islamic Culture	2
KCCUL203	Japanese Literature	4
KCCUL204	Inter-Cultural History	2
KCCUL205	Modern East Asian History	4
KCCUL206	Visual Media Methods	2
KCCUL207	Translation and Interpretation A	2
KCCUL208	Translation and Interpretation B	2
KCCUL209	Japanese Popular Culture A	2

Course name 科目名		Credits 単位数
KCCUL210	Japanese Popular Culture B	2
KCCUL211	Contemporary Global History	2
KCCUL212	Advanced Japanese 1A	2
KCCUL213	Advanced Japanese 1B	2
KCCUL214	Advanced Japanese 2A	2
KCCUL215	Advanced Japanese 2B	2
KCCUL216	Career Japanese A	2
KCCUL217	Career Japanese B	2
KCSOC201	International Journalism	2
KCSOC202	Gender and Society	4
KCSOC203	Japanese Minority Groups	4
KCSOC204	Social Change and Planning(Service Learning)	2
KCSOC205	Contemporary Japanese Society	4
KCSOC206	Gender and Body	2
KCECO201	International Finance	2
KCECO202	International Political Economy	2
KCECO203	Contemporary Japanese Economy A	2
KCECO204	Contemporary Japanese Economy B	2
KCECO205	Chinese Economy	2
KCECO206	Regional Economic Integration	4
KCECO207	Behavioral Economics and Public Policy	2
KCECO208	Economy of South East Asia A	2
KCECO209	Special Topics in Economics	2
KCECO210	Labor Economics and Public Policy A	2
KCECO211	Labor Economics and Public Policy B	2
KCECO212	Social Entrepreneurship	2
KCPOL201	International Disputes Settlement Procedures	4
KCPOL202	Peace Studies	2
KCPOL203	Legal Issues in International Relations	2
KCPOL204	North American Politics and Society	2
KCPOL205	European Politics and Society	2
KCPOL206	Politics and Society in Japan	2
KCPOL207	East Asian Politics and Society	2
KCPOL208	Advanced Peace Studies	2

(2) Seminars and Practica　演習・実習科目

You are strongly recommended to participate either in a study-abroad program or in an internship program. These can begin from your fourth-semester of study onwards.

本学科は、学生が第 4 学期以降、海外留学をするか、あるいはインターンシップに参加することを強く奨励している。

a) Field Studies, Internships, Independent Studies

- You are required to earn at least four credits by taking one or more of the following: “Field Study A” (4 credits), “Field Study B” (2 credits), “Field Study Seminar” (2 credits), “Internship A” (4 credits), “Internship B” (2 credits), “Internship C” (1 credit), “Independent Study A” (4 credits), “Independent Study B” (2 credits), “Independent Study C” (1 credit) “Research Project” (2 credits), “Project Seminar” (2 credits). Credits earned while studying abroad can count towards this total.

- Students wanting to participate in Field Study must enroll for Field Study Seminar (2 credits) in the same semester as Field Study or the immediately preceding semester. Students may not enroll for only one of the courses. The Field Study Seminar provides an opportunity to study a region or society before going on the Field Trip. There are two types of Field Study, differing by length: Field Study A (approx. 2 weeks, 4 credits) and Field Study B (between one week and ten days, 2 credits).
- “Internship (Lecture) ” is a prerequisite for all internships. You will be required to work for more than 160 hours to pass Internship A (4 credits). You will be required to work for more than 80 hours to pass Internship B (2 credits). You will be required to work for more than 40 hours to pass Internship C (1 credit). To get credit for Internship (Practicum) A, B, C, you must enroll in and successfully complete the Internship class as well as the internship work activities. If it is not possible for students to attend class because of participating in internships in foreign countries or distant parts of Japan, we will use distance learning tools such as Skype.
- As there are many different types of internship programs, information will be given separately. Students interested in these programs should pay attention to announcements about briefing sessions.
- If you are interested in doing Independent Study A, B or C, consult with your academic adviser or the GTS Associate Dean. Students may get credit for Independent Study A , B or C more than once as long as the classes are offered by different professors.
- Field Study A（4 単位）、Field Study B（2 単位）、Field Study Seminar（2 単位）、Internship A（4 単位）、Internship B（2 単位）、Internship C（1 単位）、Independent Study A（4 単位）、Independent Study B（2 単位）、Independent Study C（1 単位）、Research Project（2 単位）、Project Seminar（2 単位）のうち、4 単位以上選択必修。ただし、留学中に修得した単位をもって代替することもできる。
- Field Study への参加を希望する学生は、Field Study Seminar（２単位）を Field Study が実施される学期と同一の学期かその直前の学期に履修しなければならない。どちらか一方の科目だけを履修することはできない。Field Study Seminar は訪問する地域や社会に関する事前学習で、Field Study は、滞在期間の長さによって Field Study A（約 2 週間、4 単位）、Field Study B（約 1 週間から 10 日、2 単位）の 2 種類がある。
- Internship A, B, C の履修を希望する学生は、Internship（Lecture）を Internship A, B, C を履修する前の学期までに修得済みでなければならない。Internship A （4 単位）の修得に関して、160 時間以上のインターンシップ実習をしなければならない。Internship B（2 単位）の修得は、80 時間以上のインターンシップ実習をしなければならない。Internship C（1 単位）の修得は、40 時間以上のインターンシップ実習をしなければならない。インターンシップ先が海外や遠隔地の場合は、スカイプなどの手段で遠隔指導を行う。
- インターンシップについては、様々な形態のものがあるので、詳細は別途案内する。インターンシップ履修希望者は掲示等を見逃さないこと。
- Independent Study A, B, C の履修を希望する学生は、事前にアカデミック・アドバイザーおよび学科主任の助言を受けなければならない。Independent Study A, B, C は、担当者が異なれば、卒業要件として複数回修得することができる。

b）Study Abroad　海外留学

- Credits earned while studying abroad can be counted towards the credits needed for graduation provided that they are earned for a course compatible with in the GTS curriculum, and which you have not taken already. The maximum possible number of credits in a study-abroad program is 60 credits. Your Academic Adviser will help you in deciding where to study abroad. While enrolled in the study-abroad program, assistance will be provided by the faculty member in charge of international exchange, your Academic Adviser, and the staff of the faculty office.
- 海外留学で修得した単位は、本学科ですでに修得している科目と重複しないもので、本学科で提供している科目に内容がほぼ該当する科目であれば、その内容を精査した上で可能な限り卒業単位として認定する。ただし、単位認定の上限は、60 単位とする。
- 留学先の選定は、専任教員からなるアカデミック・アドバイザーが助言をし、留学中は本学科の国際交流担当教員、アカデミック・アドバイザーおよび本学部事務室の職員が支援をする。

c) Graduation Seminar and Graduation Project

- The compulsory “Graduation Seminar” (2 credits) is usually taken in your last semester of study. This involves study with a professor who will direct you as you complete work on your “Graduation Project” (4 credits). You have a choice between two types. “Graduation Project A” requires you to submit a thesis in English of 6,000 words or more, while “Graduation Project B” allows for submission of a portfolio of essays or case studies or submission of a project involving non-traditional media, such as a web-site, software, a film, DVD, or designs. Projects are typically begun in your third year of study and continue into your fourth year. Your Academic Adviser will give you advice about which professor could best guide you in your project. In general, it takes more than a year to complete a “Graduation Project” so that you are required to take “Research Project” (2 credits) in the 6th semester and “Project Seminar” (2 credits) at the 7th semester unless you are studying abroad.
- 上級科目群の演習・実習科目については、Graduation Seminar（2 単位）が必修である。この科目は、原則として 4 年間の在学期間中の最終学期(第 8 学期)において履修することになる。
- 卒業プロジェクトとして Graduation Project A あるいは Graduation Project B のいずれか 4 単位を選択必修科目として修得しなければならない。Project A では、英語による論文（6,000 ワード以上）を作成することが課せられ、他方 Project B では、4 年生までに様々な科目で書いた小論文を再検討、再構成した Portfolio や事例研究、特定のプロジェクトの実践とその報告の論文の提出か、Non-traditional media によるもの（ウエブサイト、ソフトウエア、映画ないし DVD、設計図等）の制作が課される。
- 卒業プロジェクト(Graduation Project A or B)を完成させるために、学生は特定の教員の Graduation Seminar を選択し、最終学期（第 8 学期）に週 1 コマの指導を受ける。なお、卒業プロジェクトの準備には通常 1 年以上かかるため、第 6 セメスターと第 7 セメスターにおいて留学中でない場合、3 年次（第 6 セメスター）においては Research Project（２単位）、そして 4 年次（第 7 セメスター）においては Project Seminar（２単位）の履修が要求される。

	Course name 科目名	Credits 単位数
KCSEM201	Field Study Seminar	2
KCSEM202	Internship（Practicum）A	4
KCSEM203	Internship（Practicum）B	2
KCSEM204	Internship（Practicum）C	1
KCSEM205	Independent Study A	4
KCSEM206	Independent Study B	2
KCSEM207	Independent Study C	1
KCSEM208	Field Study A	4
KCSEM209	Field Study B	2
KCSEM301	Research Project	2
KCSEM401	Project Seminar	2
＊KCSEM402	Graduation Seminar	2
KCSEM403	Graduation Project A	4
KCSEM404	Graduation Project B	4

【C】Courses offered by the Department of International Studies　国際学科科目

- The following courses from the Department of International Studies can be taken by GTS students as part of the “free zone” category up to 14 credits including Meiji Gakuin Common Course II and the courses provided by the other departments and can be counted toward the 130 credits needed for graduation. These courses are taught in Japanese.
- 以下の国際学科科目は、フリーゾーン科目として、明治学院共通科目Ⅱおよび他の他学科科目との合計で、14 単位まで本学科の卒業単位に含めることができる。

Course name 科目名		Credits 単位数
KSCSO201	言語表現法	4
KSCSO204	現代文明論	4
KSCSO211	比較文化論	4
KSCSO217	地誌概説１	2
KSCSO218	地誌概説２	2
KSCSO219	文化人類学	4
KSCSO220	ヨーロッパ芸術論	4
KSCSO221	文化交渉史	4
KSCSO222	異文化コミュニケーション	4
KSCSO224	英語学概論	4
KSECO204	南北問題	4
KSECO211	国際経済論	4
KSECO212	日本経済論	4
KSECO213	社会調査法	2
KSEC0215	環境学原論	2
KSEC0216	ミクロ経済学	2
KSEC0217	マクロ経済学	2
KSPOL206	国際法	4
KSPOL208	社会学原論	4
KSPOL209	法学原論	4
KSPOL210	比較政治学	4
KSPOL212	国際関係論	4
KSPOL213	日本政治論	4
KSPOL214	平和学１	4
KSGEN261	国際学特講１	2
KSCSO305	現代文学論	4
KSCSO307	情報社会論	4
KSCSO312	日本文化論	4
KSCSO316	仏教文化論	4
KSCSO317	キリスト教文化論	4
KSCSO318	イスラム教文化論	4
KSCSO322	日本語教授法	4
KSCSO323	英語教育学	4
KSCSO326	民俗学	2
KSCSO327	応用言語学	4
KSECO305	比較経済史	4
KSECO306	社会開発論	4
KSECO308	国際金融論	4
KSECO310	環境経済論	4
KSECO312	地域経済論	2
KSECO314	農業経済・食糧論	4
KSECO316	データ分析概論	2
KSECO317	エネルギー資源論	4
KSPOL307	国際関係法	4
KSPOL309	比較政策論	4
KSPOL312	平和学２	4
KSPOL316	政治社会学	4
KSPOL317	平和・紛争研究	4

Course name 科目名		Credits 単位数
KSPOL318	ジェンダー論	4
KSPOL319	国際政治学	4
KSPOL320	国際政治史	4
KSREG302	東南アジア地域研究	4
KSREG305	オセアニア地域研究	4
KSREG307	ヨーロッパ地域研究	4
KSREG308	中・南米地域研究	4
KSREG309	アフリカ地域研究	4
KSREG310	東北アジア地域研究(文化)	2
KSREG311	東北アジア地域研究(政治)	2
KSREG312	東北アジア地域研究(経済)	4
KSREG315	南アジア地域研究 A	2
KSREG316	南アジア地域研究 B	2
KSREG317	アメリカの文化と社会	4
KSREG318	ヨーロッパ経済論	4
KSREG319	イギリスの文化と社会	4
KSREG320	アメリカ文学概論	4
KSREG321	イギリス文学概論	4
KSREG322	アジア地域秩序	4
KSREG323	西アジア地域研究	4
KSGEN364	国際学特講２	2

【D】Courses offered by the Department of International Business　国際経営学科科目

- The following courses from the Department of International Business can be taken by GTS students as part of the "free zone" category up to 14 credits including Meiji Gakuin Common Courses II and the courses provided by the other departments.
- 以下の国際経営学科科目は、フリーゾーン科目として、明治学院共通科目Ⅱおよび他の他学科科目との合計で、14 単位まで本学科の卒業単位に含めることができる。

Course name 科目名	Credits 単位数
EGM&S101　ビジネス入門	2
EGA&F101　アカウンティング入門	2
EGM&S306　国際経営学特講	2

【E】Meiji Gakuin University General Education Courses II (Elective Courses)
明治学院共通科目Ⅱ（選択科目）

- You can enroll in courses in the "free zone" category. Up to 14 credits can be counted toward the credits needed for graduation. As there is a wide range of courses with some rules as to enrollment, you should consult your Academic Adviser or the Academic Affairs Division before signing up for classes. When enrolling for classes, make sure that you carefully read pp. 29–50 of this curriculum. If you are planning to apply for the Double Degree program, it may be advantageous for you to take some of these classes. For further information you should attend the Double Degree Orientation sessions and get the advice of your academic adviser.
- For a list of Meiji Gakuin University General Education Courses Ⅱ(Elective Courses), see pages 29 to 50. With some exceptions, most of these courses are taught in Japanese.
- 明治学院共通科目Ⅱ（選択科目）の科目履修については、科目が多岐に亘り、また履修の仕方が多様なので、科目履修に際しては、アカデミック・アドバイザーおよび教務課に相談すること。また履修にあたっては、本履修要項の 29 ページから 51 ページを熟読すること。
- 明治学院共通科目Ⅱ（選択科目）の科目は、フリーゾーン科目として、本学科の卒業単位に含めることができる。
- また、二重学位の取得を希望する学生は、明治学院共通科目Ⅱ（選択科目）を一定程度履修する必要があるので、関連するオリエンテーションに出席し、かつその科目履修に当たっては適宜アカデミック・アドバイザーの指導を受けること。
- 明治学院共通科目Ⅱ（選択科目）のほとんどは日本語で開講される。

GTS courses: Overview showing semester when the course is first available

国際キャリア学科　　学科科目一覧

This chart shows you when you can first take a class. This is indicated by semester number, which differs depending whether you were admitted to GTS in April or Semester. The chart also shows the number of credits for compulsory or elective courses. As KC4007 “Graduation Seminar” is to be taken in your last semester in GTS, it has been assigned to the 8th semester.

配当セメスター

配当セメスター欄の数字は、第何学期よりその科目が履修可能になるかを示している。

また、配当は入学した学期（４月入学または９月入学）によって異なるので、自身に該当する欄を参照する事。４月入学者は第一学期が春学期にあたり、９月入学者は第一学期が秋学期にあたる。

なお KC4007Graduation Seminar は、最終学期での履修となるため、８学期目に配当される。

Category 科目区分		Course name 授業科目の名称	Semester no. 配当セメスター April 4月入学	Sept. 9月入学	Credits 単位数 Compul. 必修	Elective 選択
Academic English Program (AEP)						
学術英語科目	AEP I					
	学術英語科目I	KCAEP101 Academic Reading A	1	2	2	
		KCAEP102 Academic Reading B	2	1	2	
		KCAEP103 Critical Inquiry & Writing A	1	2	4	
		KCAEP104 Critical Inquiry & Writing B	2	1	4	
		KCAEP201 Rhetoric & Research Writing A	3	4	4	
		KCAEP202 Rhetoric & Research Writing B	4	3	4	
		小計（6 科目） Subtotal (6 courses)			*20*	
	AEP II					
	学術英語科目Ⅱ	KCAEP105 Tutorial/Lab 1A	1	2		1
		KCAEP106 Tutorial/Lab 1B	2	1		1
		KCAEP107 Presentation & Seminar Skills 1A	1	2		4
		KCAEP108 Presentation & Seminar Skills 1B	2	1		4
		KCAEP203 Tutorial/Lab 2A	3	4		1
		KCAEP204 Tutorial/Lab 2B	4	3		1
		KCAEP205 Presentation & Seminar Skills 2A	3	4		4
		KCAEP206 Presentation & Seminar Skills 2B	4	3		4
		KCAEP207 Communication in the 21st Century	3	3		2
		KCAEP208 Communication in the 21st Century - Discussion Section	3	3		2
		KCAEP301 Tutorial 3A	5	6		1
		KCAEP302 Tutorial 3B	6	5		1
		KCAEP303 Capstone Project in Academic English A	5	6		2
		KCAEP304 Capstone Project in Academic English B	6	5		2
		KCAEP401 Tutorial 4A	7	8		1
		KCAEP402 Tutorial 4B	8	7		1
		小計（16 科目） Subtotal (16 courses)				*32*

Category 科目区分		Course name 授業科目の名称	Semester no. 配当セメスター		Credits 単位数	
			April 4月入学	Sept. 9月入学	Compul. 必修	Elective 選択
Lower-Division Classes						
初級科目	Seminar Classes					
	演習科目	KCSEM101 Introductory Seminar	1	2	4	
		小計（1 科目） Subtotal (1 course)			*4*	
	Lecture Classes					
	講義科目	KCGEN101 Information Literacy	1	1		2
		KCGEN102 Current Affairs A	1	1		2
		KCGEN103 Current Affairs B	1	1		2
		KCGEN104 Internship（Lecture）	1	1		2
		KCCUL101 Global History A	1	1		2
		KCCUL102 Global History B	1	1		2
		KCCUL103 Intercultural Communication	1	1		2
		KCCUL104 Japanese Culture A	1	1		2
		KCCUL105 Japanese Culture B	1	1		2
		KCCUL106 Transcultural Studies	1	1		2
		KCCUL107 Introduction to Area Studies	1	1		2
		KCSOC101 Introduction to Sociology A	1	1		2
		KCSOC102 Introduction to Sociology B	1	1		2
		KCSOC103 Community Development (Service Learning)	1	1		2
		KCSOC104 Introduction to Social Anthropology	1	1		2
		KCECO101 Introduction to Economics A	1	1		2
		KCECO102 Introduction to Economics B	1	1		2
		KCECO103 Regional Economic Development	1	1		2
		KCECO104 Labor Market in the Global Economy	1	1		2
		KCPOL101 Introduction to Political Science	1	1		2
		KCPOL102 Introduction to International Relations	1	1		2
		KCPOL103 International Law A	1	1		2
		KCPOL104 International Law B	1	1		2
		小計（23 科目） Subtotal (23 courses)				*46*
Upper-Division Courses						
上級科目	Upper-Division Lectures					
	講義科目	KCGEN201 Workshop	4	4		2
		KCGEN202 Contemporary Global Issues A	4	4		2
		KCGEN203 Contemporary Global Issues B	4	4		2
		KCGEN204 Qualitative Methods	4	4		2
		KCGEN205 Quantitative Methods	4	4		2
		KCGEN206 Advanced Research Analysis	4	4		2
		KCGEN301 Life and Career Development	5	4	2	
		KCCUL201 Buddhist Culture	4	4		4
		KCCUL202 Islamic Culture	4	4		2
		KCCUL203 Japanese Literature	4	4		4

Category 科目区分		Course name 授業科目の名称	Semester no. 配当セメスター		Credits 単位数	
			April 4月入学	Sept. 9月入学	Compul. 必修	Elective 選択
上級科目	講義科目	KCCUL204 Inter-Cultural History	4	4		2
		KCCUL205 Modern East Asian History	4	4		4
		KCCUL206 Visual Media Methods	4	4		2
		KCCUL207 Translation and Interpretation A	4	4		2
		KCCUL208 Translation and Interpretation B	4	4		2
		KCCUL209 Japanese Popular Culture A	4	4		2
		KCCUL210 Japanese Popular Culture B	4	4		2
		KCCUL211 Contemporary Global History	4	4		2
		KCCUL212 Advanced Japanese 1A	4	4		2
		KCCUL213 Advanced Japanese 1B	4	4		2
		KCCUL214 Advanced Japanese 2A	4	4		2
		KCCUL215 Advanced Japanese 2B	4	4		2
		KCCUL216 Career Japanese A	4	4		2
		KCCUL217 Career Japanese B	4	4		2
		KCSOC201 International Journalism	4	4		2
		KCSOC202 Gender and Society	4	4		4
		KCSOC203 Japanese Minority Groups	4	4		4
		KCSOC204 Social Change and Planning(Service Learning)	4	4		2
		KCSOC205 Contemporary Japanese Society	4	4		4
		KCSOC206 Gender and Body	4	4		2
		KCECO201 International Finance	4	4		2
		KCECO202 International Political Economy	4	4		2
		KCECO203 Contemporary Japanese Economy A	4	4		2
		KCECO204 Contemporary Japanese Economy B	4	4		2
		KCECO205 Chinese Economy	4	4		2
		KCECO206 Regional Economic Integration	4	4		4
		KCECO207 Behavioral Economics and Public Policy	4	4		2
		KCECO208 Economy of South East Asia A	4	4		2
		KCECO209 Special Topics in Economics	4	4		2
		KCECO210 Labor Economics and Public Policy A	4	4		2
		KCECO211 Labor Economics and Public Policy B	4	4		2
		KCECO212 Social Entrepreneurship	4	4		2
		KCPOL201 International Disputes Settlement Procedures	4	4		4
		KCPOL202 Peace Studies	4	4		2
		KCPOL203 Legal Issues in International Relations	4	4		2
		KCPOL204 North American Politics and Society	4	4		2
		KCPOL205 European Politics and Society	4	4		2
		KCPOL206 Politics and Society in Japan	4	4		2
		KCPOL207 East Asian Politics and Society	4	4		2
		KCPOL208 Advanced Peace Studies	4	4		2
		小計（49 科目） Subtotal (49 courses)			*2*	*112*
	Seminars and Practica					
	演習・実習	KCSEM201 Field Study Seminar	3	3		2
		KCSEM202 Internship（Practicum） A	3	3		4
		KCSEM203 Internship（Practicum） B	3	3		2
		KCSEM204 Internship（Practicum） C	3	3		1

Category 科目区分		Course name 授業科目の名称		Semester no. 配当セメスター April 4月入学	Sept. 9月入学	Credits 単位数 Compul. 必修	Elective 選択
	科目	KCSEM205	Independent Study A	4	4		4
		KCSEM206	Independent Study B	4	4		2
		KCSEM207	Independent Study C	4	4		1
		KCSEM208	Field Study A	4	4		4
		KCSEM209	Field Study B	4	4		2
		KCSEM301	Research Project	6	6		2
		KCSEM401	Project Seminar	7	7		2
		KCSEM402	Graduation Seminar	8	8	2	
		KCSEM403	Graduation Project A	8	8		4
		KCSEM404	Graduation Project B	8	8		4
			小計（14 科目） Subtotal (14 courses)			*2*	*34*
Courses offered by the Department of International Studies							
学部共通科目	国際学科目						
	講義科目	KSCSO201	言語表現法	2	2		4
		KSCSO204	現代文明論	2	2		4
		KSCSO211	比較文化論	2	2		4
		KSCSO217	地誌概説 1	2	2		2
		KSCSO218	地誌概説 2	2	2		2
		KSCSO219	文化人類学	2	2		4
		KSCSO220	ヨーロッパ芸術論	2	2		4
		KSCSO221	文化交渉史	2	2		4
		KSCSO222	異文化コミュニケーション	2	2		4
		KSCSO224	英語学概論	2	2		4
		KSECO204	南北問題	2	2		4
		KSECO211	国際経済論	2	2		4
		KSECO212	日本経済論	2	2		4
		KSECO213	社会調査法	2	2		2
		KSEC0215	環境学原論	2	2		2
		KSEC0216	ミクロ経済学	2	2		2
		KSEC0217	マクロ経済学	2	2		2
		KSPOL206	国際法	2	2		4
		KSPOL208	社会学原論	2	2		4
		KSPOL209	法学原論	2	2		4
		KSPOL210	比較政治学	2	2		4
		KSPOL212	国際関係論	2	2		4
		KSPOL213	日本政治論	2	2		4
		KSPOL214	平和学 1	2	2		4
		KSGEN261	国際学特講 1	2	2		2
		KSCSO305	現代文学論	4	4		4
		KSCSO307	情報社会論	4	4		4
		KSCSO312	日本文化論	4	4		4
		KSCSO316	仏教文化論	4	4		4
		KSCSO317	キリスト教文化論	4	4		4
		KSCSO318	イスラム教文化論	4	4		4
		KSCSO322	日本語教授法	4	4		4

Category 科目区分		Course name 授業科目の名称	Semester no. 配当セメスター		Credits 単位数	
			April 4月入学	Sept. 9月入学	Compul. 必修	Elective 選択
		KSCSO323　英語教育学	4	4		4
		KSCSO326　民俗学	4	4		2
		KSCSO327　応用言語学	4	4		4
		KSECO305　比較経済史	4	4		4
		KSECO306　社会開発論	4	4		4
		KSECO308　国際金融論	4	4		4
		KSECO310　環境経済論	4	4		4
		KSECO312　地域経済論	4	4		2
		KSECO314　農業経済・食糧論	4	4		4
		KSECO316　データ分析概論	4	4		2
		KSECO317　エネルギー資源論	4	4		4
		KSPOL307　国際関係法	4	4		4
		KSPOL309　比較政策論	4	4		4
		KSPOL312　平和学２	4	4		4
		KSPOL316　政治社会学	4	4		4
		KSPOL317　平和・紛争研究	4	4		4
		KSPOL318　ジェンダー論	4	4		4
		KSPOL319　国際政治学	4	4		4
		KSPOL320　国際政治史	4	4		4
		KSREG302　東南アジア地域研究	4	4		4
		KSREG305　オセアニア地域研究	4	4		4
		KSREG307　ヨーロッパ地域研究	4	4		4
		KSREG308　中・南米地域研究	4	4		4
		KSREG309　アフリカ地域研究	4	4		4
		KSREG310　東北アジア地域研究(文化)	4	4		2
		KSREG311　東北アジア地域研究(政治)	4	4		2
		KSREG312　東北アジア地域研究(経済)	4	4		4
		KSREG315　南アジア地域研究 A	4	4		2
		KSREG316　南アジア地域研究 B	4	4		2
		KSREG317　アメリカの文化と社会	4	4		4
		KSREG318　ヨーロッパ経済論	4	4		4
		KSREG319　イギリスの文化と社会	4	4		4
		KSREG320　アメリカ文学概論	4	4		4
		KSREG321　イギリス文学概論	4	4		4
		KSREG322　アジア地域秩序	4	4		4
		KSREG323　西アジア地域研究	4	4		4
		KSGEN364　国際学特講２	4	4		2
		小計（69 科目） Subtotal (69 courses)				*246*

Courses offered by the Department of International Business						
	国際経営学科目					
	講義科目	EGM&S101　ビジネス入門	1	2		2
		EGA&F101　アカウンティング入門	1	2		2
		EGM&S306　国際経営学特講	5	5		2
		小計（3 科目） Subtotal (3 courses)				*6*

諸資格

社会福祉主事任用資格

社会福祉主事任用資格が取得できる学科

社会福祉主事任用資格は、すべての学科の学生が取得することができます。

社会福祉主事の職務

国、地方公共団体、社会福祉法人など社会福祉事業を経営する者は、福祉サービスを必要としている人たちが心身ともに健やかに育成され、または社会、経済、文化その他の活動に参加する機会が与えられ、その年令、環境、心身の状況に応じて、地域において必要な福祉サービスを提供できるようにしなければなりません。このことに基づき、地方公共団体は、福祉に関する事務所を設置しており、ここには社会福祉主事をおくよう社会福祉法において義務づけられています。

社会福祉主事は、その事務所において生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、及び知的障害者福祉法の定める援護、育成または更生の措置に関する事務を行うことを職務としています。

社会福祉主事任用資格を得るには

20歳以上の者で、人格高潔で思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり、かつ下記1～3のいずれかに該当する者が任用資格を得られます。**任用資格とは、公務員試験に合格して公務員となった者にあてはまるものであり、この要件が満たされなければ社会福祉主事にはなれません。**

1. 大学において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修め卒業した者
2. 厚生労働大臣の指定する養成機関又は講習会の課程を修了した者
3. 厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した者

本学学生は、次ページに挙げる**『社会福祉法に定める科目』を3科目以上修得**することで、社会福祉主事任用資格を得ることができます。『社会福祉法に定める科目』に対し、『本学で開講している科目』を表記していますので、これらの科目を修得してください。

『本学で開講している科目』について、その科目を履修することができる学科を「○」で示しています、各科目の履修に際しては条件が付される場合もあります。詳しくは所属学部の履修要項でご確認ください。なお表では学科名称に略称を用いています。(LE：英文学科、LF:フランス文学科、LA:芸術学科、EE:経済学科、EB：経営学科、EG：国際経営学科、SG：社会学科、SW:社会福祉学科、JU：法律学科、JC：消費情報環境法学科、JP:政治学科、JG：グローバル法学科、KS：国際学科、KC：国際キャリア学科、PS：心理学科、PE：教育発達学科)

本資格の取得要件を満たしている方には、証明書を発行いたします。お求めになる場合は教務部までお問い合わせください。

社会福祉主事の資格に関する科目（2020 年度生）

社会福祉法に定める科目名	本学で開講している科目名	履修できる学科　（2020 年度入学生）															
		LE	LF	LA	EE	EB	EG	SG	SW	JU	JC	JP	JG	KS	KC	PS	PE
社会福祉概論	SWBAS101 社会福祉学概論 A SWBAS102 社会福祉学概論 B								○								
	MGSWS101 社会福祉学 1 MGSWS102 社会福祉学 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会福祉援助技術論	SWSWP201 ｿｰｼｬﾙﾜｰｸ 1A								○								
社会福祉調査論	SWBAS204 社会福祉調査								○								
	SGBAS103 社会調査の基礎							○									
	J-STS200 社会調査論											○					
	KSEC0213 社会調査法													○			
社会福祉行政論	SWSPA203 社会福祉法制							○	○								
	SWSPA307 福祉行財政と福祉計画							○	○								
社会保障論	SWSPA201 社会保障論 A SWSPA202 社会保障論 B				○	○	○	○	○								
公的扶助論	SWSPA305 公的扶助論 A							○	○								
児童福祉論	SWAVF203 児童福祉論 A SWAVF301 児童福祉論 B							○	○								
	PEDSP304 子ども家庭福祉																○
家庭福祉論	SWAVF307 家庭福祉論							○	○								
身体障害者福祉論	SWAVF206 身体障害者福祉論							○	○								
知的障害者福祉論	SWAVF207 知的障害者福祉論							○	○								
精神障害者保健福祉論	PSADL312 精神疾患とその治療																
老人福祉論	SWAVF204 高齢者福祉論 A SWAVF303 高齢者福祉論 B							○	○								
地域福祉論	SWAVF309 地域福祉論 A							○	○								
法学	MGLAW101 法学(日本国憲法を含む)1 MGLAW102 法学(日本国憲法を含む)2	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○	○
	KSPOL209 法学原論													○			
民法	J-CIL201 民法 A J-CIL202 民法 B				○	○	○	○	○			○				○	
	J-CIL111 民法総則 1 J-CIL212 民法総則 2									○	○	○	○				
行政法	J-PUL221 行政法 A J-PUL222 行政法 B				○	○	○	○	○								
	J-PUL221 行政法 1-1 J-PUL222 行政法 1-2									○	○	○	○				
	J-PUL321 行政法 2-1 J-PUL322 行政法 2-2									○	○	○	○				
経済学	EBBUS102 経済学概論 1 EBBUS103 経済学概論 2					○	○	○	○	○	○	○	○				
	EEPOL301 財政学 1 EEPOL302 財政学 2				○	○	○			○	○	○					
	EEPOL201 ﾐｸﾛ経済政策				○	○	○					○					
	EEPOL202 ﾏｸﾛ経済政策				○	○	○					○					
	KSEC0216 ミクロ経済学 KSEC0217 マクロ経済学													○			
社会政策	EEISS301 労働経済学 1 EEISS302 労働経済学 2				○	○	○										
	SWSPA204 社会政策論 A SWSPA205 社会政策論 B								○								
心理学	SWOPN201 心理学概論								○								
	PEBAR101 心理学総論																○
社会学	SGBAS101 社会学概論 A SGBAS102 社会学概論 B	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	SWOPN101 社会学概論								○								
	KSPOL208 社会学原論													○			
教育学	TCBAS902 教育の思想と歴史	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	
	PEBAR102 教育原論																○
医学一般	SWUCL305 医学知識								○								
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ論	PEDSP305 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ論																○
介護概論	SWSWP205 介護概論								○								

（注1）『本学で開講している科目』がない『社会福祉法に定める科目』は上記の表に掲載していません。
（注2）『本学で開講している科目』において、科目名の後にA・B、1・2が付されている科目は、2科目セットで修得しなければ『社会福祉法に定める科目』1科目と数えることができません。
（注3）『社会福祉法に定める科目』の同じ区分で、本学で開講している科目を複数科目修得しても、1科目と数えます。
（例えば、社会福祉学科生が「社会福祉学概論A・B」と「社会福祉学1・2」の合計4科目を修得した場合は、『社会福祉法に定める科目』の『社会福祉概論』1科目の修得と数えます。）
（注4）『社会福祉学1・2』および「法学（日本国憲法を含む）1・2」は、明治学院共通科目にある科目を履修してください。

学部学科等の

科目群・学問分野コード表

（2020 年 4 月 1 日時点）

文学部

科目群コード	学部・学科等	科目群名称
LEBES	英文学科	英語基礎科目
LEAES	英文学科	英語発展科目（Ａ群・Ｂ群）
LEBRL	英文学科	イギリス文学コース科目
LEAML	英文学科	アメリカ文学コース科目
LELIN	英文学科	英語学コース科目
LECRS	英文学科	関連科目・文学部共通科目
LEETE	英文学科	英語教育科目
LEGRA	英文学科	卒業論文
LFEFB	フランス文学科	フランス学基礎科目
LFELF	フランス文学科	フランス語科目
LFFAL	フランス文学科	フランス学発展科目（ことばと文学）
LFFAP	フランス文学科	フランス学発展科目（思想と社会）
LFFAA	フランス文学科	フランス学発展科目（芸術と文化）
LFSEM	フランス文学科	専門演習
LFMEM	フランス文学科	卒業論文
LFLTJ	フランス文学科	文学部共通科目（日本文学（専））
LFLTE	フランス文学科	文学部共通科目（西洋文学）
LFCIN	フランス文学科	文学部共通科目（異文化理解）
LFLAT	フランス文学科	文学部共通科目（ラテン語）
LFPLF	フランス文学科	教職に関する科目
LAART	芸術学科	各コース共通科目
LAMUS	芸術学科	音楽学コース関係科目
LAFIL	芸術学科	映像芸術学コース関係科目
LAFAH	芸術学科	美術史学コース関係科目
LAMED	芸術学科	芸術メディア論コース関係科目
LATHE	芸術学科	演劇身体表現コース関係科目
LACOM	芸術学科	総合芸術学コース関係科目
LAGEN	芸術学科	文学部共通科目
LACUR	芸術学科	学芸員課程科目
LXCRS	文学部共通	—
TCBAS	教職課程	教育の基礎的理解に関する科目
TCTEA	教職課程	教科及び教科の指導法に関する科目
TCTHE	教職課程	道徳、総合的な学習の時間などの指導、生徒指導、教育相談に関する科目
TCPRA	教職課程	教育実践に関する科目
TCUNI	教職課程	大学が独自に設定する科目
TCKNO	教職課程	その他の教職関連科目

経済学部		
科目群コード	学部・学科等	科目群名称
EEELM	経済学科	入門専門科目
EETHQ	経済学科	基礎専門科目（経済理論・計量科目群）
EEPOL	経済学科	基礎専門科目（公共政策科目群）
EEMON	経済学科	基礎専門科目（金融経済科目群）
EEORG	経済学科	基礎専門科目（市場・組織・制度の経済分析科目群）
EEISS	経済学科	基礎専門科目（現代の経済環境科目群）
EEGLO	経済学科	基礎専門科目（国際経済の理論と実際科目群）
EEHIS	経済学科	基礎専門科目（経済社会と経済思想の歴史科目群）
EECAS	経済学科	基礎専門科目（事例研究・フィールド科目群）
EEMST	経済学科	情報数理・統計科目
EELNG	経済学科	専門外国語科目
EEPRA	経済学科	実習科目
EESEM	経済学科	演習・卒業論文
EBBUS	経営学科	経営学科目群
EBMKT	経営学科	マーケティング科目群
EBACC	経営学科	会計学科目群
EBSEM	経営学科	演習科目群
EGALL	国際経営学科	基礎演習
EGEBC	国際経営学科	専門外国語Ⅰ
EGACA	国際経営学科	専門外国語Ⅱ
EGPSA	国際経営学科	Preparation for Study Abroad
EGSAB	国際経営学科	Study Abroad
EGM&S	国際経営学科	専門科目Ⅰ・Ⅱ（MANAGEMENT & STRATEGY）
EGA&F	国際経営学科	専門科目Ⅰ・Ⅱ（ACCOUNTING & FINANCE）
EGT&I	国際経営学科	専門科目Ⅰ・Ⅱ（TRADE & INDUSTRY）
EGBCR	国際経営学科	BCR（Business Communication & Research）
EGSEM	国際経営学科	演習・卒業論文

社会学部		
科目群コード	学部・学科等	科目群名称
SGBAS	社会学科	社会学基幹科目
SGJOU	社会学科	社会学基幹科目（ジャーナリズム関連科目）
SGJAP	社会学科	社会学基幹科目（留学生向け日本語科目）
SGLEC	社会学科	コース科目
SGSEM	社会学科	演習
SGDAT	社会学科	データ分析科目
SGREA	社会学科	専門書講読
SGVOL	社会学科	ボランティア関連科目
SGFIE	社会学科	実習科目
SGGRA	社会学科	卒業論文
SGQUA	社会学科	社会教育士・社会教育主事任用資格関連科目
SWBAS	社会福祉学科	第１群（基礎科目）
SWSPA	社会福祉学科	第２群（制度・政策）
SWUCL	社会福祉学科	第３群（対象者理解）
SWSWP	社会福祉学科	第４群（方法・技術）
SWAVF	社会福祉学科	第５群（分野）
SWSPL	社会福祉学科	第６群（特講）
SWSEP	社会福祉学科	第７群（実習・演習・卒論）
SWOPN	社会福祉学科	第８群（自由科目）

法学部

法学部では科目ナンバリング「④連続番号の上１桁目(10 の位)」を科目分野の細目分類に割り当てている。科目細目の分類および名称は以下の通り。

科目群コード	学部・学科等	科目群名称	科目細目
J-LTH	法学部共通	基礎法学	0:入門・総論，1:法哲学・法理学，2:法制史，3:法思想史，4:法社会学，5:比較法，6:英米法，7:大陸法，8:その他外国法，9:その他
J-PUL	法学部共通	公法学	0:入門・総論，1:憲法，2:行政法，3:租税法，4:政策法務，5:比較憲法・EU 法，6:公法特講･公法演習
J-INL	法学部共通	国際法学	0:入門，1:総論，2:国際公法，3:国際私法，4:国際人権・国籍法，5:国際取引法，6:国際経済法，7:国際民事手続法，9:その他
J-SOL	法学部共通	社会法学	0:入門，1:総論，2:労働法，3:社会保障法
J-CRL	法学部共通	刑事法学	0:入門，1:刑法総論，2:刑法各論，3:刑事訴訟法，4:犯罪学，5:刑事政策，6:刑事法特講・刑事法演習
J-CIL	法学部共通	民事法学	0:入門，1:民法総則，2:物権法，3:債権法，4:家族法，5:民事訴訟法・手続法，6:民事執行法・紛争処理法制，7:倒産法，8:民事法特講・民事法演習
J-COL	法学部共通	商事法学	0:入門，1:総論，2:商法，3:会社法，4:金融法・証券法・保険法
J-NFL	法学部共通	新領域法学	0:消費者法，1:情報・メディア法，2:環境法，3:競争法・知的財産法，4:成年後見法制，5:信託法，6:不動産法
J-GLS	法学部共通	グローバル法学研究	0:入門・総論，1:海外法学学習，2:Global Legal Studies
J-POL	法学部共通	政治学	0:入門・総論，1:地方自治，2:政治過程論，3:公共政策・行政学，4:政治理論・政治思想史，5:政治史，6:政治文明論・政治社会学，7:現代日本政治，8:比較政治，9:その他
J-INR	法学部共通	国際関係論	0:国際政治学，1:国際政治経済論，2:国際関係史，3:国際組織論，4:国外政治，9:その他
J-ARS	法学部共通	地域研究	0:グローバリゼーション，1:異文化理解
J-HSI	法学部共通	人文社会情報学	0:情報社会学，1:情報メディア，2:マスコミ論，3:広報メディア
J-FLE	法学部共通	外国語教育	0:英語一般，1:法学英語
J-SAS	法学部共通	留学支援	0:受入留学生科目，1:留学準備講座
J-EBA	法学部共通	経済・経営学	0:経済学，1:会計学
J-STS	法学部共通	統計科学	0:社会統計学
J-ICT	法学部共通	情報科学	0:情報処理，1:情報技術と法
J-ENS	法学部共通	環境科学	0:環境科学，1:持続可能な社会
J-SET	法学部共通	演習・卒業論文	0:1・2 年次演習，1:専門演習，2:演習，3:卒業論文，4:演習・卒業論文，9:その他
J-REA	法学部共通	文献講読	0:外国語文献講読，1:専門書講読，2:時事英語
J-IFV	法学部共通	インターンシップ・フィールドワーク・ボランティア	0:インターンシップ，1:フィールドワーク，2:ボランティア
J-CAS	法学部共通	キャリア支援	0:キャリアデザイン講座，1:キャリア形成
J-SLC	法学部共通	特講・講座	0:法律学特講，1:政治学特講，2:総合講座，3:国連大学講座
J-ETC	法学部共通	その他	0:法医学，1:リスク評価管理

国際学部		
科目群コード	学部・学科等	科目群名称
KSGEN	国際学科	学科基礎科目、演習・卒業論文・実習
KSEIS	国際学科	専門外国語
KSCSO	国際学科	学科講義科目（文化）
KSECO	国際学科	学科講義科目（経済）
KSPOL	国際学科	学科講義科目（政治）
KSREG	国際学科	地域研究系科目
KCAEP	国際キャリア学科	学術英語科目
KCGEN	国際キャリア学科	講義科目（学際的科目）
KCCUL	国際キャリア学科	講義科目（文化）
KCSOC	国際キャリア学科	講義科目（社会）
KCECO	国際キャリア学科	講義科目（経済）
KCPOL	国際キャリア学科	講義科目（政治）
KCSEM	国際キャリア学科	演習・実習

心理学部		
科目群コード	学部・学科等	科目群名称
PSCRL	心理学科	基礎科目（講義科目）
PSCRP	心理学科	基礎科目（実験・実習科目）
PSCRS	心理学科	基礎科目（演習科目）
PSADL	心理学科	専門科目（講義科目）
PSADP	心理学科	専門科目（実験・実習科目）
PSADS	心理学科	専門科目（演習科目）
PSADT	心理学科	専門科目（卒業論文）
PEAAR	教育発達学科	学科基幹科目（全コースで必修）
PEBAR	教育発達学科	基礎科目（全コースで必修）
PECAP	教育発達学科	教職基礎科目（全コースで選択必修）
PEDAO	教育発達学科	探究科目（全コースで選択）
PEDCR	教育発達学科	探究科目（児童発達コースは必修）
PEDCP	教育発達学科	探究科目（児童発達コースは選択必修）
PEDDM	教育発達学科	探究科目（児童発達コースは必修／特別支援コースは選択必修）
PEDSP	教育発達学科	探究科目（特別支援コースは選択必修）
PEDTM	教育発達学科	探究科目（特別支援コースは必修／児童発達コースは選択必修）
PEDTP	教育発達学科	探究科目（特別支援コースと児童発達コースは選択必修）
PEDIR	教育発達学科	探究科目（国際教育コースは必修）
PEDIP	教育発達学科	探究科目（国際教育コースは選択必修）
PEDJM	教育発達学科	探究科目（国際教育コースは必修／児童発達コースは選択必修）
PEDJP	教育発達学科	探究科目（国際教育コースと児童発達コースは選択必修）
PEEAO	教育発達学科	教職専門科目（全コースで選択）
PEFAO	教育発達学科	応用科目（全コースで選択）
PEFSR	教育発達学科	応用科目（特別支援コースは必修）
PEFIP	教育発達学科	応用科目（国際教育コースは選択必修）
PEGAO	教育発達学科	卒業研究（全コースで選択）

明治学院共通科目		
科目群コード	学部・学科等	科目群名称
MGCHR	明治学院共通科目	キリスト教関連科目
MGENG	明治学院共通科目	言語系科目（英語）
MGFRE	明治学院共通科目	言語系科目（フランス語）
MGCHN	明治学院共通科目	言語系科目（中国語）
MGGER	明治学院共通科目	言語系科目（ドイツ語）
MGSPN	明治学院共通科目	言語系科目（スペイン語）
MGRUS	明治学院共通科目	言語系科目（ロシア語）
MGKOR	明治学院共通科目	言語系科目（韓国語）
MGJPN	明治学院共通科目	言語系科目（日本語）
MGITA	明治学院共通科目	言語系科目（イタリア語）
MGARB	明治学院共通科目	言語系科目（アラビア語）
MGTHA	明治学院共通科目	言語系科目（タイ語）
MGGRE	明治学院共通科目	言語系科目（ギリシア語）
MGLAT	明治学院共通科目	言語系科目（ラテン語）
MGCOM	明治学院共通科目	情報処理系科目
MGSIG	明治学院共通科目	手話
MGEUC	明治学院共通科目	外国文化論科目（ヨーロッパ）
MGASC	明治学院共通科目	外国文化論科目（アジア）
MGPHI	明治学院共通科目	人文科学系科目（哲学）
MGETH	明治学院共通科目	人文科学系科目（倫理学）
MGLOG	明治学院共通科目	人文科学系科目（論理学）
MGLIN	明治学院共通科目	人文科学系科目（言語科学）
MGPSY	明治学院共通科目	人文科学系科目（心理学）
MGEDU	明治学院共通科目	人文科学系科目（教育学）
MGART	明治学院共通科目	人文科学系科目（芸術学）
MGJPL	明治学院共通科目	人文科学系科目（日本文学）
MGJPS	明治学院共通科目	人文科学系科目（日本文化）
MGLAW	明治学院共通科目	社会科学系科目（法学）
MGPOS	明治学院共通科目	社会科学系科目（政治学）
MGSOC	明治学院共通科目	社会科学系科目（社会学）
MGSWS	明治学院共通科目	社会科学系科目（社会福祉学）
MGECN	明治学院共通科目	社会科学系科目（経済学）
MGSTA	明治学院共通科目	社会科学系科目（統計学）
MGHIS	明治学院共通科目	社会科学系科目（歴史学）
MGGEO	明治学院共通科目	社会科学系科目（人文地理学）
MGANT	明治学院共通科目	社会科学系科目（文化人類学）
MGSOS	明治学院共通科目	社会科学系科目（社会科学）
MGMAT	明治学院共通科目	自然科学系科目（数学）

MGPHY	明治学院共通科目	自然科学系科目（物理学）
MGCHE	明治学院共通科目	自然科学系科目（化学）
MGBIO	明治学院共通科目	自然科学系科目（生物学）
MGLIS	明治学院共通科目	自然科学系科目（生命科学）
MGHSS	明治学院共通科目	健康・スポーツ科学系科目
MGIND	明治学院共通科目	総合教育系科目（学際的科目）
MGMGS	明治学院共通科目	総合教育系科目（明治学院研究）
MGENV	明治学院共通科目	総合教育系科目（環境学）
MGSUS	明治学院共通科目	総合教育系科目（サステイナビリティー学）
MGVOL	明治学院共通科目	総合教育系科目（ボランティア学）
MGLCD	明治学院共通科目	総合教育系科目（ライフデザイン・キャリアデザイン）
MGSEM	明治学院共通科目	総合教育系科目（演習科目）
MGPIO	明治学院共通科目	総合教育系科目（オルガン実習）
MGINT	明治学院共通科目	総合教育系科目（英語で行う科目）
MGCCS	明治学院共通科目	総合教育系科目（異文化コミュニケーション）
MGACW	明治学院共通科目	総合教育系科目（アカデミック・ライティング）
MGRES	明治学院共通科目	短期留学認定科目・中期留学認定科目
MGITS	明治学院共通科目	海外インターンシップ関連科目